

※入札公告を必ず確認してください。(海老名市ホームページに掲載しています)

入札案件概要書 (工事)

契約番号 : 8109

件名	海老名市立有鹿小学校校舎外装改修工事 (再公告)	
履行場所	海老名市河原口三丁目 13 番 1 号	
工期	本契約締結日～令和 9 年 2 月 12 日	
工事の内容等	別紙 仕様書等 のとおり ○海老名市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条に該当しますので、仮契約の締結(令和 8 年 4 月 15 日予定)になります。議会の議決を得た後、本契約として成立します。	
予定価格	190,630,000 円 (税込)	173,300,000 円 (税抜)
最低制限価格	有り (開札後算定型) 詳細は海老名市最低制限価格等取扱基準及び入札説明書等を参照してください。	
落札候補者の入札金額が、調査基準価格 (70%) 未満の場合 ※ただし、予定価格 (税込) 100 万円以下の案件は除く。	契約締結にあたっての制限等 <ul style="list-style-type: none">○ 技術者と現場代理人の兼務不可 ※前年度の工事評定平均が「B (75 点)」以上である場合は除く。○ 技術者及び現場代理人の他案件 (本市入札案件) との兼任不可 ※技術者等の兼任制限が解除されている場合でも不可○ 前払金の制限 (金額上限、中間前払金の制限など) 契約金額の 20%以内 (海老名市契約規則により、前払金が適用となる場合に限ります。) ※前払金の上限金額は 5,000 万円以下。中間前払金の支払いはありません。 契約保証 契約金額の 30%以上に相当する次のいずれかの手続きが必要です。 ※現金納付及び実績による免除はありません。 <ul style="list-style-type: none">(ア) 金融機関又は保証事業会社の保証(イ) 公共工事履行保証証券による保証 (履行ボンド)(ウ) 履行保証保険契約の締結 (定額てん補)	
入札方法等	条件付一般競争入札 (電子入札)	
質疑 (仕様等に関する事項)	所定の書式により、FAX で受け付けます。 電子入札システムの機能は使用しないでください。	

参加条件	営業種目	020 建築一式 又は 170 塗装 経審 700 点以上 - 点未満 ※経審は最新の評価点で判断します。	○下請契約の請負代金の合計の額が 5 千万円 (建築一式工事の場合は 8 千万円) 以上となる場合には特定建設業の許可が必要です。 併せて、主任技術者に代えて監理技術者を配置すること。
	発注区分 詳細は入札公告で確認してください。	第 4 区分	第 1・第 2 区分の入札に初めて参加する場合は、営業実態調査票及び認定書の写しを提出してください。
	その他の要件	告示日現在で社会保険 (健康保険、厚生年金保険及び雇用保険) に加入していること。 ※法令に基づき社会保険適用を除外されている場合を除く 本市発注の建築一式工事又は塗装工事において、過去 5 年間、工事評定で 6.5 点未満の工事がないこと。	
	落札件数制限	なし	
配置技術者等の兼任について		本案件に配置する主任 (監理) 技術者及び現場代理人は、工事・コンサル・一般委託の区分を問わず同じ開札日の他の案件に配置できません。	

<p>事前提出書類 (システム添付)</p>	<p>参加資格確認申請時に次のファイルを添付してください。 ファイルは一つにまとめてください。</p> <p>○告示日現在で社会保険（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）に加入していることを証する書類の写し。(次の (1) ～ (3) のいずれか)</p> <p>(1) 経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書（経営事項審査）の写し <u>※経営事項審査の有効期限内の通知書を提出していれば提出不要</u></p> <p>(2) <u>(同通知書発行後に社会保険に加入した場合)</u>健康保険、厚生年金保険及び労働（雇用）保険料の領収書の写し</p> <p>(3) <u>(法令に基づき社会保険適用を除外されている場合)</u>健康保険、厚生年金保険及び雇用保険の加入義務がないことの届出書</p>
<p>入札時提出 (システム添付)</p>	<p>○入札金額積算内訳書</p> <p>別添のエクセルファイル「入札金額積算内訳書(工事入札時システム添付)」をダウンロードして使用してください。<u>システムへはPDF化して添付してください。</u></p>
<p>落札候補者が提出する書類 (FAX046-232-6574)</p>	<p>開札後、落札候補者は次の書類をFAXで提出してください。 (落札候補者決定の翌開庁日午前10時まで。詳細は開札後FAXで通知します。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○契約保証に関する調書 ○配置技術者等に関する書類 ○建設業許可の確認できる書類

海老名市立有鹿小学校校舎外装改修工事

内容説明事項書

海 老 名 市

1. 工 事 名 称 海老名市立有鹿小学校校舎外装改修工事
2. 工 事 場 所 海老名市河原口三丁目13番1号
3. 工 事 概 要 海老名市立有鹿小学校の校舎外壁等の塗装、防水改修工事等を行うもの。
○ 工事概要
 - ・外壁改修工事 既存塗装劣化部分除去、アスベスト含有仕上塗材除去、劣化部補修のうえ塗装改修ほか
※西、本、東館、中央渡り廊下、東館渡り廊下、ポンプ室（アスベスト無）
職員便所棟（アスベスト有）
 - ・防水改修工事 外壁、屋上、庇、ベランダ等防水改修、ドレン改修ほか
 - ・塗装改修工事 フェンス、階段手摺、壁面ボックス、配管、渡り廊下鉄部等塗装ほか
 - ・建具改修工事 建具廻りシーリング打ち替え、一部建具調整ほか
 - ・その他工事 設備機器一時撤去及び復旧等その他上記工事に伴う付帯工事一式
4. 工 事 期 間 契約締結日 から 令和9年2月12日 まで
5. 設 計 図 書 上記諸条件に依る見積に必要な図書は下記とする
(1)設 計 図 47 枚
(2)内容説明事項書(本書・環境配慮マニュアル) 6 枚
6. 数 量 書 (1)数 量 書 22 枚
※数量書は、発注者の積算の透明性、客観性、妥当性を確保し、入札参加者等の積算、工事費内訳書作成の効率化を図ることを目的に参考数量として公表するものである。
7. 法 令 の 遵 守 本工事の実施に当たり、建築基準法、消防法、その他各関係法令・規則等を確実に遵守すること。
8. 官 公 署 手 続 官公署手続きは、全て受注者の責任と負担に於いて行うこと
9. その他の事項

項 目	適 用	内 容	備 考
(1)事業区分			
①事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 補助事業 <input type="checkbox"/> 市単事業	学校施設環境改善交付金	防災機能強化
(2)工事監理体制			
②工事監理体制	<input checked="" type="checkbox"/> 市担当者 <input type="checkbox"/> 外部委託者		
(3)工程関係			
①工期内施設利用	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		安全対策を施し、児童その他関係者の安全確保を図ること
②関連工事、その他工事	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	本工事に関連して、空調改修工事が発注される。	空調改修工事の受注者は、本工事で設置する足場を使用する。
③施工時期の制限	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	アスベスト除去工事は夏休み期間に行うこと	学校行事等に極力配慮すること。日曜、祝日は原則休工とする。
④施工時間の制限	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の登下校時間に配慮すること ・施設運営に支障のないよう留意すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・屋上防水工事に係る削孔作業等、その他音が出る作業を行う際は、児童へ配慮し夏休み期間や授業時間外等に実施すること ・施工数量調査は夏休み期間前に完了させ、調査結果を市監督員及び監理者に報告すること
⑤協議未成立事項	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<ul style="list-style-type: none"> ・景観条例 ・校舎屋上「気象情報観測機器」の移設 	<ul style="list-style-type: none"> ・監理者の指示のもと、色見本板等の作成に協力すること ・施工に先立ち気象情報観測機器の移設場所や時期等について、海老名市危機管理課と協議のうえ工程計画等に反映させること

項 目	適 用	内 容 等	備 考
(4) 仮設関係			
① 仮設計画	■ 有 □ 無	図示 (仮設計画参考図による)	<ul style="list-style-type: none"> 受注者において、発注図の仮設計画図を参考に作成し、事前に施設管理者及び市担当者等の承諾を受けること 別発注予定の空調改修工事において足場等架設位置に空調室外機等を設置するため、詳細について空調改修工事受注者と調整のうえ仮設計画を作成すること。
② 交通誘導員	■ 有 □ 無		
③ 工事用電力、水の利用	□ 有 ■ 無	受注者対応	<p>【電気】 仮設電気は既存施設からの供給は不可とする。新たに敷地内に引き込むか発電機等での対応とすること。</p> <p>【水道】 敷地内のメーターの本管側で分岐し、工事用のメーターを設けること。設置に当たっては、水道局と協議を行うこと。</p>
④ 濁水・湧水処理における特別な対策等	□ 有 ■ 無		
(5) 支給品			
① 支給品について	□ 有 ■ 無		
(6) 建設副産物関係			
① 建設発生土	□ 有 ■ 無		
② 建設副産物 建設廃棄物	■ 有 □ 無	石綿含有外壁塗材(レベル3)	
③ その他 (特別産業廃棄物等)	□ 有 ■ 無		
(7) 各種調査、使用制限			
① 各種調査	■ 有 □ 無	特記仕様書による	
② 使用制限 関係法令、規則等を遵守するのは当然のこと右記事項にも配慮すること	■ 有 □ 無	揮発性有機化合物等	本工事に使用する材料は、揮発性有機化合物等の放散しないもの又は放散量の少ないものを使用すること (F☆☆☆☆使用)
(8) 現場対応			
① 現場照査等		事前調査を十分に行い、不明確な部分は工事打合簿により施工前に監理受託者及び市監督員と協議し、確認をとること	
② 公衆災害		本工事における振動・騒音・粉塵・悪臭等については、特に注意し、付近住民とのトラブルについては、受注者の責任において解決すること	
③ 原形復旧		工事範囲内の備品類の移動及び養生、清掃については、受注者の責任において実施し、工事後は原形に復すること	

項 目	適 用	内 容 等	備 考
(9) その他			
①適用基準等	■	海老名市ホームページ「海老名市公共工事共通事項書」適用図書による	
	□		
②工事完成図書	■	海老名市ホームページ-検査担当からのお知らせ 「18 工事関係様式」内、工事提出書類チェックリストによる	
	■	海老名市ホームページ-営繕課担当事務 「海老名市営繕工事 工事提出書類作成等の手引き」による	
③海老名環境マネジメントシステム		市では、海老名環境マネジメントシステムの運用に伴い、「公共工事環境配慮マニュアル」が適用となった。よって本工事では、その環境配慮マニュアルに基づき別紙の項目で対象となる作業について環境配慮に努めること	
④法定外の労災保険の加入		本工事において、受注者は法定外労働災害補償制度（法定外の労災保険）に加入すること。また、受注者は保険契約を締結したときは、発注者にその証券等を提示すること。	
⑤施工時期の制限等		夏休み期間：令和8年7月18日から令和8年8月26日まで 学校行事等に極力配慮すること。	
⑥アスベスト除去作業		アスベスト除去作業は夏休み期間に行うこと。ただし、学校行事等に配慮する必要があることから全日作業できるものではない。 施設管理者、監督員等との協議により、隔離養生が不要な工法等で児童の安全が確認される場合はこの限りではない。	
⑦施工数量調査		数量書の外壁補修数量は設計想定数量であるため、施工数量調査を実施のうえ、調査結果報告書を提出すること。	

 公共工事において配慮すべき環境要素

海老名市の公共工事において配慮の対象とすべき環境要素は、以下の一覧表のとおりとする。これらの環境要素は、工事施工過程の環境負荷の低減はもとより、公共工事の成果として地域及び地球環境に有益な影響が得られるためには不可欠なものである。

環境要素一覧表

大分類	中分類	小分類
1 地域の自然環境・ 景観	(1)緑	①自然林、草原など面的な広がりを持つ緑
		②堤防、土手、法面、並木などの樹林帯又は草原など線的な連続性を持つ緑
	(2)地形・地質	その場所本来の地形・地質とそれに依拠する生態系
	(3)水辺	河川や水路などとその堤敷及びそれに依拠する生態系
	(4)動植物	現にその土地に生息するか、又は最近まで生息していた動植物
	(5)歴史的遺産	①地表に存在する文化財、遺跡等
②埋蔵文化財		
(6)景観	①その土地の現在の景観	
	②その土地に現在ある眺望地点とそこからの景観	
	③道路等、都市基盤施設がもたらす景観	
2 地球環境	(1)資源	①石油類・金属・水・岩石等の鉱物資源
		②木材等の森林資源
	(2)大気	①公園、屋外体育施設又は工事などで発生する砂塵による迷惑を考慮すべき局地的な大気環境
		②自動車の排ガス、ごみ焼却施設からのダイオキシン等による汚染を考慮すべき地域的な大気環境
		③フロンガス、二酸化炭素等の放出による影響を考慮すべき地球規模の大気環境
	(3)水質	①公園、屋外体育施設、駐車場などの排水の影響を受ける水系
		②土地の改変等による濁水等の影響を受ける水系
③土木工事により影響を受ける地下水		
(4)土壌	畑、水田、砂利道等のほか舗装されていない剥き出しの地面	
(5)建設副産物	①排出土	
	②コンクリートガラ	
	③アスファルトガラ	
	④伐採材	
	⑤まだ使用可能な製品	
	⑥鉄骨・鉄筋・その他の金属類の切りくず	
⑦不要木材		
⑧PCB等の毒性物質		
⑨その他の建設廃材		
(6)熱帯林	コンクリート型枠などに使用され、減少を続ける熱帯林資源	
3 生活環境	(1)騒音	①工事作業機械の稼働による騒音
		②工事用車両走行による騒音
		③公園、野球場、陸上競技場等屋外体育施設での騒音
		④施設の空調機等電気・機械設備の騒音
	(2)振動	①工事作業機械の稼働による振動
	②工事用車両走行による振動	
	(3)悪臭	しゅんせつ土等の悪臭
	(4)電波障害	大規模建築物による電波受信状態への影響
(5)日照障害	大規模建築物による日影時間への影響	
(6)地域生活環境	①公園、野球場、陸上競技場等屋外体育施設又は他の施設等の夜間照明により影響を受ける周辺住民の生活環境	
	②道路整備におけるルート又は道路構造による地域分断	
	③歩道若しくは道路横断施設又はその他の公共施設等における高齢者・障害者の安全な通行・歩行環境	
	④大規模建築物の駐車場等への出入り車両により影響を受ける交通の安全性	
	⑤工事車両の出入りにより影響を受ける交通の安全性	

□ 設計・施工時に配慮する事項

3. 建物建築・改修工事

作業	配慮事項	環境要素
工事全体	周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える。	3-(1)-①② 3-(2)-①②
掘削	排出土の発生を抑える設計を行う。	2-(5)-①
搬出土処理	極力現場内での利用を図る。	2-(5)-①
	搬出する場合は他の市内工事での有効利用を図る。	2-(5)-①
	排出土中に他の廃棄物が混入しないよう分別する。	2-(5)-①
地業	砂利地業では再生砕石を使用する。	2-(5)-②③
型枠	鋼製型枠の使用を検討する。	2-(6)
鉄骨・鉄筋	切りくず等のリサイクルに努める。	2-(5)-⑥
金属類	切りくず等のリサイクルに努める。	2-(5)-⑥
木材	集成材の使用を検討する。	2-(1)-②
雨水排水	雨水の集水桝に浸透型を使用する。	2-(3)-③
内装	石膏ボードはリサイクル製品を使用しない（廃棄処分時に有害物質が発生する）。	2-(5)-⑧
	壁紙等はリサイクル製品を使用する。	2-(1)-②
	ホルムアルデヒド等の低使用製品を使用する。	2-(5)-⑧
断熱	冷暖房施設の省エネのため、断熱構造とする。	2-(1)-① 2-(2)-③
工事作業機械・車両運行	低騒音・低振動型作業機械を使用する。	3-(1)-①
	排ガス規制に適合した作業機械・車両（ディーゼルエンジン）を使用する。	2-(2)-②
	周辺住民の生活を妨げないように作業時間帯を設定する。	3-(1)-①② 3-(2)-①② 3-(6)-⑤
	道路以外の場所に作業機械搬入車両、ダンプトラック等の待機場所を確保する。	3-(6)-⑤
	工事用作業機械・車両の待機中はアイドリングをしない。	2-(2)-② 3-(1)-①

□ 設計・施工時に配慮する事項

令和8年度

数量書

工事名称 海老名市立有鹿小学校校舎外装改修工事

工事場所 海老名市河原口三丁目13番1号

工期 契約締結日から令和9年2月12日まで

工事概要 海老名市立有鹿小学校の校舎外壁等の塗装、防水改修工事等を行うもの。

○ 工事概要

- ・外壁改修工事 既存塗装劣化部分除去、アスベスト含有仕上塗材除去、劣化部補修のうえ塗装改修ほか
※西、本、東館、中央渡り廊下、東館渡り廊下、ポンプ室（アスベスト無）
職員便所棟（アスベスト有）
- ・防水改修工事 外壁、屋上、庇、ベランダ等防水改修、ドレン改修ほか
- ・塗装改修工事 フェンス、階段手摺、壁面ボックス、配管、渡り廊下鉄部等塗装ほか
- ・建具改修工事 建具廻りシーリング打ち替え、一部建具調整ほか
- ・その他工事 設備機器一時撤去及び復旧等その他上記工事に伴う付帯工事一式

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

建築工事 細目別内訳

建築工事		本館・西館・東館		直接仮設工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生		1	式			別紙 00-0001
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0002
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠900×1700 布枠500×240 22m未満 - -	1	式			別紙 00-0003
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠900×1700 布枠500×240 12m未満 - -	1	式			別紙 00-0004
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700 布枠500×1枚 12m未満 - -	1	式			別紙 00-0005
パネルコ-足場	建枠 600×1700 布枠500×1枚 12m未満 - -	1	式			別紙 00-0006
安全手すり	枠組本足場用(手すり先行方式)	1	式			別紙 00-0007
メッシュシート張り		1	式			別紙 00-0008
小幅ネット張り (層間塞ぎ)		1	式			別紙 00-0009
防音パネル張り (材工共)	存置9ヶ月以下 運搬費共	95.3	m ²			
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0010
計						

建築工事 細目別内訳

建築工事		本館・西館・東館		防水改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
【本館・西館・渡り廊下_R階】	配膳室屋上・職員便所屋根共					
床清掃		1,335	m ²			
下地調整	ポリマーセメントペースト 勾配調整	1,335	m ²			
高圧洗浄	30MPa	1,335	m ²			
ドレン撤去部補修	ポリマーセメントペースト	19	カ所			
合成高分子系 ルーフイングシート防水	S-M2 機械固定工法 平場 塩化ビニル樹脂 表面塗装なし - シール材共	1,335	m ²			
合成高分子系 ルーフイングシート防水	S-F2 接着工法 塩化ビニル樹脂 表面塗装なし - シール材共	210	m ²			
塩ビ鋼板取付	立上入隅	387	m			
塩ビ鋼板取付	側溝出隅	128	m			
塩ビ鋼板取付	側溝入隅	128	m			
押え金物取付	天端端末	313	m			
押え金物取付	ゴ-下端末	74	m			
脱気筒	ステンレス	22	カ所			
バリサインシステム	「海老名 有鹿小」	6	文字			
ポールベ-ス	X-2 密着工法 クレタコン系	1	カ所			

建築工事		本館・西館・東館		外壁改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
施工数量調査 (外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修	4,117	㎡			
シーリング 打継目地・化粧目地	一般部 ポリウレタン系 (PU-2) 幅20×深さ10程度 各館合計	486	m			
【本館】						
高圧洗浄	50MPa以上	508	㎡			
高圧洗浄	30MPa	996	㎡			
外壁浮き部分補修	アカービソニック 部分エポキシ樹脂注入工法 16本/m ²	175	㎡			
防水型 複層塗材 E	コンクリート面 凹凸状 吹付け 珩素系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整 (C-1) 共	1,568	㎡			
外装薄塗材 E	コンクリート面 砂壁状 吹付け 下地調整費 (C-1) 共	377	㎡			
【西館】						
高圧洗浄	50MPa以上	228	㎡			
高圧洗浄	30MPa	594	㎡			
爆裂部補修	エポキシ樹脂モルタル充填工法	331	か所			
外壁浮き部分補修	アカービソニック 部分エポキシ樹脂注入工法 16本/m ²	87.6	㎡			
クラック補修	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2mm～1.0mm	35	m			
クラック補修	ウットシール工法 1.0mm超	42.8	m			

建築工事 細目別内訳

建築工事		本館・西館・東館		外壁改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
防水形 複層塗材 E	コンクリート面 凸部処理 吹付け アクリル系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費 (C-1) 共	822	㎡			
外装薄塗材 E	コンクリート面 砂壁状 吹付け 下地調整費 (C-1) 共	151	㎡			
【東館】						
高圧洗浄	30MPa	1,199	㎡			
サイディング クラック補修	パテ補修	0.7	m			
サイディング 欠損部補修	パテ補修	0.1	㎡			
NAD塗り 改修仕様	押出成形セメント板面 工程B種 下地調整RB種 (塗替え面)	1,199	㎡			
屋根遮熱塗装		650	㎡			
【ポンプ室】						
施工数量調査 (外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修	27.8	㎡			
爆裂部補修	エポキシ樹脂モルタル充填工法	3	か所			
高圧洗浄	30MPa	27.8	㎡			
防水形 複層塗材 E	コンクリート面 凸部処理 吹付け アクリル系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費 (C-1) 共	27.8	㎡			
計						

建築工事		本館・西館・東館		塗装改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
【渡り廊下】						
躯体	DP塗装 1級 下地調整 RB種(塗替え面) 錆止め 塗料E種	51.7	㎡			
鉄部塗装 折板屋根 表裏	DP塗装 1級 下地調整 RB種(塗替え面) 錆止め 塗料E種	233	㎡			
鉄部塗装 腰壁フレーム	DP塗装 1級 下地調整 RB種(塗替え面) 錆止め 塗料E種	38.5	㎡			
ラワン合板 DP塗装	下地調整 RB種(塗替え面) 下塗共	118	㎡			
【東館渡り廊下】						
躯体	DP塗装 1級 下地調整 RB種(塗替え面) 錆止め 塗料E種	108	㎡			
鉄部塗装 折板屋根 表裏	DP塗装 1級 下地調整 RB種(塗替え面) 錆止め 塗料E種	55	㎡			
鉄部塗装 腰壁フレーム	DP塗装 1級 下地調整 RB種(塗替え面) 錆止め 塗料E種	38.5	㎡			
ラワン合板 DP塗装	下地調整 RB種(塗替え面) 下塗共	140	㎡			
折板屋根上部配管		50.6	m			
【東館屋外階段】						
躯体	DP塗装 1級 下地調整 RB種(塗替え面) 錆止め 塗料E種	80.6	㎡			
屋根	DP塗装 1級 下地調整 RB種(塗替え面) 錆止め 塗料E種	31.5	㎡			
腰壁パネル	DP塗装 1級 下地調整 RB種(塗替え面) 錆止め 塗料E種	15.8	㎡			

建築工事		本館・西館・東館		塗装改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
【本館】						
PHルーバー	DP塗装 1級 下地調整 RB種(塗替え面) 錆止め 塗料E種	12.6	㎡			
昇降口庇	DP塗装 1級 下地調整 RB種(塗替え面) 錆止め 塗料E種	151	㎡			
配膳室庇	DP塗装 1級 下地調整 RB種(塗替え面) 錆止め 塗料E種	18.1	㎡			
鉄部塗装 パルコ-手摺	DP塗装 1級 下地調整 RB種(塗替え面) 錆止め 塗料E種	125	m			
STタラップ	DP塗装 1級 下地調整 RB種(塗替え面) 錆止め 塗料E種	11.3	m			
鉄部塗装 階段手摺	DP塗装 1級 下地調整 RB種(塗替え面) 錆止め 塗料E種	283	m			
鉄部塗装 堅樋養生管	DP塗装 1級 下地調整 RB種(塗替え面) 錆止め 塗料E種	18	m			
鉄部塗装 スチールメッシュフェンス支柱	DP塗装 1級 下地調整 RB種(塗替え面) 錆止め 塗料E種	171	m			
SD	DP塗装 1級 下地調整 RB種(塗替え面) 錆止め 塗料E種	5.8	㎡			
高架水槽	FRP製貯水槽外面塗装 シリコン塗料	16.5	㎡			
高架水槽配管	DP塗装 1級 下地調整 RB種(塗替え面) 錆止め 塗料E種	10	m			
避雷針	DP塗装 1級 下地調整 RB種(塗替え面) 錆止め 塗料E種	6	m			
室外機フェンス	DP塗装 1級 下地調整 RB種(塗替え面) 錆止め 塗料E種	10.9	㎡			
配管架台	DP塗装 1級 下地調整 RB種(塗替え面) 錆止め 塗料E種	0.1	㎡			

建築工事		本館・西館・東館		その他工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
ネット交換	ネットH=1800 L=137m 着色塗装亜鉛メッキ鉄線	1	式			
屋上ネットフェンス フェンスカバー	φ3.2X50 (撤去含む) ステンレス製 30cm用 シーリング共	1	式			別紙 00-0011
硬質ポリ塩化ビニル管とい(カチ)	径100	274	m			
塩ビ角種	100X100	2.5	m			
給湯管 保温	ロックウール 屋外露出,浴室 ステンレス鋼板 25A	8.5	m			
SUSExp. J清掃		40	m ²			
電気ボックス		1	か所			
監視カメラ 取外し	工事中足場に取付け	4	台			
監視カメラ 再取付け		4	台			
スピーカー 取外し		2	台			
スピーカー 再取付け		2	台			
気象情報観測機器 取外し		1	台			
気象情報観測機器 再取付		1	台			
計						

建築工事 細目別内訳

建築工事		本館・西館・東館		撤去工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
【防水】						
たてどい撤去	VP管 集積共	274	m			
軒どい撤去		2.5	m			
既存天端押え金物 撤去	シーリング共	387	m			
既存立上り塩ビシート 防水撤去		210	m ²			
既存ルーフレン撤去		1	式			別紙 00-0012
既存中継ドレン撤去		22	か所			
脱気筒撤去		22	か所			
【外壁】						
シーリング撤去 打継目地・化粧目地	集積共	896	m			
【建具】						
AW/5 ⁺ 撤去	SD撤去 額内ガラス、欄間ガラス、水切、 香摺、その他付属金物共	1	か所			
シーリング撤去	集積共	1,141	m			
ガラスとめ(シーリング)撤去	両面	1,856	m			
【雑物】						

建築工事		本館・西館・東館		直接仮設工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生		1	式			別紙 00-0001
養生 (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	1,602	m ²			
養生(外壁改修)		480	m ²			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0002
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	1,602	m ²			
整理清掃後片付け (外壁改修)		480	m ²			
計						
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠900×1700 布枠500×240 22m未満 - -	1	式			別紙 00-0003
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠900×1700 布枠500×240 22m未満 - -	2,967	m ²			
計						

建築工事 別紙明細

建築工事		本館・西館・東館		直接仮設工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠900×1700 布枠500×240 12m未満 - -	1	式			別紙 00-0004
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠900×1700 布枠500×240 12m未満 - -	2,457	m ²			
計						
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700 布枠500×1枚 12m未満 - -	1	式			別紙 00-0005
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700 布枠500×1枚 12m未満 - -	111	m ²			
計						
ハココ-足場	建枠 600×1700 布枠500×1枚 12m未満 - -	1	式			別紙 00-0006
ハココ-足場	建枠 600×1700 布枠500×1枚 12m未満 - -	249	m ²			
計						
安全手すり	枠組本足場用(手すり先行方式)	1	式			別紙 00-0007
安全手すり	枠組本足場用(手すり先行方式)	517	m			
計						

アスベスト除去工事		アスベスト除去工事		アスベスト除去工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
本工事		1	式			別紙 00-0013
RC面 仕上塗材・下地調 整材 除去	集塵装置付超高压水洗工法（100MPa 以上）	64	m ²			
土間養生（足場最 下部）	プラスチックシート 0.15mm 2重	1	式			
機械損料	吸引装置含む	1	式			
同時吸引廃材・廃 水分別費	廃水はpH調整後現地処分	1	式			
廃棄物袋詰め	0.15mm 2重梱包	1	式			
安全衛生設備機器	真空掃除機、フィルター	1	式			
保護マスク・フィルター・ 保護カネ・手袋等		1	式			
諸経費	石綿作業主任者経費・法定福利費含 む	1	式			
石綿含有産業廃棄 物 収集運搬費	(4t車)	1	台			
計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
VOC環境測定	施工前・施工後	1	式			別紙 00-0014
VOC環境測定		16	か所			
計						
環境測定 (アスベスト)		1	式			別紙 00-0015
基本技術料		3	回			
作業前	(敷地境界4点)	4	点			
作業中	(敷地境界4点+作業付近1点+プラント 付近1点)	6	点			
作業後	(敷地境界4点)	4	点			
放流水分析(作業 中1回)	検出限界値:1リットルあたり50本以下	1	回			
報告書作成費		1	式			
現場派遣費		3	回			
計						

海老名市立有鹿小学校校舎外装改修工事

図番	図面名称	縮尺 ()内はA3版	図番	図面名称	縮尺 ()内はA3版
A-01	特記仕様書(1)	NS	A-27	西館3階軒天伏図	1/200 (1/400)
A-02	特記仕様書(2)	NS	A-28	西館建具+ﾌｯｶ	1/300 (1/600)
A-03	特記仕様書(3)	NS	A-29	西館建具表	1/100 (1/200)
A-04	特記仕様書(4)	NS	A-30	東館1階平面図	1/100 (1/200)
A-05	計画概要・案内図・配置図	1/600 (1/1200) NS	A-31	東館2階平面図	1/100 (1/200)
A-06	外部仕上表・特記事項(1)	NS	A-32	東館東側立面図	1/150 (1/300)
A-07	外部仕上表・特記事項(2)	NS	A-33	東館西側立面図	1/150 (1/300)
A-08	本館1階平面図	1/200 (1/400)	A-34	東館南側立面図	1/150 (1/300)
A-09	本館2階平面図	1/200 (1/400)	A-35	東館北側立面図	1/150 (1/300)
A-10	本館3階平面図	1/200 (1/400)	A-36	東館建具+ﾌｯｶ・建具表	1/50・1/150 (1/100・1/300)
A-11	本館R階平面図	1/200 (1/400)	A-37	本館矩計図	1/40 (1/80)
A-12	本館南側立面図	1/200 (1/400)	A-38	本館・西館矩計図	1/40 (1/80)
A-13	本館北側立面図	1/200 (1/400)	A-39	本館階段詳細図	1/80 (1/160)
A-14	本館東側立面図・西側立面図	1/200 (1/400)	A-40	西館矩計図	1/40 (1/80)
A-15	本館中庭断面図・矢視図	1/200 (1/400)	A-41	渡り廊下詳細図	1/100・1/60 (1/200・1/120)
A-16	本館1階軒裏伏図	1/200 (1/400)	A-42	東館渡り廊下詳細図	1/50 (1/100)
A-17	本館2階軒裏伏図	1/200 (1/400)	A-43	ポンプ室詳細図	1/50 (1/100)
A-18	本館3階軒裏伏図	1/200 (1/400)	A-44	東館屋外鉄骨階段詳細図	1/30 (1/60)
A-19	本館建具+ﾌｯｶ	1/400 (1/800)	A-45	各部詳細図	1/50・1/40 (1/100・1/80)
A-20	本館建具表(1)	1/400 (1/800)	A-46	仮設計画参考図	1/200 (1/400)
A-21	本館建具表(2)	1/400 (1/800)			
A-22	西館1階平面図・2階平面図	1/200 (1/400)			
A-23	西館3階平面図・R階平面図	1/200 (1/400)			
A-24	西館北側立面図・西側立面図	1/200 (1/400)			
A-25	西館南側立面図・東側立面図	1/200 (1/400)			
A-26	西館1階軒天伏図・2階軒天伏図	1/200 (1/400)			



5 14. ガラス	ガラスの留め材 ※ シーリング ・ ガスケット (可動アルミ製建具に限る) 防火戸のガラスの留め材は建築基準法の認定を受けたシーリング材とする。 ガラスの溝幅については表5.13.1)による。ただし強化ガラス、合わせガラス及び倍強度ガラスの溝幅は図示による。 複層ガラスの保証期間は引き渡し日から10年間とし、メーカー保証書を提出する。																								
	<table border="1"> <tr> <th>表面形状 (JIS A5212)</th> <th>モジュール呼び寸法による区分 (長さ×高さ)</th> <th>厚さによる区分</th> </tr> <tr> <td>正方形</td> <td>125×125 ・ 160×160</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td></td> <td>200×200 ・ 320×320</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>長方形</td> <td>250×125 ・ 320×160</td> <td>125</td> </tr> </table>	表面形状 (JIS A5212)	モジュール呼び寸法による区分 (長さ×高さ)	厚さによる区分	正方形	125×125 ・ 160×160	80		200×200 ・ 320×320	95	長方形	250×125 ・ 320×160	125												
表面形状 (JIS A5212)	モジュール呼び寸法による区分 (長さ×高さ)	厚さによる区分																							
正方形	125×125 ・ 160×160	80																							
	200×200 ・ 320×320	95																							
長方形	250×125 ・ 320×160	125																							
6 15. ガラスブロック (中空)	品質等																								
	<table border="1"> <tr> <th>ガラスの種類</th> <th>柄</th> <th>目地色</th> <th>金属枠</th> <th>耐火性能</th> </tr> <tr> <td>一般ガラス</td> <td>無</td> <td>白</td> <td>アルミニウム製 (表面処理)</td> <td>規定しない</td> </tr> <tr> <td>乳白ガラス</td> <td>有</td> <td>グレー</td> <td>ステンレス製 (表面仕上げ)</td> <td>有 (分間)</td> </tr> <tr> <td>カラーガラス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>熱線反射ガラス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	ガラスの種類	柄	目地色	金属枠	耐火性能	一般ガラス	無	白	アルミニウム製 (表面処理)	規定しない	乳白ガラス	有	グレー	ステンレス製 (表面仕上げ)	有 (分間)	カラーガラス					熱線反射ガラス			
ガラスの種類	柄	目地色	金属枠	耐火性能																					
一般ガラス	無	白	アルミニウム製 (表面処理)	規定しない																					
乳白ガラス	有	グレー	ステンレス製 (表面仕上げ)	有 (分間)																					
カラーガラス																									
熱線反射ガラス																									

6 1. 改修範囲	既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 図示の範囲																													
	天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※ 壁面より側面600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 図示の範囲																													
2. 既存床の撤去 下地補修	天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※ 既存のまま 図示の範囲																													
	合成樹脂塗床の除去方法 ・ 目荒工法 ・ 機械的除去工法 ・ 当該室全体 ・ 図示の範囲																													
3. 改修後の床の清掃範囲	間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修方法 ※ (4.4.9)による																													
	表面仕上げの程度 ・ A種 ・ B種 ・ C種																													
4. 既存壁の撤去 下地補修	含水率 下地材 ※ A種 ・ B種 造作材 ※ A種 ・ B種																													
	造作材の材面の品質 ※ A種 ・ B種 代用樹種を使用しない箇所 ※ なし ・ あり ()																													
5. 木材	造作用集材は表5.2(c)(ii)による																													
	見付け材面 JASによる集材材 ※ その他 等 級 ※ 1等 ・ 2等 ※ JAS集材材1等同等																													
6. 集材材	造作材の樹種																													
	単材の厚さ(mm) 10~15 10~15																													
7. 床張り用合板	床下貼り用合板 ※ JASの構造用合板 特類 2等以上C-D以上																													
	薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理 適用部位 () 保存処理性能区分 ・ K2 ・ K3 ・ K4 薬剤の加圧注入処理を行ったのち、現場における加工、切断、孔あけ等を行った箇所は、現場にて薬剤の塗布等による防蟻・防蟻処理を行う。 防虫処理 ラフ材 保存処理性能区分 ※ K1																													
8. 防蟻・防蟻 防虫処理	野縁などの種類 屋内 ※ 19型 ・ 25型 (室名:) 屋外 19型 ※ 25型																													
	インサート ・ 既存インサートを使用する ・ あと施工アンカーを設ける あと施工アンカーの引抜き試験 ・ 行う ※ 行わない																													
9. 軽量鉄骨天井 下地材	耐震性を考慮した補強 ※ 行わない ・ 行う (補強方法及補強箇所は図示による)																													
	耐風圧性を考慮した補強 (ビロイ、屋外軒天井等) ※ 行わない ・ 行う (補強方法及補強箇所は図示による)																													
10. 軽量鉄骨 壁下地材	スタッド、ランナーなどの種類は表6.7.1)による。																													
	※ JIS A 6519 のJIS表示認証製品																													
11. 体育館の 鋼製床下地	JIS A5705 のJIS表示認証製品																													
	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>特殊機能</th> <th>工法</th> </tr> <tr> <td>※ 発泡層のないもの</td> <td>※ FS</td> <td>※ 無地</td> <td>※ 2.0</td> <td>・ 帯電防止</td> <td>※ 熱溶接</td> </tr> <tr> <td>・ 発泡層のあるもの</td> <td>・ TS</td> <td>・ マーブル</td> <td>・ 2.5</td> <td>・ 耐動荷重</td> <td>・ 突付け</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ HS</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ KS</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	記号	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	工法	※ 発泡層のないもの	※ FS	※ 無地	※ 2.0	・ 帯電防止	※ 熱溶接	・ 発泡層のあるもの	・ TS	・ マーブル	・ 2.5	・ 耐動荷重	・ 突付け		・ HS						・ KS			
種類	記号	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	工法																									
※ 発泡層のないもの	※ FS	※ 無地	※ 2.0	・ 帯電防止	※ 熱溶接																									
・ 発泡層のあるもの	・ TS	・ マーブル	・ 2.5	・ 耐動荷重	・ 突付け																									
	・ HS																													
	・ KS																													
12. ビニル床 シート張り	JIS A5705 のJIS表示認証製品																													
	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>記号</th> <th>寸法</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>特殊機能</th> </tr> <tr> <td>※ コンポジション</td> <td>※ KT</td> <td>※ 300×300</td> <td>※ 2.0</td> <td>・ 帯電防止</td> </tr> <tr> <td>・ ビニル床タイル</td> <td>・ FT</td> <td>・ 300×300</td> <td>・ 2.0</td> <td>・ 耐動荷重</td> </tr> <tr> <td>・ ホモジニアス</td> <td>・ FT</td> <td>・ 450×450</td> <td>・ 2.0</td> <td>・ 帯電防止</td> </tr> <tr> <td>・ ビニル床タイル</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 耐動荷重</td> </tr> </table>	種類	記号	寸法	厚さ(mm)	特殊機能	※ コンポジション	※ KT	※ 300×300	※ 2.0	・ 帯電防止	・ ビニル床タイル	・ FT	・ 300×300	・ 2.0	・ 耐動荷重	・ ホモジニアス	・ FT	・ 450×450	・ 2.0	・ 帯電防止	・ ビニル床タイル				・ 耐動荷重				
種類	記号	寸法	厚さ(mm)	特殊機能																										
※ コンポジション	※ KT	※ 300×300	※ 2.0	・ 帯電防止																										
・ ビニル床タイル	・ FT	・ 300×300	・ 2.0	・ 耐動荷重																										
・ ホモジニアス	・ FT	・ 450×450	・ 2.0	・ 帯電防止																										
・ ビニル床タイル				・ 耐動荷重																										
13. ビニル床 タイル張り	JIS A5705 のJIS表示認証製品																													
	帯電防止 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1445) 1.2~3.1程度 又は耐電圧 (JIS L 1023) 3kV 以下 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1445) 3.2~5.1程度 又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 0.1 ×1010 オーム未満 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1445) 5.2 以上 又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 0.1 ×107 オーム未満																													
14. ビニル床 タイルビニル 床シートの 特殊機能	帯電防止性能評価 (JIS A 1445) 1.2~3.1程度 又は耐電圧 (JIS L 1023) 3kV 以下 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1445) 3.2~5.1程度 又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 0.1 ×1010 オーム未満 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1445) 5.2 以上 又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 0.1 ×107 オーム未満																													

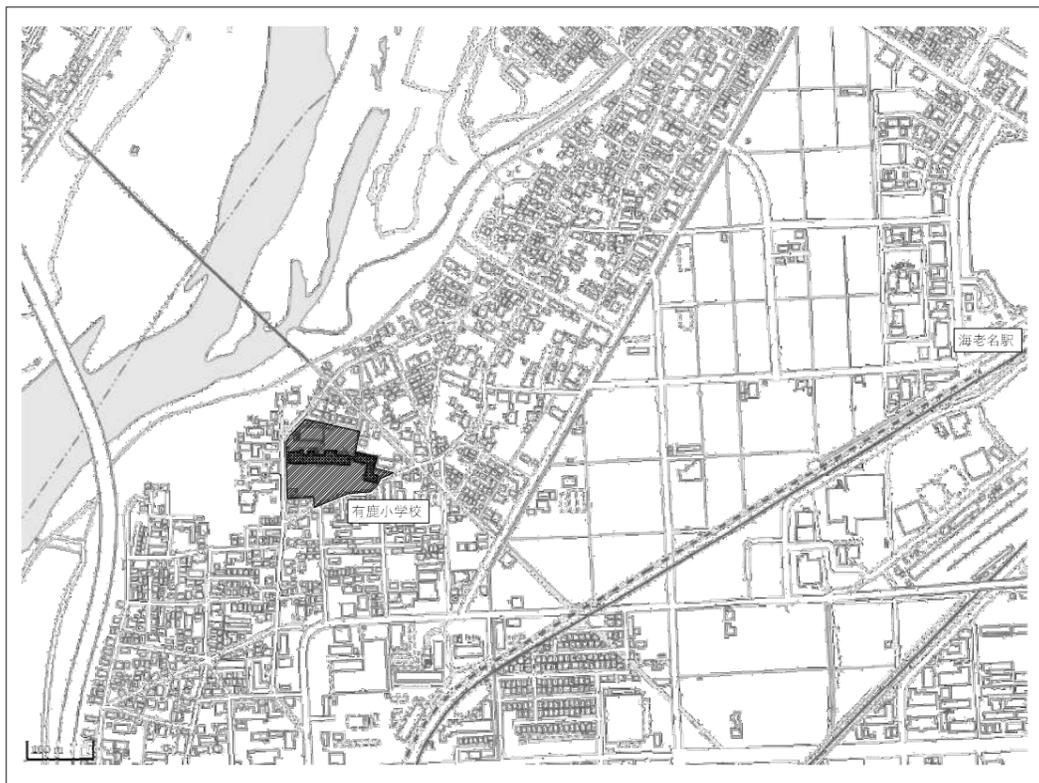
6 15. 視覚障害者用 床タイル	耐動荷重 JIS A 1454 によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離強度試験発泡層のあるビニルシートのみおよびキャスター性試験等の試験後異常がないこと。								
	<table border="1"> <tr> <th>材 質</th> <th>寸 法 (mm)</th> </tr> <tr> <td>・ 塩化ビニル系</td> <td>・ せつ器質タイル系 300×300</td> </tr> </table>	材 質	寸 法 (mm)	・ 塩化ビニル系	・ せつ器質タイル系 300×300				
材 質	寸 法 (mm)								
・ 塩化ビニル系	・ せつ器質タイル系 300×300								
16. ビニル幅木	材 種 ※ 軟質 ・ 硬質 ・ 溶接 高 さ (mm) ※ 60 ※ 75 ・ 100 厚 さ (mm) ・ 1.5 ※ 2.0								
	・ タフテッドカーベット 施工箇所 パイル形状 パイル長さ (mm) 工 法 品 質 帯電性 ※ 全面接着工法 ・ グリッパー工法 (6.9.3(c)による)								
17. カーベット 敷き	・ タイルカーベット 施工箇所 種類 パイル形状 寸法 総厚さ 帯電性 ※ 第1種 ※ ルーフパイル ※ 500×500 ※ 6.5 ・ 第2種 ※ カットパイル 製造所の仕様による								
	材料の種類 ・ 厚膜型塗床材 ・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材 ・ エポキシ樹脂系塗床材 ・ 薄膜型塗床材 (エポキシ樹脂系塗床材)								
18. 合成樹脂塗床	仕上の種類 ・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ								
	・ 単層フローリング 種 別 樹種 厚さ(mm) 工法 塗装 ・ フローリング ※ ナラ ※ 15 幅 7/5 ※ ウレタン樹脂 ボード 長さ900以上 ・ 釘止め工法 ・ フローリング ※ ナラ ※ 15 303×303 ・ 接着工法 ・ ワニス塗り ・ フローリング ※ ナラ ※ 15 303×303 ・ モルタル埋込み工法 ・ オイルステ ン塗りの上 ・ モザイク ※ ナラ ・ 6 ・ 8 ・ 9 ・ 生地のまま ・ パーケット ・ ワックス ・ 既塗装品								
19. フローリング 張り	・ 複層フローリング 種 別 樹種 種別 防湿処理 工法 塗装 ※ 複合1種 ※ ナラ ・ A種 ・ 行う ※ ウレタン樹脂 フローリング ※ サクラ ・ B種 ※ 行わ フォス塗り ・ 複合2種 ※ ヒノキ ※ C種 ※ 行わ ・ オイルステ ン塗りの上 ・ フローリング ・ ・ ・ 生地のまま ・ 複合3種 ・ ・ ・ ワックス ・ フローリング ・ ナラ ・ ・ 行う ・ 特殊張り ・ 大型積層 ・ サクラ ・ ・ 行わ 工法 (体育館床) ・ フローリング ・ ・ ・ 既塗装品								
	量の種別 ・ A種 ・ B種 ※ C種 ・ D種								
20. 畳敷き	種類又は記号 種別など 厚 さ (mm) 規格番号 けい酸カルシウム板 (繊維強化セメント板 0.8FK又は0FK) 壁 ・ 8(不燃) ・ 10(不燃) ・ 12(不燃) JIS A 5430 (タイプ) 天井 ・ 6(不燃) ・ 12(不燃)								
	グラスウール 吸音ボード (吸音材料) GW-B 壁 25(不燃) JIS A 6301 (32K)								
21. 石こうボード その他ボード 張り	ロックウール 化粧吸音板 (吸音材料) DR 普通 ※ 9(不燃) ・ 12(不燃) JIS A 6301 立体模様 ※ 12(不燃) ・ 15(不燃) ・ 19(不燃)								
	せつこうボード (せつこうボード製品) GB-R 壁 ・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃) ・ 15(不燃) JIS A 6901 天井 ・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)								
22. 遮音シート	シーシング せつこうボード (せつこうボード製品) GB-S 壁 12.5(準不燃) JIS A 6901 天井 ・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)								
	化粧せつこうボード (せつこうボード製品) GB-NC トラバーチン模様 ※ 白 ・ 黄 9.5(不燃) JIS A 6901 木目模様 ※ 裏抜け付き 特殊模様 壁 ・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃) JIS A 6901 天井 ・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)								
23. タイル張り	タイルの種類 施工箇所 形状寸法 (mm) き じ うわ葉 役物 色 再生材 備考 磁器せつ器陶器無釉施釉ありなし標準注文利用								
	タイルの見本焼き ※ 行わない ・ 行う 内装タイルの工法 ・ 積上げ張り 施工箇所 () ・ 接着剤張り 施工箇所 () 種別 ・ 石こう系 ・ セメント系 塗厚 ※ 10mm								
24. セルフレ バリング材塗り	1. 防火材料 ※ 屋内の壁及び天井の仕上げは、建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるものとする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。 ()								
	2. 錆止め 塗料塗り								
7 1. 防火材料	2. 錆止め 塗料塗り								
	3. 合成樹脂調合 ペイント塗り (SOP)								
4. 合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り (EP)	4. 合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り (EP)								
	5. 耐候性塗料 塗り (DP)								
8 1. 鉄筋の種類	■ 記載及び指示なき事項は構造設計特記仕様書による								
	<table border="1"> <tr> <th>規格名称</th> <th>種類の記号</th> <th>径(mm)</th> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼</td> <td>※ SD295A</td> <td>※ D16以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ SD345</td> <td>※ D19以上</td> </tr> </table>	規格名称	種類の記号	径(mm)	鉄筋コンクリート用棒鋼	※ SD295A	※ D16以下		※ SD345
規格名称	種類の記号	径(mm)							
鉄筋コンクリート用棒鋼	※ SD295A	※ D16以下							
	※ SD345	※ D19以上							
2. 溶接金網	※ JIS G 3551 のJIS表示認証製品 線径(mm) 6.0 × 網目(mm) 100 使用箇所 ()								
	径19mm以上 ※ ガス圧接 ・ 重ね継手 ・ 図示								
3. 鉄筋の継手	試験方法 ※ 超音波探傷試験 ・ 引張り試験								
	4. 柱の帯筋								
4. 柱の帯筋	5. 圧接完了後の 抜取試験								
	5. 圧接完了後の 抜取試験								
8 1.2 耐震改修工事 (シロタケ ト工事)	■ 記載及び指示なき事項は構造設計特記仕様書による								
	普通コンクリート (Nm2) 設計基準強度 適用箇所 ※ 2.1								
2. レディー ミクス ト ン コ ン ク リ ー ト	種類 ※ I類 ・ II類								
	3. 打放し 仕上げの種類								
種 別 適用箇所	種 別 適用箇所 ・ A種 ・ B種 ・ C種								

4. セメントの 種類	※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種
	細骨材の塩分含有量 (McI 換算) ※ 0.04 %wt 以下 混和剤 ※ AE剤又はAE減水剤標準形 I種
5. 骨 材	種 別 適用箇所 気乾単位容積質量(m ³)
	適用箇所は6.14.1)によるほか、下記による。
6. 混和材料	種 別 適用箇所
	適用箇所は6.14.1)によるほか、下記による。
7. 軽量 コンクリート	種 別 適用箇所
	適用箇所は6.14.1)によるほか、下記による。
8. 無筋 コンクリート	種 別 適用箇所
	適用箇所は6.14.1)によるほか、下記による。
9. 型 枠	せき板の種類 ※ 合板 ・ せき板の塗料 ※ 無 ・ 有 ※ 流込み工法 ・ 圧入工法
	※ 流込み工法 ・ 圧入工法
10. コンクリート の打込み工法	既存仕上げの撤去範囲 ※ 図示 ・ 既存躯体の撤去範囲 ※ 図示 ・
	既存仕上げの撤去範囲 ※ 図示 ・ 既存躯体の撤去範囲 ※ 図示 ・
11. 既存部分の 撤去	既存仕上げの撤去範囲 ※ 図示 ・ 既存躯体の撤去範囲 ※ 図示 ・
	既存仕上げの撤去範囲 ※ 図示 ・ 既存躯体の撤去範囲 ※ 図示 ・
β 3 耐震改修工事 (あと施工 アンカー工 事)	1. あと施工 アンカー ※ 接着系アンカー (引張耐力 KN()、せん断耐力 KN()) ・ 接着剤 ※ 有機系 ・ 無機系 ・ 金属系アンカー (引張耐力 KN()、せん断耐力 KN()) 打込み方式 ※ 本体打込み式
	2. あと施工 アンカーの 試験 性能確認試験 ※ 行わない ・ 行う 施工確認試験 ※ 行わない ・ 行う
8 1.4 耐震改修 工事 (鉄骨工 事)	1. 鉄骨製作工場 ※ 指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を受けた下記のグレード以上の工場 ・ S ・ H ・ M ・ R ・ J ・ 本物件と同等規模構造の施工実績を有している工場で、監督職員の承諾する工場
	2. 鋼材の種類 材 質 規 格 ・ S540 ・ S540C ・ SK400 ・ SK400C ・ S400B/C ・ S490B/C ・ S400C ・ S490C JIS表示認証製品
3. 高力ボルト	ボルト種別 セットの種類 ※ トルシア形高力ボルト ※ 2種(S10) ・ JIS形高力ボルト ※ 2種(F10) ・ 溶融亜鉛メッキ高力ボルト ※ 1種(F 相当)
	※ 超音波探傷試験 (7.3.2~④)による。
4. 溶接部の試験	※ 超音波探傷試験 (7.3.2~④)による。
	5. 錆止め塗装
6. 耐火被覆	種 別 材料及び工法製造所 備 考 ・ ラス張モルタル 改修標準仕様書章15節による ・ 耐火材吹付け 建築基準法に基づく指定 ・ 耐火板張り 又は認定を受けたもの ※ 半乾式 ・ 湿式 ・ 耐火材巻付け
	材質 ※ S5400 ・ SNR400B 既存仕上げの撤去範囲 ※ 図示 ・ 既存躯体の撤去範囲 ※ 図示 ・
8 1.5 耐震改修 工事 (柱補強 工事)	1. 工 法 ・ 溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法 ・ 溶接金網の継ぎ手 ※ 重ね継ぎ手 ・ コンクリート及び構造躯体図用のモルタルの打設 ・ 圧入工法 ・ 流し込み工法 鋼板巻き工法 ・ 帯板巻き付け工法 ・ 連続繊維補強工法 製造所 () 引張強度試験及び付着強度試験 ・ 行う ・ 行わない
	既存仕上げの撤去範囲 ※ 図示 ・ 既存躯体の撤去範囲 ※ 図示 ・
8 1.6 耐震改修 工事 (その他)	1. グラウト材 無収縮モルタル材は、製造所で調合された材料を使用する。 圧縮強度(N/mm ²) : 30以上 コンシステンシー(J ₄ ロート値) : 6~10 乾燥収縮(×10 ⁻⁴) : 0
	2. 柱底等の 均しモルタル 無収縮モルタル材 ・ 使用する ・ 使用しない
3. スリットの 種類	※ 完全スリット ・ 部分スリット
	耐火材の使用 適用箇所 ※ 図示 ・ 使用しない 遮音材の使用 適用箇所 ※ 使用する ・ 使用しない 遮音材の使用 適用箇所 ※ 図示



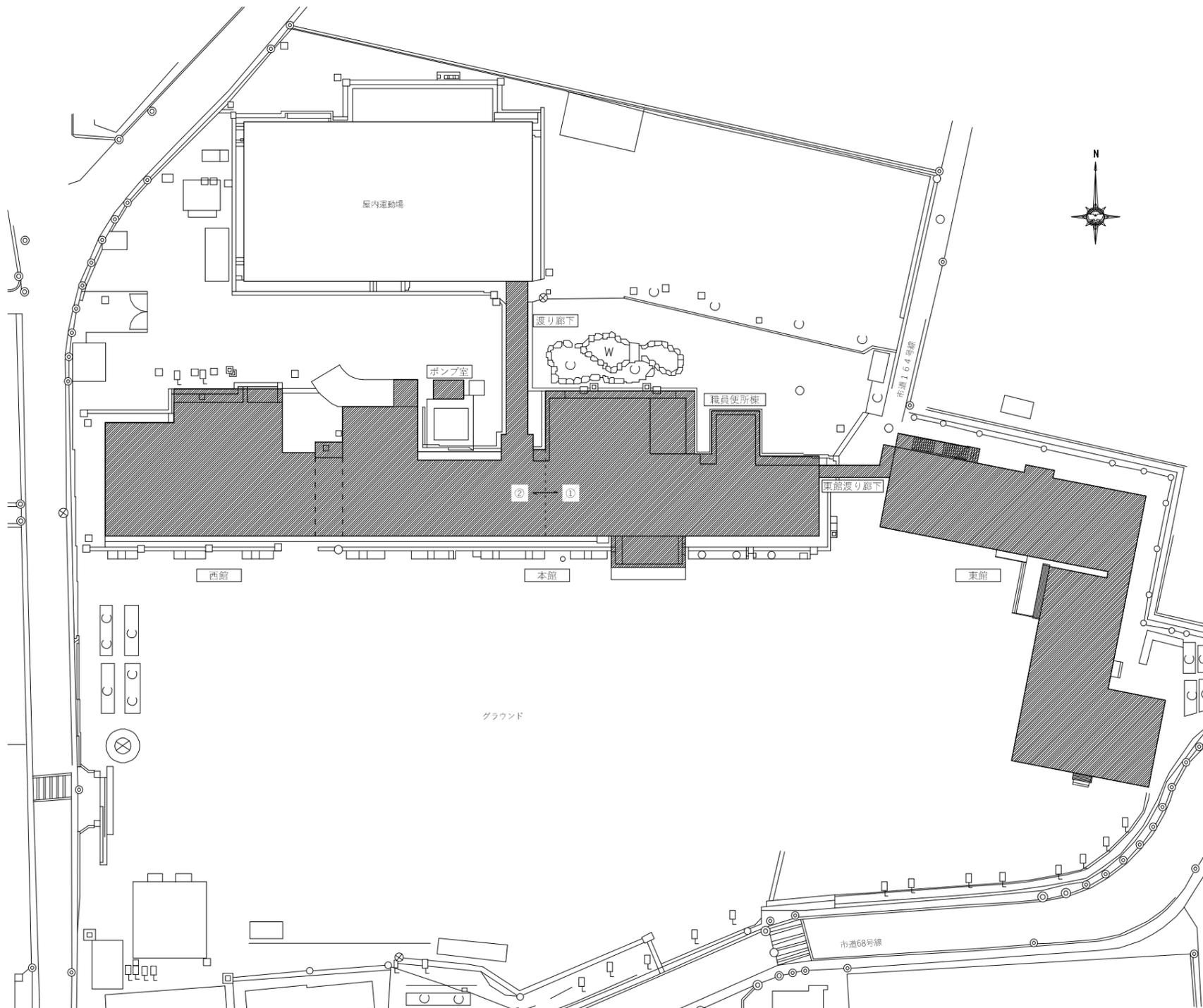
<p>9-1 (環境配慮) 9-2 (断熱改修工事)</p>	<p>① 一般事項</p> <p>石綿等の取扱については、石綿障害予防規則(平成17年2月24日厚生労働省令第21号)以下、「石綿則」という。)を遵守すること。</p> <p>施工調査 ・ 行わない。 ※ 行う (調査結果は図面等に記録し、監督職員に提出すること。調査の結果、設計図書と異なる場合は監督職員と協議する。)</p> <p>調査箇所 ※ 図示 ()</p> <p>調査事項 ※ アスベスト含有建材等の使用部位 ※ アスベスト含有建材等の種類、厚さ ※ 施工範囲と工事範囲区分 ※ 廃棄物などの搬出方法 ・</p> <p>アスベスト含有分析 ○ 行わない ・ 行う (分析結果は監督職員に提出する。)</p> <p>分析方法 ※ JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有測定法」による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料名</th> <th>定性分析</th> <th>定量分析</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・ (試料数:)</td> <td>・ (試料数:)</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・ (試料数:)</td> <td>・ (試料数:)</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・ (試料数:)</td> <td>・ (試料数:)</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・ (試料数:)</td> <td>・ (試料数:)</td> </tr> </tbody> </table> <p>アスベスト粉じん濃度測定 ○ 行わない。 ※ 行う (測定する時期・場所等は下表による) 「JIS K 3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法-第1部-光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差、分散顕微鏡法による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所(各施工箇所ごと)</th> <th>測定点</th> <th>室名等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 測定1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内(注1)</td> <td>※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 測定2</td> <td></td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>※2点 ・点 ○4点 ・点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 測定3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内(注1)</td> <td>※2点 ・点 ○1点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 測定4</td> <td></td> <td>セキュリティゾーン入口(空気の流れを確認)</td> <td>※1点 ・点 ※1点 ・点 ※1点 ・点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 測定5</td> <td></td> <td>負圧・粉じん装置の排出吹出口(除じん装置の性能確認)</td> <td>※1点 ・点 ※1点 ・点 ※1点 ・点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 測定6</td> <td></td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>※2点 ・点 ○4点 ・点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 測定7</td> <td>処理作業後シート撤去前</td> <td>処理作業室内</td> <td>※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 測定8</td> <td></td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>※2点 ・点 ○4点 ・点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 測定9</td> <td>処理作業後シート撤去後</td> <td>処理作業室内</td> <td>※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>測定点総計 点</p> <p>注1: 周囲状況により上記より少ない場合は、監督職員と協議する。</p> <p>(例) アスベスト粉じん濃度測定方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定点</th> <th>測定1, 2, 4, 6, 7, 8</th> <th>測定5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数計機器</td> <td>位相差・分散顕微鏡</td> <td></td> </tr> <tr> <td>メソプレフィルタの直径</td> <td>25mm</td> <td>47mm</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量</td> <td>1L/min</td> <td>5L/min</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間</td> <td>5min</td> <td>120min</td> </tr> <tr> <td>試料の透明化</td> <td>7セトン固定-有機物灰化-屈折率浸液法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計数条件</td> <td>総合倍率400倍・アスベスト繊維線数、通常50視野</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計数アスベスト</td> <td>幅3μm未満、長さ5μm以上、アスベクト比(長さ/幅)</td> <td>3以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>定量限界 50本/L 0.47本/L 0.3本/L</p> <p>記録する項目 ア. 測定結果 イ. 測定時間 ウ. 測定位置(測定高さとともに図面上に記載する。) エ. サンプリング条件(メソプレフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量) オ. マウンティング法 カ. 顕微鏡視野面積、計数視野数 キ. 測定時(各測定場所ごと)の天候、温度、湿度、外気の風速及び風量</p> <p>測定機関 都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関</p> <p>施工記録報告書の提出 1. 施工計画書 2. 工事記録及び工事写真 3. 産業廃棄物処理記録(廃石綿) 4. 施工調査等記録(実施調査、含有分析、粉じん濃度測定等) 5. 作業者の作業記録、各種健康診断記録、安全衛生教育記録 6. その他必要事項</p> <p>提出部数 3部作成</p>	材料名	定性分析	定量分析	・	・ (試料数:)	・ (試料数:)	・	・ (試料数:)	・ (試料数:)	・	・ (試料数:)	・ (試料数:)	・	・ (試料数:)	・ (試料数:)	適用測定名称	測定時期	測定場所(各施工箇所ごと)	測定点	室名等	・ 測定1	処理作業前	処理作業室内(注1)	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点		○ 測定2		施工区画周辺又は敷地境界	※2点 ・点 ○4点 ・点		○ 測定3	処理作業中	処理作業室内(注1)	※2点 ・点 ○1点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点		・ 測定4		セキュリティゾーン入口(空気の流れを確認)	※1点 ・点 ※1点 ・点 ※1点 ・点		○ 測定5		負圧・粉じん装置の排出吹出口(除じん装置の性能確認)	※1点 ・点 ※1点 ・点 ※1点 ・点		○ 測定6		施工区画周辺又は敷地境界	※2点 ・点 ○4点 ・点		・ 測定7	処理作業後シート撤去前	処理作業室内	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点		○ 測定8		施工区画周辺又は敷地境界	※2点 ・点 ○4点 ・点		・ 測定9	処理作業後シート撤去後	処理作業室内	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点		測定点	測定1, 2, 4, 6, 7, 8	測定5	数計機器	位相差・分散顕微鏡		メソプレフィルタの直径	25mm	47mm	試料の吸引流量	1L/min	5L/min	試料の吸引時間	5min	120min	試料の透明化	7セトン固定-有機物灰化-屈折率浸液法		計数条件	総合倍率400倍・アスベスト繊維線数、通常50視野		計数アスベスト	幅3μm未満、長さ5μm以上、アスベクト比(長さ/幅)	3以上	<p>② 除去工事 共通事項</p> <p>専門工事業者 アスベスト含有建材の除去を直接行う専門業者については、工事に相応した技術を有することを証明する書類を監督職員に提出する。</p> <p>作業主任者の選出 石綿作業主任者技能講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習を終了した者の中から、「石綿作業主任者」を選任しなければならない。</p> <p>除去作業者の教育 作業者は、就業時に石綿則第27条に基づき教育を受けた者とする。また、一般健康診断、石綿健康診断及びじん肺健康診断を受診した者とし、肺機能に異常のない者とする。</p> <p>特別管理産業廃棄物管理責任者の選出 排出業者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有するものを選任し管理しなければならない。ただし、アスベスト含有成形版の処理工事を除く。</p> <p>表示及び掲示 更衣室など見やすい箇所に次の表示及び掲示を行う。 ※ アスベスト作業主任者名と職務内容 ※ 関係者以外立入禁止 ※ 喫煙・飲食の禁止 ※ 「アスベスト除去作業中」の表示 ※ アスベストの有害性 ※ 取り扱い上の注意事項 ※ 使用すべき保護具</p> <p>周辺住民の見やすい箇所に以下の表示を行う。 ※ 「建築物等の解体等の作業に関するお知らせ(労働基準監督署への届出内容、粉じん飛散抑制装置、騒音防止措置等)」</p> <p>保護衣、保護衣 作業内容に応じた、呼吸用保護具、保護めがねを使用すること。</p> <p>除去したアスベスト含有物の保管、運搬等 ※ 他の内装材、廃棄物等と分別保管 ※ 保管場所での飛散防止を施す。また、アスベスト成形版を運搬する場合は、運搬車両の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。 ※ アスベスト等の保管場所である旨の表示を行う。</p> <p>アスベスト含有建築仕上塗材(レベル3)の除去工事 ○ 行う (適用範囲・図示) ・ 行わない ○ 塵塵装置付き超高压水洗工法(100MPa以上)(マルホフ ウォータークリーン工法同等とする) ○ 湿式集塵装置付きディスクグラインダー-ケレン工法 試験施工を実施し、作業中の作業場所の総繊維濃度が0.15本/cm3(作業環境の石綿濃度)以下であることを確認すること。</p> <p>作業場等の隔離等 ※ 作業場は以下によるものとし負圧除じん機にて負圧状態により飛散防止をすること。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">隔離シートの性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 床面</td> <td>※ 0.15mm以上のプラスチックシート等二重</td> </tr> <tr> <td>※ 壁面</td> <td>※ 0.08mm以上のプラスチックシート等</td> </tr> </tbody> </table> <p>ただし、(財)日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による「吹き付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術(除去)」の審査証明書(以下、「審査証明書」という。)を取得している工法と同等の飛散防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督職員の承認を得ること。</p> <p>セキュリティゾーンの設置 ※ 下表による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>室名</th> <th>状態</th> <th>更衣ロッカー</th> <th>新形の保護具</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※</td> <td>更衣室</td> <td>※</td> <td>※ 呼吸用保護具保管箱</td> <td>※ 洗面、うがい設備</td> </tr> <tr> <td>※</td> <td>洗浄室</td> <td>※</td> <td>※ エアシャワー(温水シャワー)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※</td> <td>前室</td> <td>※</td> <td>※ 高性能真空掃除機</td> <td>※ 使用済み保護衣保管かご</td> </tr> </tbody> </table> <p>ただし、(財)日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による「吹き付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術(除去)」の審査証明書(以下、「審査証明書」という。)を取得している工法と同等の飛散防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督職員の承認を得ること。</p> <p>除去物及び汚染等 処理方法 ※ 密封処理(二重袋梱包) 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、除じん機フィルタについても密封処理を行う。 ・ ヒメント固化</p> <p>アスベスト含有保温材の除去工事 ・ 行う (適用範囲・図示) ・ 行わない</p> <p>養生等 ※ 養生シート等を用いて区画し、場外への飛散防止を行う。</p> <p>掻き落とし、破碎、切断による除去方法 ※ 行わない ・ 行う (<9.1.3>「アスベスト含有吹き付け材の除去」による)</p> <p>除去工法 ※ 粉じん飛散抑制剤などにより湿潤化したあとに、手ばらしによること。 ※ 除去物については<9.1.3(b)>により、密封処理とする。</p>	隔離シートの性能		※ 床面	※ 0.15mm以上のプラスチックシート等二重	※ 壁面	※ 0.08mm以上のプラスチックシート等	適用	室名	状態	更衣ロッカー	新形の保護具	※	更衣室	※	※ 呼吸用保護具保管箱	※ 洗面、うがい設備	※	洗浄室	※	※ エアシャワー(温水シャワー)		※	前室	※	※ 高性能真空掃除機	※ 使用済み保護衣保管かご	<p>5. アスベスト含有成形版の処理</p> <p>アスベスト含有成形版の除去工事 ・ 行う (適用範囲・図示) ・ 行わない</p> <p>養生 ※ 作業場は、養生シート等を用いて区画する。</p> <p>除去工法 ※ 作業場は、散水等により湿潤化し、手ばらしによること。 ※ やむを得ず破壊しなければならない場合には、十分に湿潤化した状態で行うこと。 ※ 除去物については、粉じんの飛散防止に努め、特に破砕されたアスベスト含有成形版については、湿潤化の上、丈夫なプラスチック袋に入れる等の飛散防止措置を講ずること。</p> <p>9-1 (断熱改修工事)</p> <p>1. 断熱材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ ポリスチレンフォーム(発泡プラスチック保温材)</td> <td>下記以外</td> <td>※ 25</td> <td>JIS A 9511のJIS表示認証製品</td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ウレタンフォーム保温材</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ フェノールフォーム保温材</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>JIS A 9511のJIS表示認証製品</td> </tr> <tr> <td>・ 吹付け硬質ウレタンフォーム保温材</td> <td>・</td> <td>※ 20</td> <td>JIS A 9526</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 施工範囲は建築工事標準詳細図(図7-01-1)による。</p> <p>上記以外に用いる断熱材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ JISA発泡プラスチック保温材</td> <td>下記以外</td> <td>※ 25</td> <td>JIS表示認証製品</td> </tr> <tr> <td>・ クラスワール保温材</td> <td>・</td> <td>※ 100</td> <td>※ 24K品</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ クラスワール使用部分の室内側防湿シート ※ 被覆品 ・ 防湿層ポリエチレンフィルム(t0.15)張り (重ね100)</p> <p>10. 埋戻し及び盛土の種別</p> <p>・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 C種の場合 建設発生土受入れ量発生場所受入条件</p> <p>2. 建設発生土の処理</p> <p>・ 構外に搬出し適切に処理する。 ・ 構外指示の場所に搬出する。 ・ 受入れ施設名・住所(1km) ・ 構内指示の場所に敷きならす。 ・ 構内指示の場所にたい積する。</p> <p>11. コンクリートブロック塀及び塀</p> <p>ブロックの種類 ※ 空洞ブロック 16 (ただし、設備配管用裏積等は空洞ブロック08とすることができる。)</p>	種類	箇所	厚さ(mm)	備考	※ ポリスチレンフォーム(発泡プラスチック保温材)	下記以外	※ 25	JIS A 9511のJIS表示認証製品	・ 硬質ウレタンフォーム保温材	・	・	・	・ フェノールフォーム保温材	・	・	JIS A 9511のJIS表示認証製品	・ 吹付け硬質ウレタンフォーム保温材	・	※ 20	JIS A 9526	・	・	・	・	種類	箇所	厚さ(mm)	備考	・ JISA発泡プラスチック保温材	下記以外	※ 25	JIS表示認証製品	・ クラスワール保温材	・	※ 100	※ 24K品	<p>12. 再生材</p> <p>1. 再生材 ※ 使用する ・ 使用しない 2. 盛土材料 路床の盛土材料 ※ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 3. 遮断層及び凍上抑制層用材料 遮断層 ※ 川砂・海砂又は良質な山砂 凍上抑制層 ※ 再生クワッシュパン ※ 切込砂利又は切込砕石材料</p> <p>4. 路床土の支持力比(CBR)試験 ※ 行わない ・ 行う (※ 乱した土 ・ 乱さない土)</p> <p>5. 路床締固め度の試験 ※ 行わない ・ 行う</p> <p>6. 路盤材料 ※ 再生クワッシュパン RC-40</p> <p>7. アスファルト舗装</p> <p>加熱アスファルト混合物の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表層</th> <th>基層</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 再生密粒度アスファルト混合物(13) ※ 密粒度アスファルト混合物(13) ※ 細粒度アスファルト混合物(13)</td> <td>※ 再生粗粒度アスファルト混合物(20) ※ 粗粒度アスファルト混合物(20)</td> </tr> </tbody> </table> <p>アスファルト混合物等の抽出試験 ※ 行わない ・ 行う</p> <p>8. コンクリート舗装 早強セメント ※ 使用する ※ 使用しない 溶接金網 ※ あり ※ なし</p> <p>9. ブロック系舗装 ・ コンクリート平板舗装 ※ 砂目地 ・ モルタル目地 ・ インターロック型ブロック舗装 ※ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装 ・ 鎮石舗装 基層 ※</p> <p>10. 縁石及び側溝 地葉の材料 ・ 再生クワッシュパン</p> <p>11. 砂利敷き ・ A種(通路) ※ B種(建物周辺)</p> <p>12. 区画線 ※ 3種1号白</p> <p>13. フリーアクセスフロア</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工場所</th> <th>工法</th> <th>仕上り高(mm)</th> <th>適用地震時水平力(Ks)</th> <th>耐荷重性能(N)</th> <th>表面仕上げ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 溝工法(敷設工法)</td> <td></td> <td></td> <td>※ 1.0G ※ 0.6G</td> <td>・ 3,000 ・ 5,000</td> <td>・ 帯電防止床タイル ・ タイル ・ カーペット</td> </tr> <tr> <td>・ 支柱一体型パネル工法(敷設工法)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 支柱分離型パネル工法(独立支柱工法)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>ボーダー部 ※ 一般部分の仕様基準による 床表面仕上げ材の品質は標準仕様書による。 配線取出し用切り欠きパネルは1枚/m²以上とする。 空調用吹き出し(吸い込み)パネル ※ なし ※ 有り (※ 固定式 ・ 可変式) 施工箇所は図示</p> <p>2. 可動割仕切(パーティション)</p> <p>構造形式による種類 スタッド式密閉形 構成材の種類 アルミニウム合金系又はスチール系 パネル表面材 焼付塗装鋼板(標準色) t=0.5以上 遮音性 36dB以上 防火性能 不燃</p> <p>3. 移動割仕切(スライディングドア)</p> <p>パネルの操作方法による種類 規定しない パネル表面材の材質及び仕上げ 製造所仕様の化粧鋼板(標準色) t=0.5以上 ハンドル回転式又はフック上下式 遮音性 36dB以上 防火性能 不燃 取り付け用あと施工アンカー 材質、寸法等は図示又は製造所の仕様による</p> <p>4. トイレブース</p> <p>表面材 メフミン化粧鋼板(標準色) フレーム ステンレス製 H=60 扉 アルミ製 厚40中心吊りアール形アルミ製エッジ、 帽子掛け戸当たり付き</p> <p>5. 階段滑り止め(ノンスリップ)</p> <p>材種 ステンレス(SUS304) ビニールタイヤ入り(幅約35mm) 取り付け方法 ※ 接着工法 ・ 埋込み工法</p> <p>6. 床目地締</p> <p>ステンレスFB(SUS304) t5~6×H12 (床仕上げが異なる場合に設ける。但し、建具部は建具表による。)</p> <p>7. 鏡 耐湿鏡 t=5 ステンレスフレーム付き</p> <p>8. 表示 衝突防止表示 ステンレス製 H.L仕上り φ30程度 市販品 誘導標識 市販品 室名札</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>材種</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>天井</td> <td>※ アルミニウム製</td> <td>※ 450×450</td> <td>※ 目地タイプ ・ 600×600 ※ 罫線タイプ</td> </tr> <tr> <td>床</td> <td>※ アルミニウム製</td> <td>※ 450×450</td> <td>※ 一般型貼物用 ・ 600×600</td> </tr> </tbody> </table> <p>9. 点検口</p> <p>10. 視覚障害者用誘導ブロック</p> <p>屋外 ※ コンクリート製 ・ 磁器質タイル(※100角・150角)</p>	表層	基層	※ 再生密粒度アスファルト混合物(13) ※ 密粒度アスファルト混合物(13) ※ 細粒度アスファルト混合物(13)	※ 再生粗粒度アスファルト混合物(20) ※ 粗粒度アスファルト混合物(20)	施工場所	工法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力(Ks)	耐荷重性能(N)	表面仕上げ	・ 溝工法(敷設工法)			※ 1.0G ※ 0.6G	・ 3,000 ・ 5,000	・ 帯電防止床タイル ・ タイル ・ カーペット	・ 支柱一体型パネル工法(敷設工法)						・ 支柱分離型パネル工法(独立支柱工法)						施工箇所	材種	寸法	形式	天井	※ アルミニウム製	※ 450×450	※ 目地タイプ ・ 600×600 ※ 罫線タイプ	床	※ アルミニウム製	※ 450×450	※ 一般型貼物用 ・ 600×600
材料名	定性分析	定量分析																																																																																																																																																																																																	
・	・ (試料数:)	・ (試料数:)																																																																																																																																																																																																	
・	・ (試料数:)	・ (試料数:)																																																																																																																																																																																																	
・	・ (試料数:)	・ (試料数:)																																																																																																																																																																																																	
・	・ (試料数:)	・ (試料数:)																																																																																																																																																																																																	
適用測定名称	測定時期	測定場所(各施工箇所ごと)	測定点	室名等																																																																																																																																																																																															
・ 測定1	処理作業前	処理作業室内(注1)	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点																																																																																																																																																																																																
○ 測定2		施工区画周辺又は敷地境界	※2点 ・点 ○4点 ・点																																																																																																																																																																																																
○ 測定3	処理作業中	処理作業室内(注1)	※2点 ・点 ○1点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点																																																																																																																																																																																																
・ 測定4		セキュリティゾーン入口(空気の流れを確認)	※1点 ・点 ※1点 ・点 ※1点 ・点																																																																																																																																																																																																
○ 測定5		負圧・粉じん装置の排出吹出口(除じん装置の性能確認)	※1点 ・点 ※1点 ・点 ※1点 ・点																																																																																																																																																																																																
○ 測定6		施工区画周辺又は敷地境界	※2点 ・点 ○4点 ・点																																																																																																																																																																																																
・ 測定7	処理作業後シート撤去前	処理作業室内	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点																																																																																																																																																																																																
○ 測定8		施工区画周辺又は敷地境界	※2点 ・点 ○4点 ・点																																																																																																																																																																																																
・ 測定9	処理作業後シート撤去後	処理作業室内	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点																																																																																																																																																																																																
測定点	測定1, 2, 4, 6, 7, 8	測定5																																																																																																																																																																																																	
数計機器	位相差・分散顕微鏡																																																																																																																																																																																																		
メソプレフィルタの直径	25mm	47mm																																																																																																																																																																																																	
試料の吸引流量	1L/min	5L/min																																																																																																																																																																																																	
試料の吸引時間	5min	120min																																																																																																																																																																																																	
試料の透明化	7セトン固定-有機物灰化-屈折率浸液法																																																																																																																																																																																																		
計数条件	総合倍率400倍・アスベスト繊維線数、通常50視野																																																																																																																																																																																																		
計数アスベスト	幅3μm未満、長さ5μm以上、アスベクト比(長さ/幅)	3以上																																																																																																																																																																																																	
隔離シートの性能																																																																																																																																																																																																			
※ 床面	※ 0.15mm以上のプラスチックシート等二重																																																																																																																																																																																																		
※ 壁面	※ 0.08mm以上のプラスチックシート等																																																																																																																																																																																																		
適用	室名	状態	更衣ロッカー	新形の保護具																																																																																																																																																																																															
※	更衣室	※	※ 呼吸用保護具保管箱	※ 洗面、うがい設備																																																																																																																																																																																															
※	洗浄室	※	※ エアシャワー(温水シャワー)																																																																																																																																																																																																
※	前室	※	※ 高性能真空掃除機	※ 使用済み保護衣保管かご																																																																																																																																																																																															
種類	箇所	厚さ(mm)	備考																																																																																																																																																																																																
※ ポリスチレンフォーム(発泡プラスチック保温材)	下記以外	※ 25	JIS A 9511のJIS表示認証製品																																																																																																																																																																																																
・ 硬質ウレタンフォーム保温材	・	・	・																																																																																																																																																																																																
・ フェノールフォーム保温材	・	・	JIS A 9511のJIS表示認証製品																																																																																																																																																																																																
・ 吹付け硬質ウレタンフォーム保温材	・	※ 20	JIS A 9526																																																																																																																																																																																																
・	・	・	・																																																																																																																																																																																																
種類	箇所	厚さ(mm)	備考																																																																																																																																																																																																
・ JISA発泡プラスチック保温材	下記以外	※ 25	JIS表示認証製品																																																																																																																																																																																																
・ クラスワール保温材	・	※ 100	※ 24K品																																																																																																																																																																																																
表層	基層																																																																																																																																																																																																		
※ 再生密粒度アスファルト混合物(13) ※ 密粒度アスファルト混合物(13) ※ 細粒度アスファルト混合物(13)	※ 再生粗粒度アスファルト混合物(20) ※ 粗粒度アスファルト混合物(20)																																																																																																																																																																																																		
施工場所	工法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力(Ks)	耐荷重性能(N)	表面仕上げ																																																																																																																																																																																														
・ 溝工法(敷設工法)			※ 1.0G ※ 0.6G	・ 3,000 ・ 5,000	・ 帯電防止床タイル ・ タイル ・ カーペット																																																																																																																																																																																														
・ 支柱一体型パネル工法(敷設工法)																																																																																																																																																																																																			
・ 支柱分離型パネル工法(独立支柱工法)																																																																																																																																																																																																			
施工箇所	材種	寸法	形式																																																																																																																																																																																																
天井	※ アルミニウム製	※ 450×450	※ 目地タイプ ・ 600×600 ※ 罫線タイプ																																																																																																																																																																																																
床	※ アルミニウム製	※ 450×450	※ 一般型貼物用 ・ 600×600																																																																																																																																																																																																

工事概要								
工事場所	海老名市河原口三丁目13番1号							
	敷地面積	12,686.48㎡						
建物概要	棟名称	西館	本館	東館	渡り廊下	東館渡り廊下	ポンプ室	職員便所棟
	構造規模	RC造3階建	RC造3階建	S造2階建	RC・S造1階建	S造1階建	CB造1階建	RC造1階建
	竣工年	昭和55年	昭和55年	平成16年	昭和57年	平成16年	昭和55年	昭和57年
工事種目	海老名市立有鹿小学校校舎外装改修工事							
	外壁改修工事 防水改修工事 塗装改修工事 その他工事							
工事内容	外壁改修工事	職員便所棟	：アスベスト含有仕上塗材除去、劣化部補修の外壁塗装工事					
		ポンプ室	：劣化部補修の外壁塗装工事					
		西館・本館	：北側壁面仕上塗材除去、劣化部補修の外壁塗装工事					
		渡り廊下	：塗装工事					
		東館	：劣化部補修の外壁塗装工事					
	東館渡り廊下	：塗装工事						
	防水改修工事	：屋上、庇、ベランダ、建具、ガラス廻り						
	塗装改修工事	：廻り、建具、フェンス、壁面ボックス、配管等						
	その他工事	：その他上記に伴う付帯工事一式						



案内図 N.S

海老名市立有鹿小学校：海老名市河原口三丁目13番1号



配置図 S=1:600

工事対象



有鹿小学校 外部仕上表

本館		既 存	改 修	符号
屋上	PH・R階 配膳室屋上	平場：合成高分子ルーフィングシート防水 t=2.0 立上り：合成高分子ルーフィングシート防水 t=1.5 接着工法 パラペット上部巻き込み、 立上り天端防水端未用金具 ※金具撤去処分	平場：合成高分子系ルーフィングシート防水工法、露出防水層非撤去、機械的工法 (S-M2) 天端押え金具とも 立上り(天端まで)：合成高分子系ルーフィングシート防水工法、露出防水層非撤去、接着工法 (S-F2)	①
	職員便所棟	平場：合成高分子ルーフィングシート防水 t=2.0 立上り：合成高分子ルーフィングシート防水 t=1.5 接着工法 パラペット上部巻き込み	平場：合成高分子系ルーフィングシート防水工法、露出防水層非撤去、機械的工法 (S-M2) 天端押え金具とも 立上り(天端まで)：合成高分子系ルーフィングシート防水工法、露出防水層非撤去、接着工法 (S-F2)	
	共通	縦型ドレイン(計9ヶ所)撤去処分、横引ドレイン(計4ヶ所)撤去処分	縦型ドレイン(計9ヶ所)：新設・先付け納まり、横引ドレイン(計4ヶ所)：新設・先付け納まり	
バルコニー ※軒裏は庇・RC造と同じ		平場・立上り：塗膜防水 接着工法 (X-2) 中継用ドレイン(計16ヶ所)撤去処分 外護：微弾性ファイラーにて下地調整の上防水型複層塗材E スチール手摺 40A 60A OP	平場・立上り：ウレタン系塗膜防水工法、露出防水層非撤去、密着クロス挿入工法 (X-2) 中継用ドレイン(16ヶ所)新設・先付け納まり スチール手摺：塗膜除去 下地処理 錆止め塗料塗り 耐候性塗料 (DP) 塗り	②
外壁	RC造	微弾性ファイラーにて下地調整の上防水型複層塗E ※アスベスト含有仕上塗材 【図示】	職員便所棟外壁：吹付材除去：集塵装置付き超高压水洗工法 (100MPa以上)下地調整のうえ防水形複層塗材E吹付 【図示】	③
		微弾性ファイラーにて下地調整の上防水型複層塗E ※アスベスト含有なし	建物北面外壁：既存塗膜高压洗浄 (50MPa以上) 塗膜全面除去 下地調整の上防水型複層塗材E吹付	④
			上記外壁面：既存塗膜高压洗浄 (30MPa程度) 劣化部除去 下地調整の上防水型複層塗材E吹付	⑤
庇	RC造	めくれ補修のうえ複層塗材E吹付	既存塗膜高压洗浄 (30MPa程度) 劣化部分除去 下地調整のうえ防水型複層塗材E吹付	⑥
	S造	折板屋根	高压洗浄 (30MPa程度) 下地処理 錆止め塗料塗り 軽量鉄骨フレーム：耐候性塗料 (DP) 塗り 折板：耐候性塗料 (DP) 塗り	⑦
軒裏 (のり裏を含む)	RC造	カチオンファイラーにて下地調整の上アクリル系リシン吹付	既存塗膜高压洗浄 (30MPa程度) 劣化部分除去 下地調整のうえ外装薄塗材E吹付	⑧
建具		アルミサッシ スチールサッシSOP	スチール：塗膜除去 下地処理 錆止め塗料塗り 耐候性塗料 (DP) 塗り アルミ・ガラス：内外清掃 鋼製建具廻り：シーリング材打ち替えMS-2 ※スチール製建具のガラス廻りを含む	⑨
樋	堅樋	【樋A】白ガス管φ120 支持金物φ1,500内外 OP塗装 【樋B】硬質塩ビ管φ100 ※撤去処分 支持金物φ1,200内外	塗膜除去 下地処理 錆止め塗料塗り 耐候性塗料 (DP) 塗り ※支持金物とも 硬質塩ビ管φ75(か)新設 既存支持金物：塗膜除去・下地処理・錆止め塗料塗り・耐候性塗料 (DP) 塗り	⑩
屋外階段		蹴上、踏面：防水モルタル金ゴテ ノンスリップ(磁器質タイル)(既存のまま) 巾木：モルタル防水立上げ 段裏：白セメント吹付 スチール手摺：OP	蹴上、踏面、巾木：ウレタン系塗膜防水工法、露出防水層撤去、密着クロス挿入工法 (X-2) スチール手摺：塗膜除去 下地処理 錆止め塗料塗り 耐候性塗料 (DP) 塗り	⑪
その他	スチールネットフェンス	屋上スチールネットフェンス H=1,800 ネット撤去	既存支柱部 下地処理 錆止め塗料塗り 耐候性塗料 (DP) 塗り ネット新設	⑫
	STルーバー STタラップ	スチール製	塗膜除去 下地処理 錆止め塗料塗り 耐候性塗料 (DP) 塗り ※支持金物とも	⑬
	シーリング	打継目地・伸縮目地・耐震シート等	シーリング材打ち替え MS-2 (10×20) PU-2 (10×10)	
	欠損・腐朽部	各所各仕様		

特記事項

- 外壁のコンクリート面・めくれ面等のひび割れ、浮き、爆裂、欠損部は改修を行う。以下によらない場合は監督員等との協議を行う。
- 浮き部分：アンカーボルト部分に樹脂注入工法 (16本/㎡)
爆裂部：樹脂樹脂充填工法 (鉄筋防錆処理含む)
ひび割れ 0.2mm以上1.0mm以下：自動式低圧樹脂注入工法
ひび割れ 1.0mm超：Uカット充填工法
ひび割れ 貫通部分：シーリング注入
欠損部：ポリマーセメント樹脂充填工法 (深さ30mm程度を超える欠損は樹脂樹脂充填工法とする)
- 既存防水下地の異物等は全箇所全面清掃する。防水下地調整材は平場・立上りともポリマーセメントペーストとする。
- シート防水施工箇所はゲージの引抜試験を実施する。
- シート防水の機械固定ゲージの配置は施工図・計算書を提出のうえ、監督員等の承諾を受ける。
- ルーフィング・中継用ドレイン：改修用を設置 (キャップとも) する。改修用ドレインの設置に支障となる部分を撤去する。ドレイン廻りの不陸が大きい場合はポリマーセメントめくれ等で補修する。
- 外壁の打継目地・伸縮目地及び防水保護層の伸縮目地は撤去しウレタン系シーリング材を充填する。
- 軒裏 (庇、屋外階段等) の仕上塗材は鉄部を除き外装薄塗材Eとする。
- 設備配管等支持金物は再塗装をする。また、設備配管は既存利用するため、シート防水の施工に影響がある範囲はゲージキャップし対応する。
- 建具廻りシーリング材は撤去し、変成シリコン系シーリング材を充填する。
- 建具ガラス・ガラスは外装改修後、清掃 (両面) を行う。
- 外装部に設置されている設備および支持金物は、再塗装 (下地調整、錆止め、DP1級) を行う。SUS製のものは塗装せず清掃をおこなう。
- ネットフェンスはひし形金網交換を行い、既存支柱部・アンクル等は塗替えを行う。
- アスベスト含有建材の撤去は、関係法令、マニュアル、関係官庁指導により必要な隔離や養生及び設備を設置し、適切に撤去処分すること。

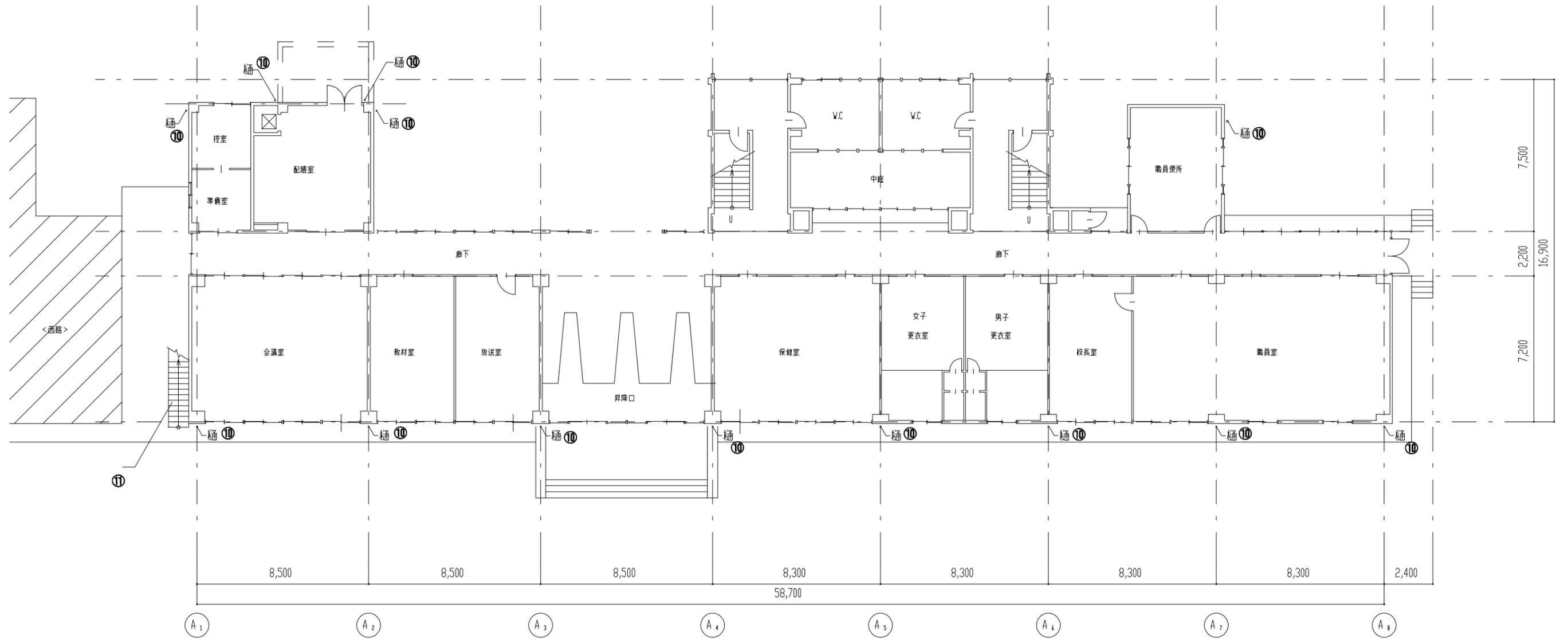


有鹿小学校 外部仕上表

西館		既 存	改 修	符号
屋上	R階	平場：合成高分子ルーフィングシート防水 t=1.5 立上り：合成高分子ルーフィングシート防水 t=1.5 接着工法 パラペット上部巻き込み、立上り天端防水端末用金具 ※金具撤去処分	平場：合成高分子系ルーフィングシート防水工法、露出防水層非撤去、機械的工法 (S-M2) 天端押え金具とも立上り(天端まで)：合成高分子系ルーフィングシート防水工法、露出防水層非撤去、接着工法 (S-F2)	①
	昇降口	平場：合成高分子ルーフィングシート防水 t=1.5 立上り：合成高分子ルーフィングシート防水 t=1.5 接着工法 パラペット上部巻き込み	平場：合成高分子系ルーフィングシート防水工法、露出防水層非撤去、機械的工法 (S-M2) 天端押え金具とも立上り(天端まで)：合成高分子系ルーフィングシート防水工法、露出防水層非撤去、接着工法 (S-F2) 笠木：ウレタン系塗膜防水工法、露出防水層非撤去、密着加工挿入工法 (X-2)	
	共通	縦型ドレイン(計4ヶ所)撤去処分、横引ドレイン(計2ヶ所)撤去処分	縦型ドレイン(計4ヶ所)：新設・先付け納まり、横引ドレイン(計2ヶ所)：新設・先付け納まり	
バルコニー <small>※軒裏は庇・RC造と同じ</small>		平場・立上り：塗膜防水 接着工法 (X-2) 中継用ドレイン(計6ヶ所)撤去処分 外護：微弾性ファイラーにて下地調整の上防水型複層塗材E スチール手摺 40A 60A OP	平場・立上り：ウレタン系塗膜防水工法、露出防水層非撤去、密着加工挿入工法 (X-2) 中継用ドレイン(6ヶ所)新設・先付け納まり スチール手摺：塗膜除去 下地処理 錆止め塗料塗り 耐候性塗料 (DP) 塗り	②
外壁	RC造	微弾性ファイラーにて下地調整の上防水型複層塗E ※アスベスト含有なし	建物北面外壁：既存塗膜高圧洗浄 (50MPa以上) 塗膜全面除去 下地調整の上防水型複層塗材E吹付	③
			上記外壁面：既存塗膜高圧洗浄 (30MPa程度) 劣化部除去 下地調整の上防水型複層塗材E吹付	④
軒裏 <small>(A' A2-含む)</small>	RC造	カチオンファイラーにて下地調整の上アクリル系リシン吹付	既存塗膜高圧洗浄 (30MPa程度) 劣化部分除去 下地調整のうえ外装薄塗材E吹付	⑤
建具		アルミサッシ スチールサッシSOP	スチール：塗膜除去 下地処理 錆止め塗料塗り 耐候性塗料 (DP) 塗り アルミ・ガラス：内外清掃 鋼製建具廻り：シーリング材打ち替えMS-2 ※スチール製建具のガラス廻りを含む	⑥
樋	縦樋	[樋A] 白ガス管φ120 支持金物φ1,500内外 OP塗装 [樋B] 硬質塩ビ管φ100 ※撤去処分 支持金物φ1,200内外	塗膜除去 下地処理 錆止め塗料塗り 耐候性塗料 (DP) 塗り ※支持金物とも 硬質塩ビ管φ75 (カラー) 新設 既存支持金物：塗膜除去・下地処理・錆止め塗料塗・耐候性塗料 (DP) 塗り	⑦
その他	スチールネットフェンス	屋上スチールネットフェンス H=1,800 ネット撤去	既存支柱部 下地処理 錆止め塗料塗り 耐候性塗料 (DP) 塗り ネット新設	⑩
	シーリング	打継目地・伸縮目地・耐震リット等	シーリング材打ち替え MS-2 (10×20) PU-2 (10×10)	
	欠損・腐朽部	各所各仕様		

東館		既 存	改 修	符号
屋根		仕上：ガルバリウム鋼板 t=0.6 折板葺 H=88 鼻隠し：カラー鉄板 t=0.5 H=300 下地：無機質高充填フォーム t=4 仕上材・下地材、残置	下地調整の上遮熱塗装	①
外壁		窯業系サイディングボード t=15 (金具止工法)	既存塗膜高圧洗浄 (30MPa程度) 下地調整の上NAD塗装 ローラー仕上	②
庇	S造	屋根 カラー鉄板 t=0.5 折板葺 H=88 鼻隠し：カラー鉄板 t=0.5 H=300	清掃	③
建具		アルミサッシ	ガラス・ガラス：内外清掃 鋼製建具廻り：シーリング材打ち替えMS-2 ※スチール製建具のガラス廻りを含む	④
樋	縦樋	[樋B] 硬質塩ビ管φ75 VU 支持金物φ1,200内外	硬質塩ビ管φ75 (カラー) 新設 既存支持金物：塗膜除去・下地処理・錆止め塗料塗・耐候性塗料 (DP) 塗り	⑤
その他	水切り	カラー鉄板加工	高圧洗浄(30MPa程度) 下地処理 錆止め塗料塗り 耐候性塗料 (DP) 塗り	⑥
	シーリング	打継目地・伸縮目地・耐震リット等	シーリング材打ち替え MS-2 (10×20) PU-2 (10×10)	
	欠損・腐朽部	各所各仕様	外壁欠損部補修・外壁クラック補修：補修用パテ補修	





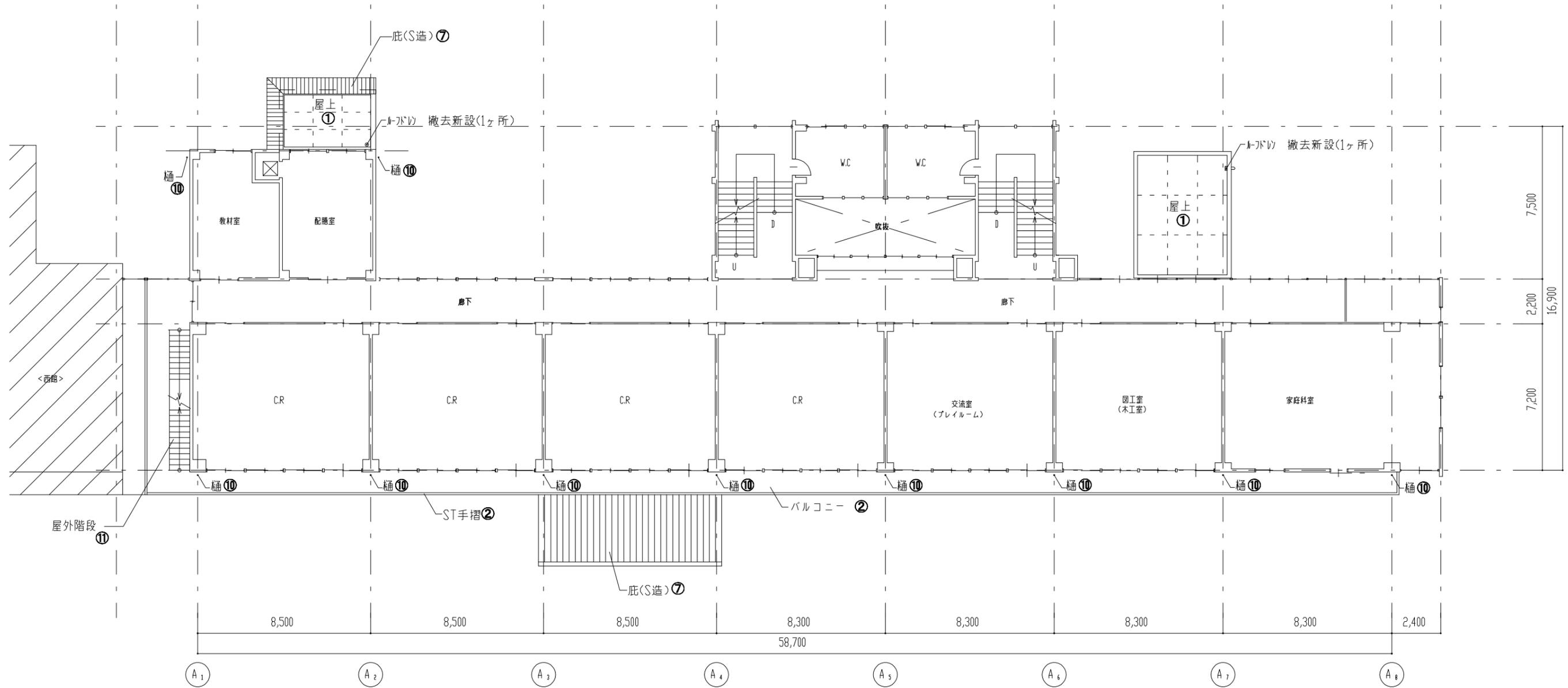
1階平面図 1/200

海老名市
Ebina City



図面名称 本館1階平面図
縮尺 A1:1/200 A3:1/400
件名 海老名市立有鹿小学校校舎外装改修工事

図面番号
A-08



2階平面図 1/200

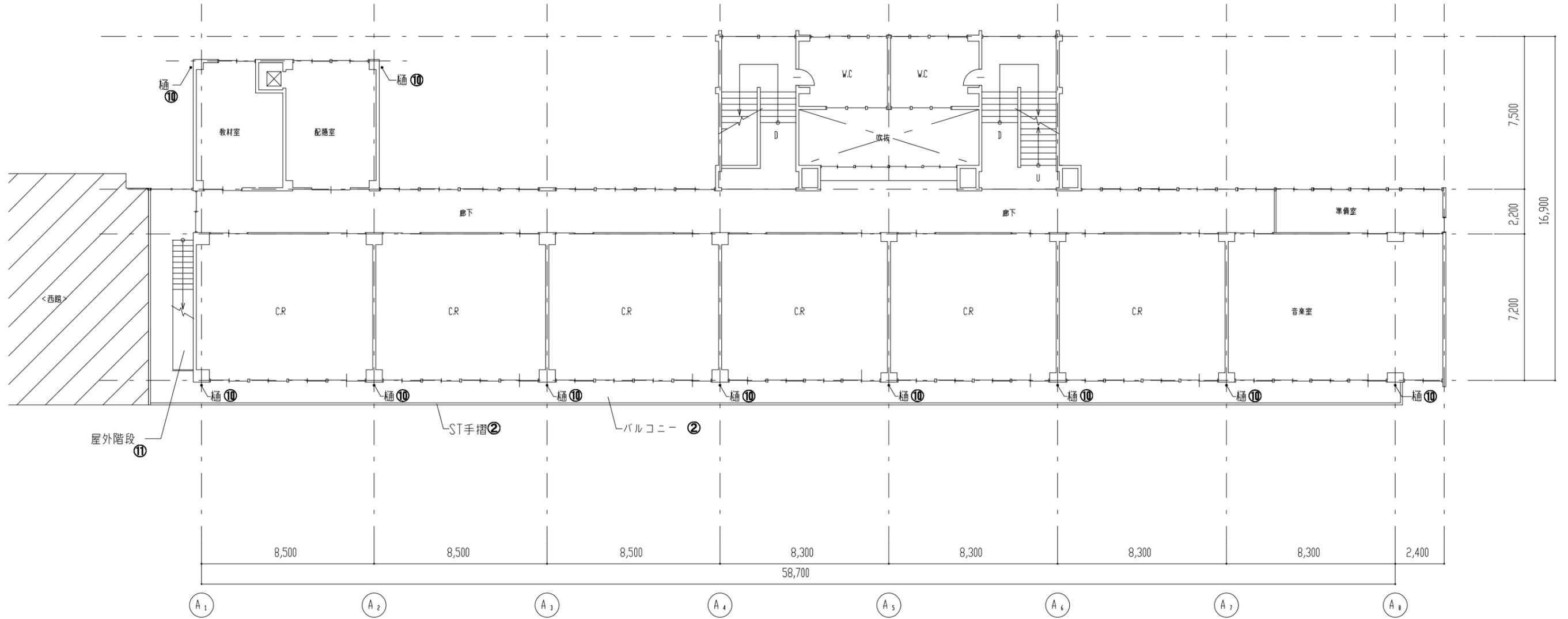


海老名市
Ebina City



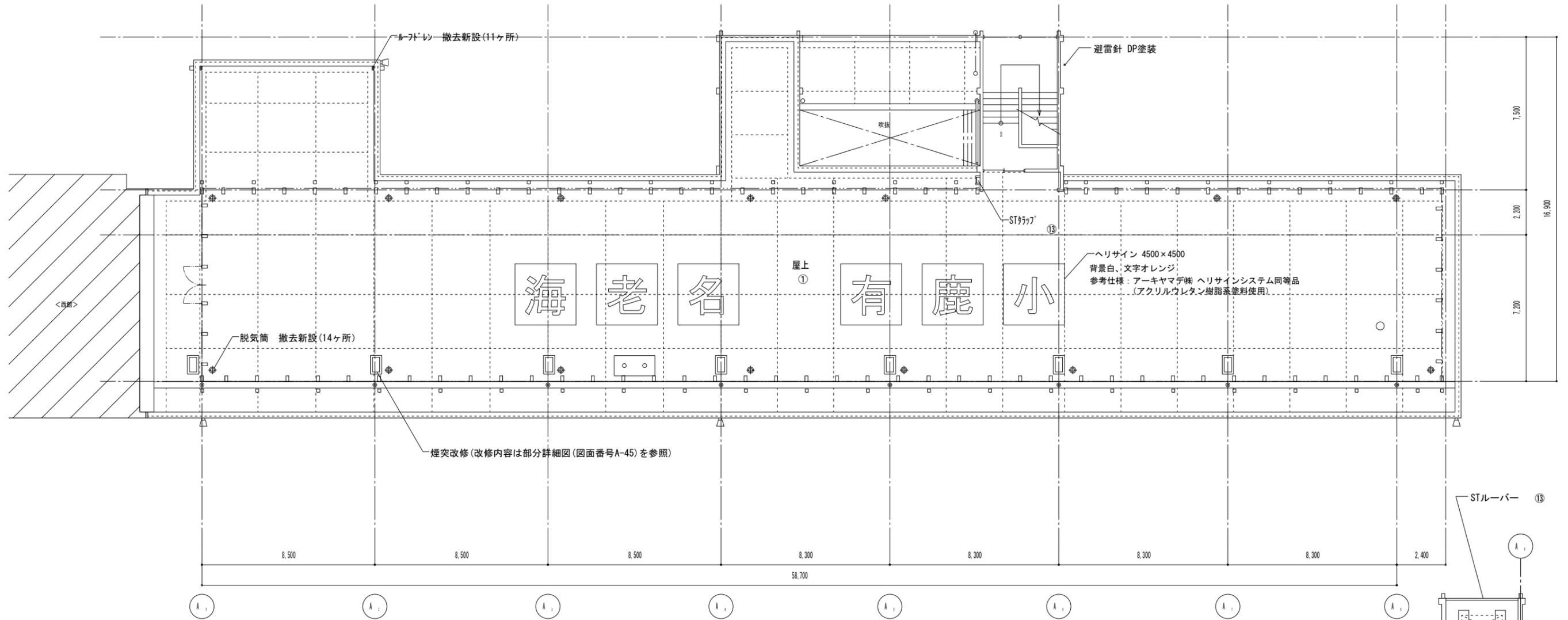
図面名称 本館2階平面図
 縮尺 A1:1/200 A3:1/400
 件名 海老名市立有鹿小学校校舎外装改修工事

図面番号
A-09

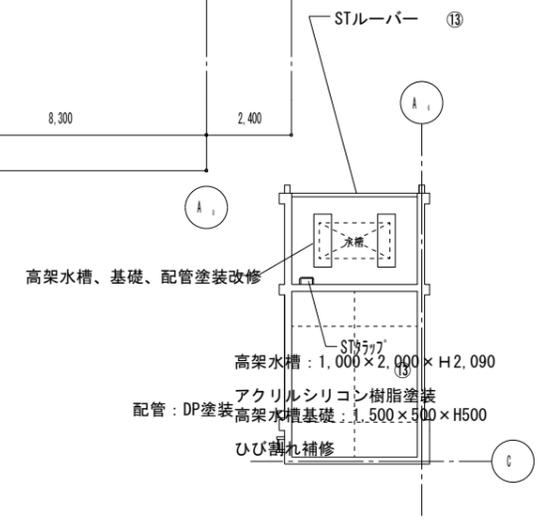


3階平面図 1/200

図面名称	本館3階平面図	図面番号	A-10
縮尺	A1:1/200 A3:1/400		
件名	海老名市立有鹿小学校校舎外装改修工事		



R階平面図 1/200

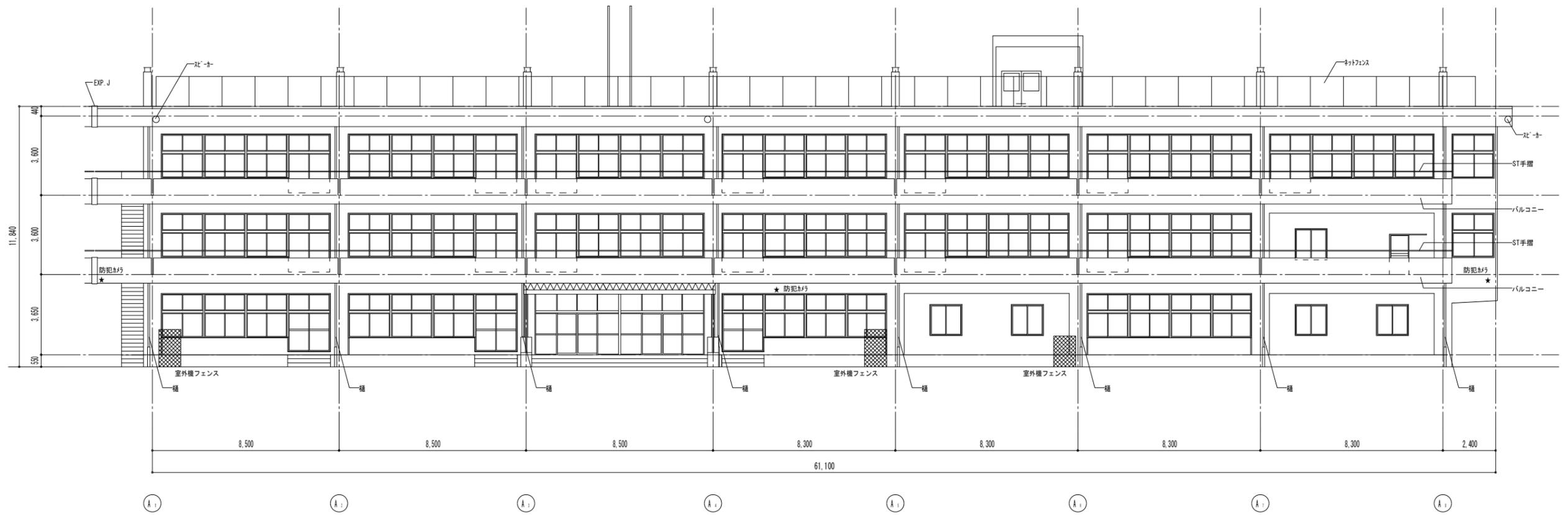


PH階平面図 1/200

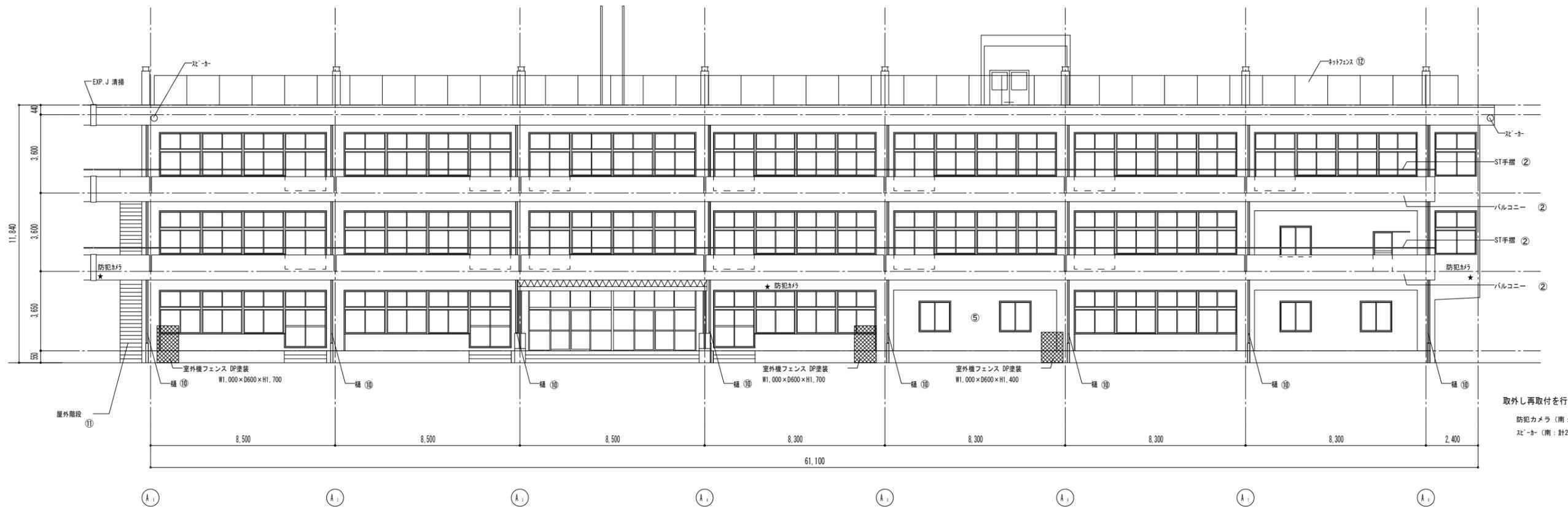
海老名市
Ebinama City



図面名称	本館R階平面図	図面番号
縮尺	A1:1/200 A3:1/400	A-11
件名	海老名市立有鹿小学校校舎外装改修工事	

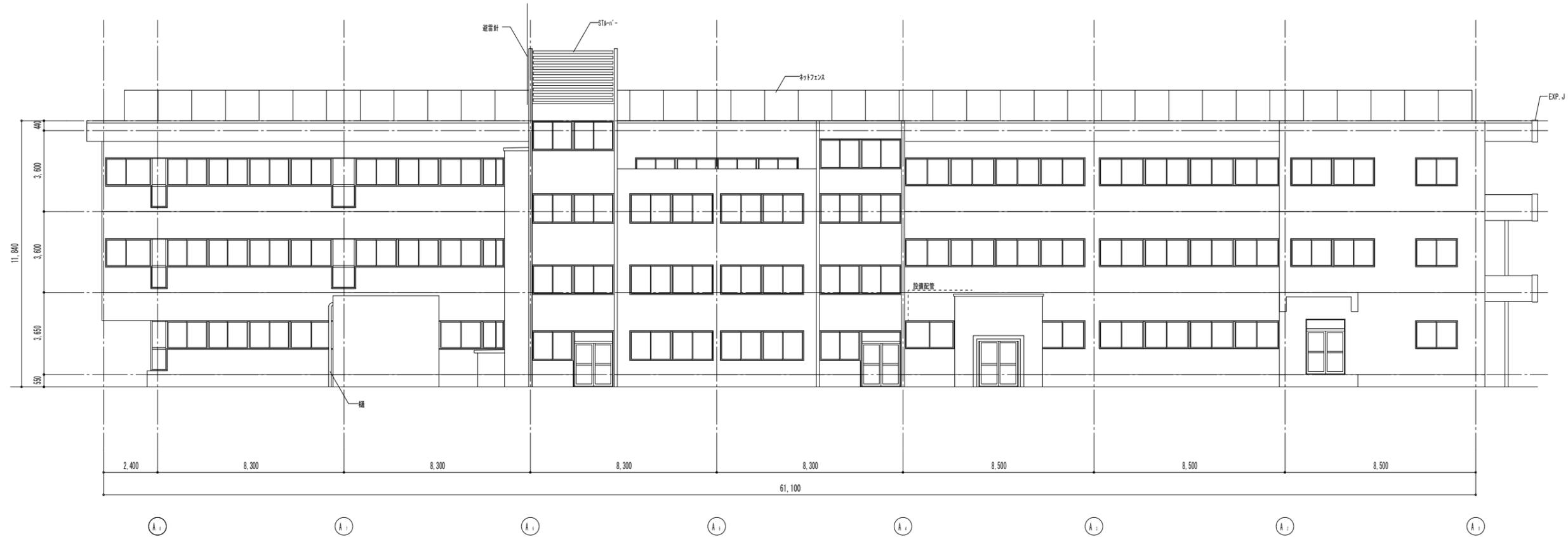


【改修前】本館 南側立面図 S=1/200

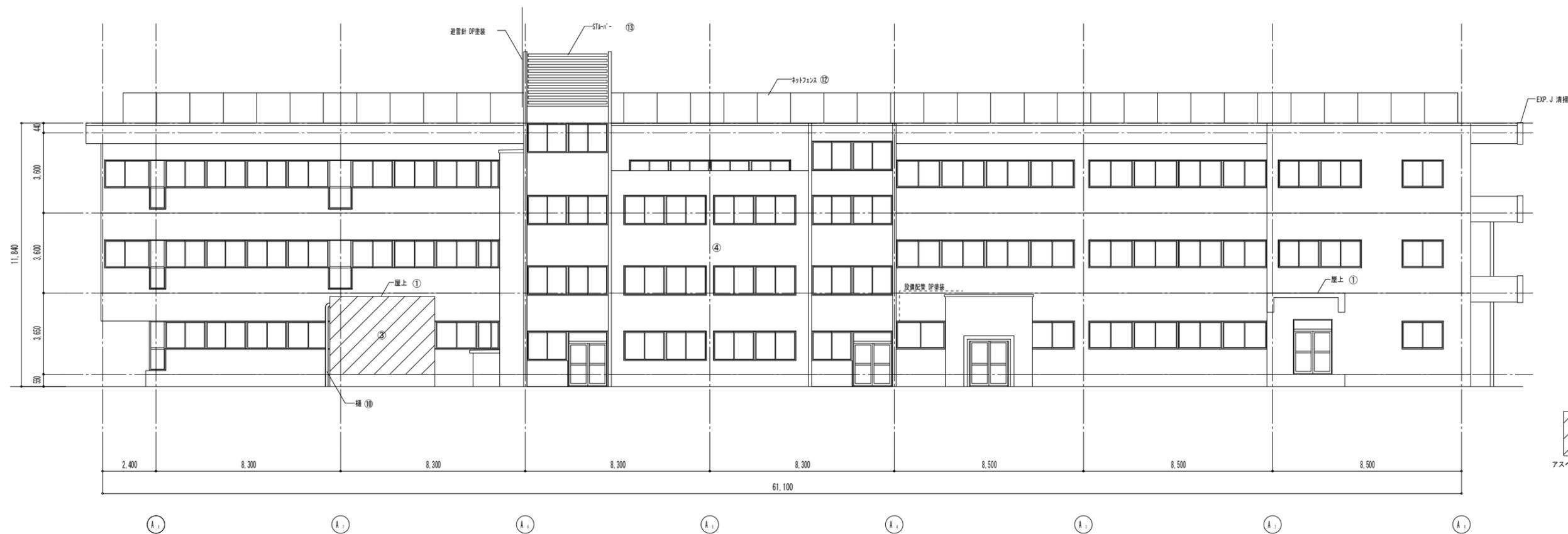


【改修前】本館 南側立面図 S=1/200



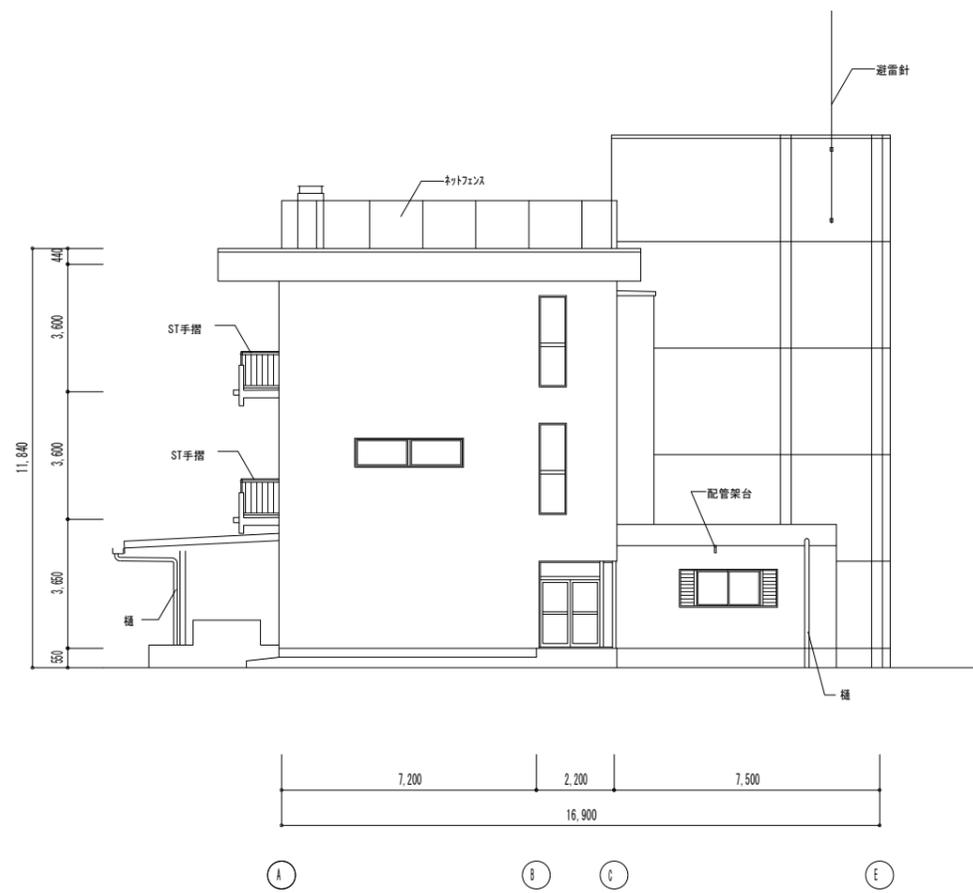


【改修前】本館 北側立面図 S=1/200

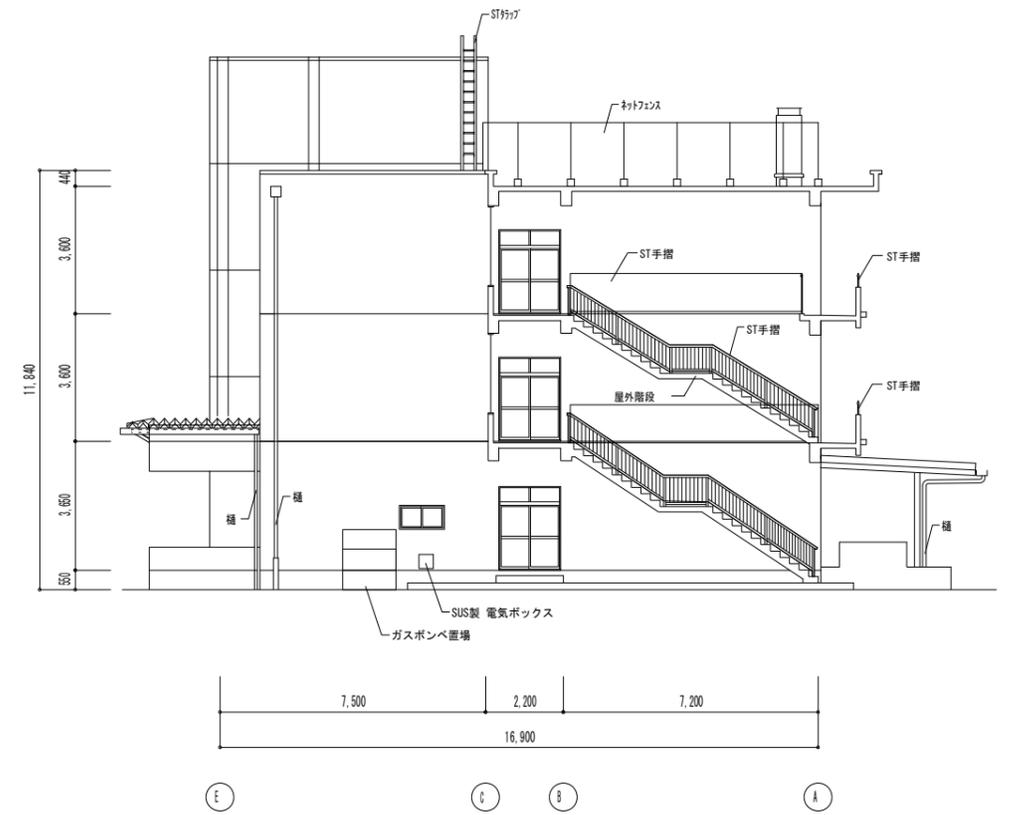


【改修前】本館 北側立面図 S=1/200

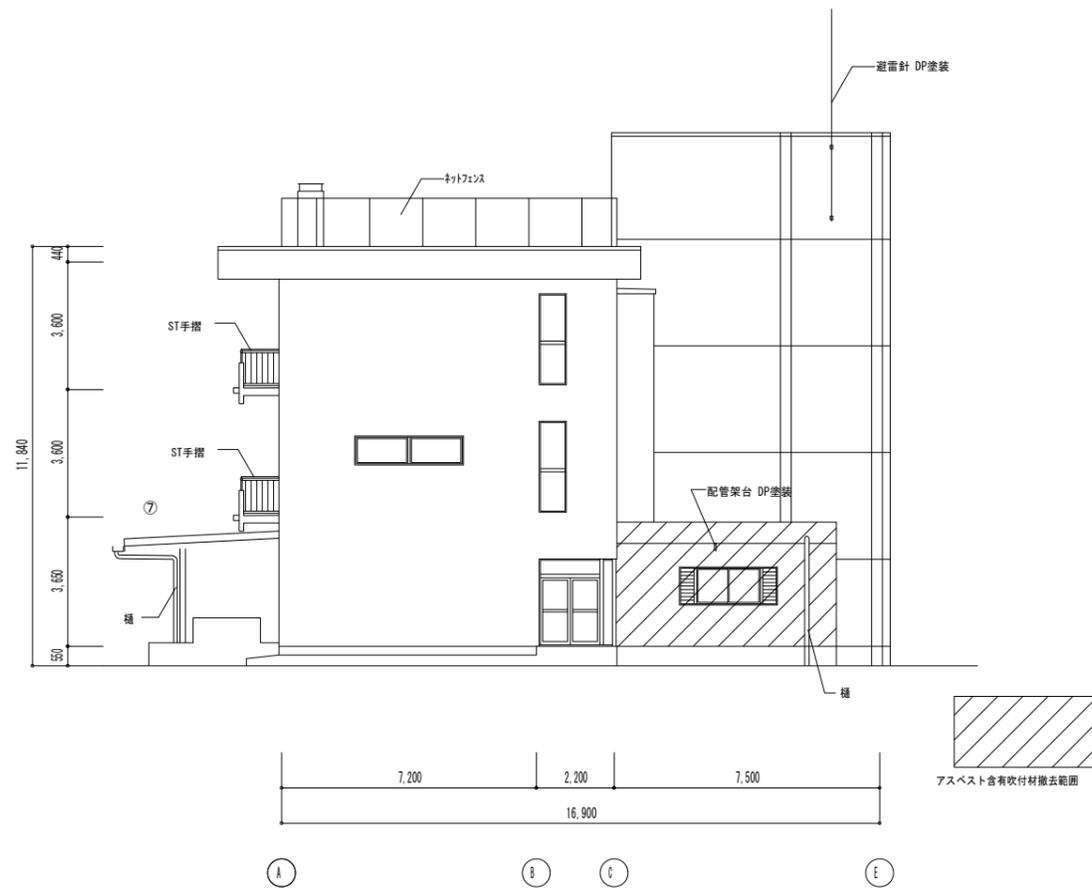




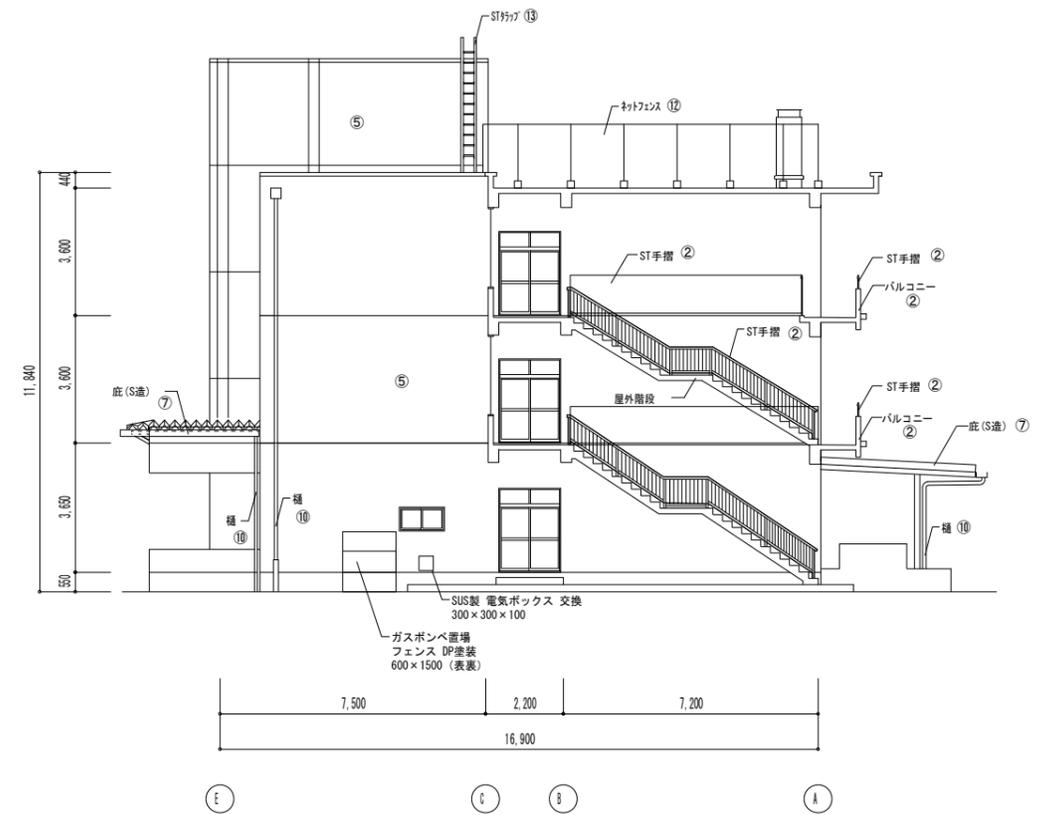
【改修前】本館 東側立面図 S=1/200



【改修前】本館 西側立面図 S=1/200

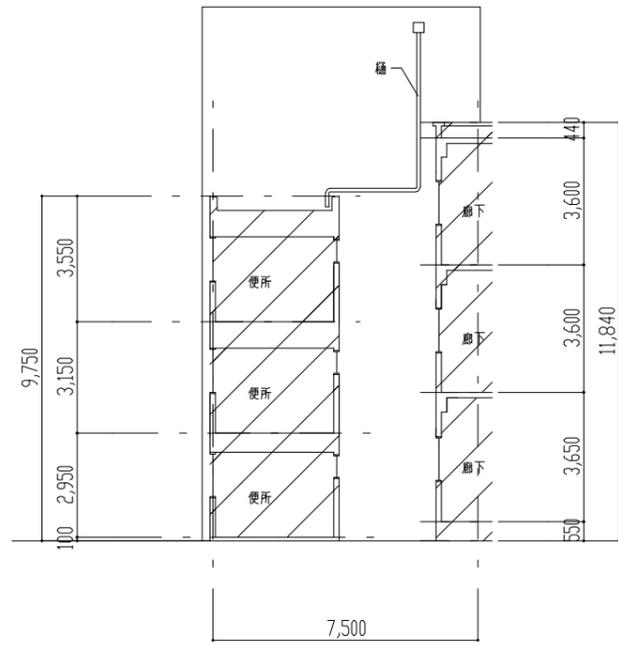
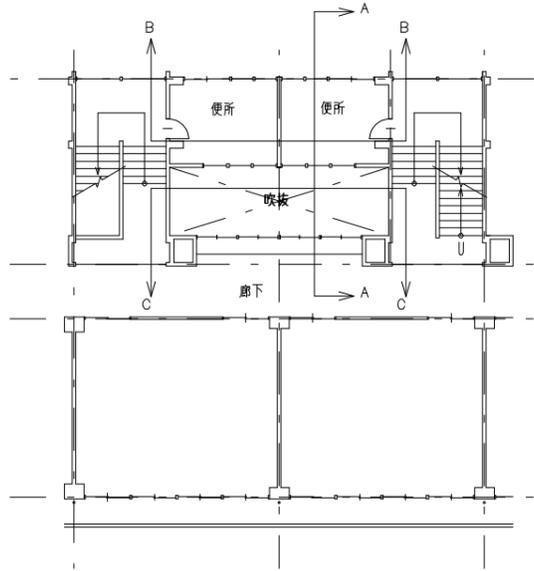


【改修後】本館 東側立面図 S=1/200

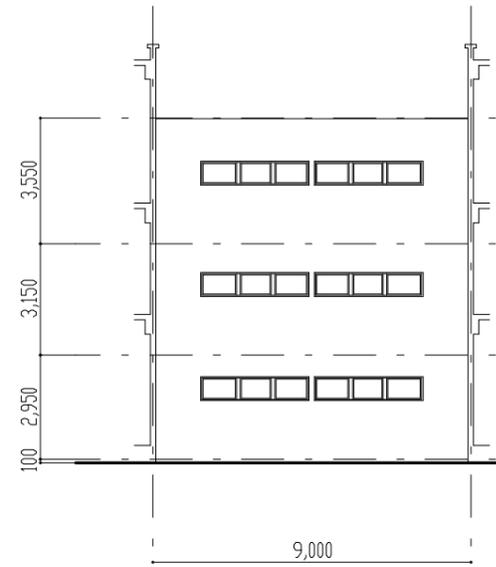


【改修後】本館 西側立面図 S=1/200

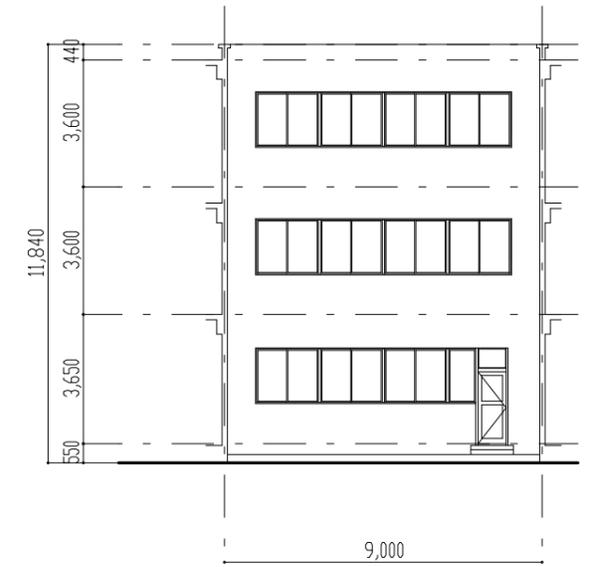




A - A 断面図 1/200

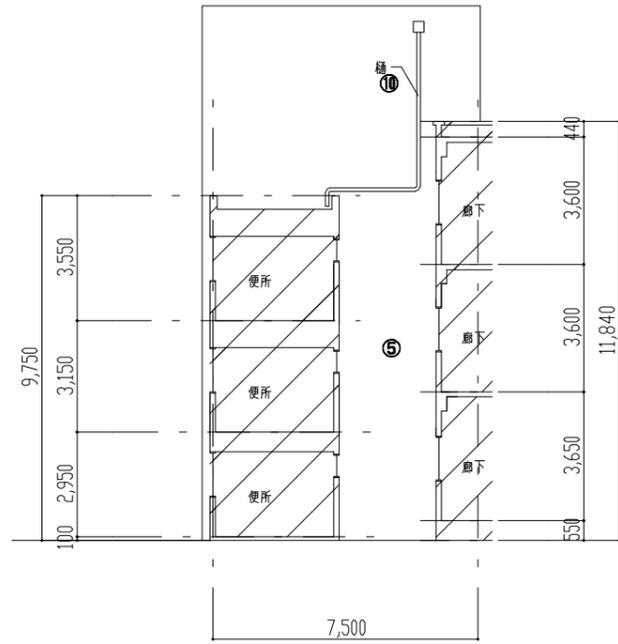
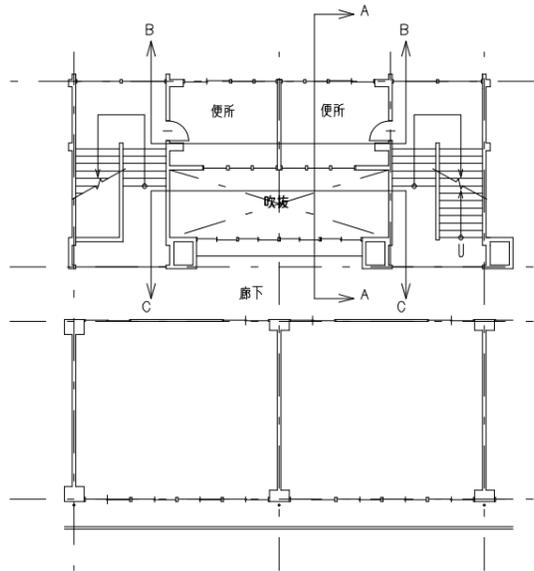


B 矢视图 1/200

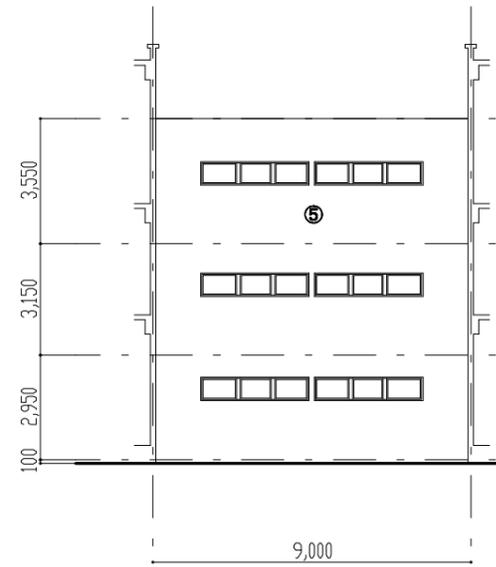


C 矢视图 1/200

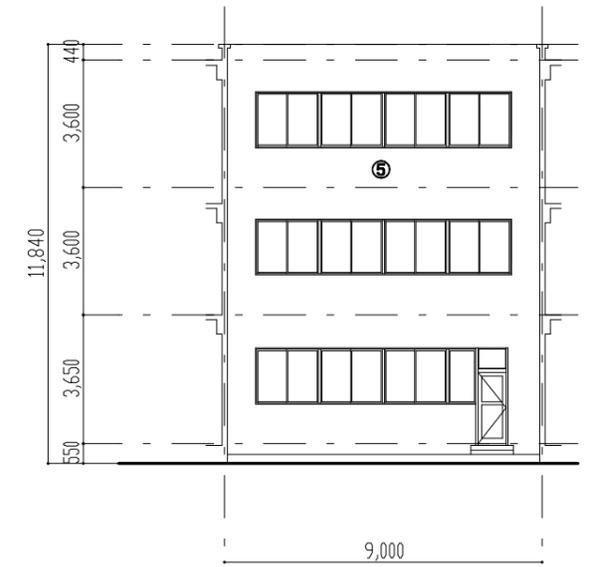
【改修前】本館 中庭断面図・矢视图 S=1/200



A - A 断面図 1/200



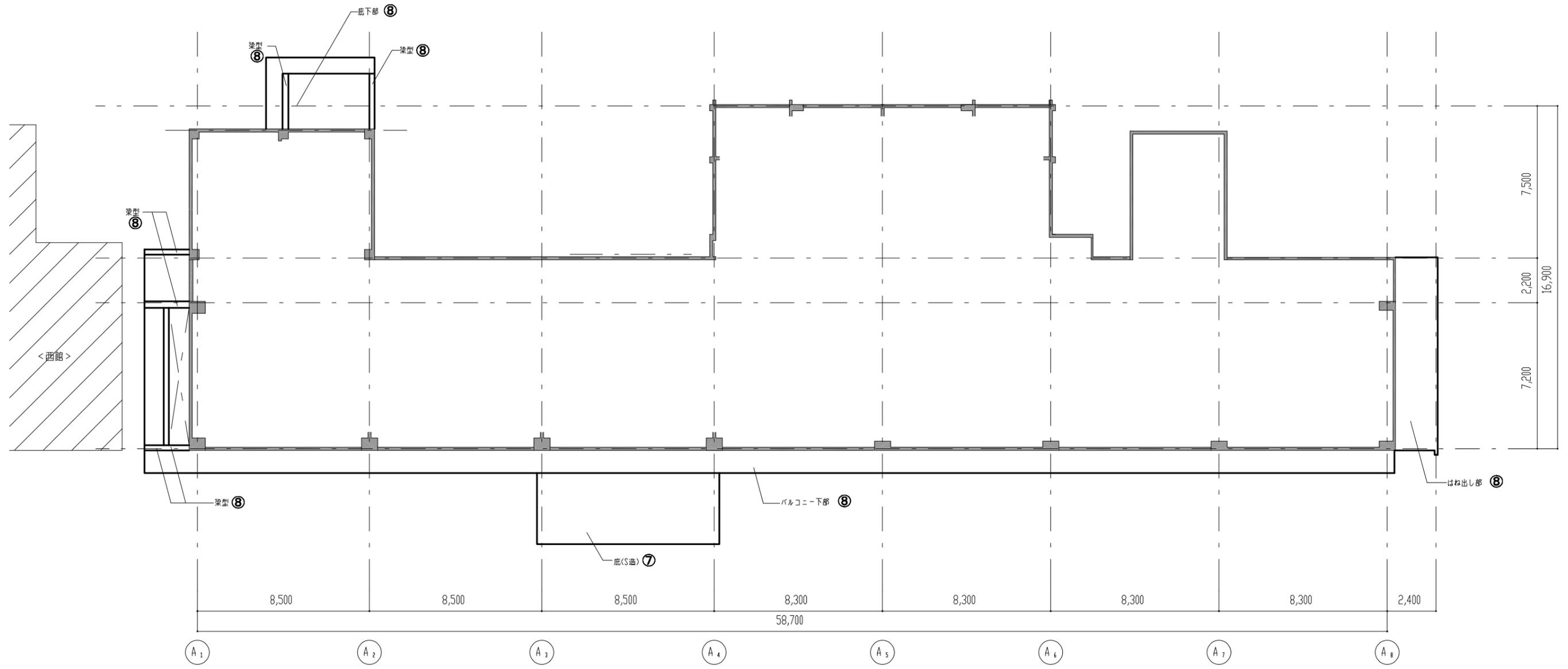
B 矢视图 1/200



C 矢视图 1/200

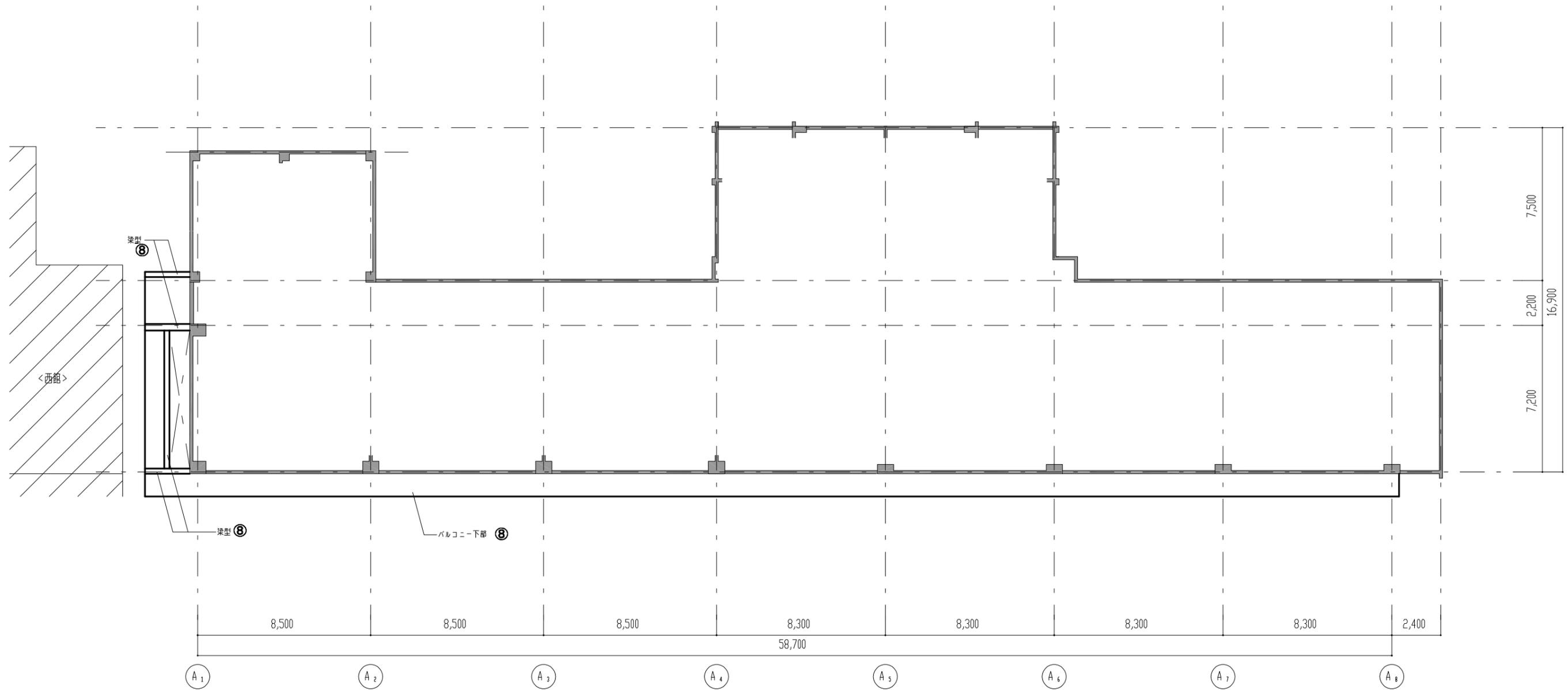
【改修後】本館 中庭断面図・矢视图 S=1/200





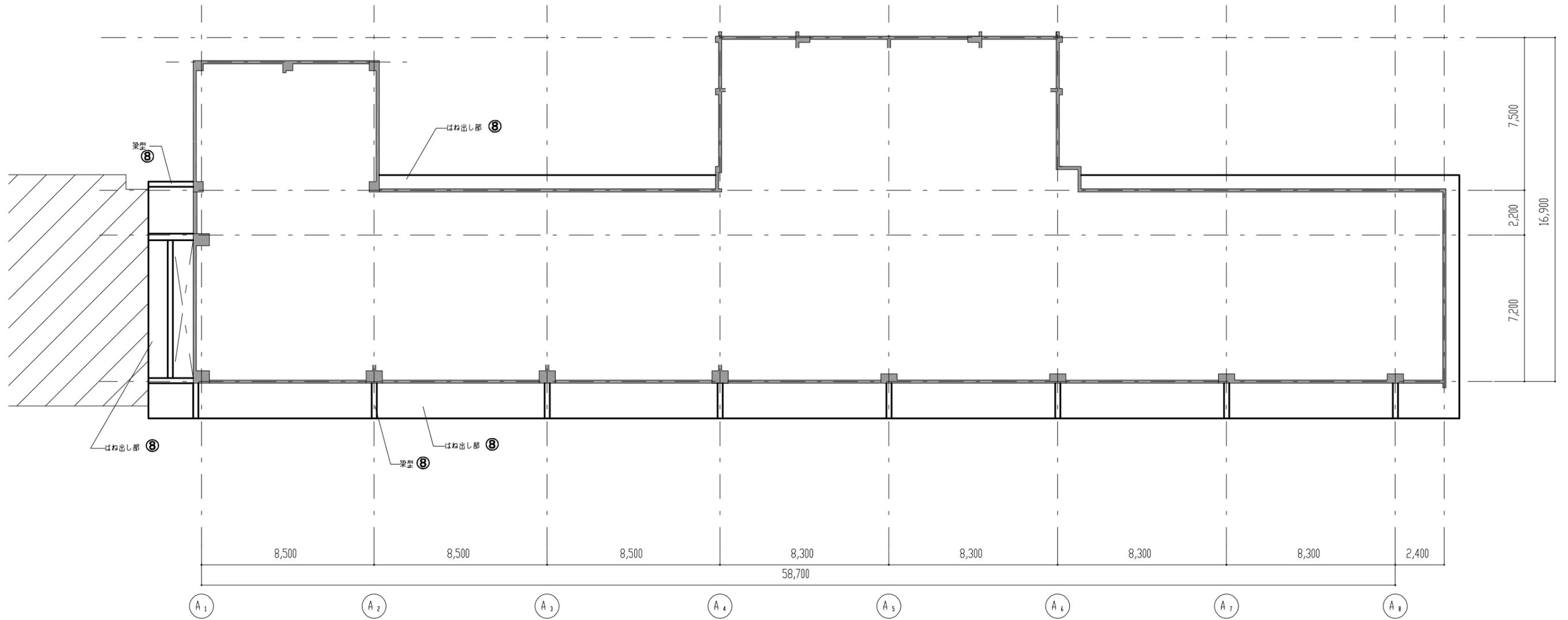
1階軒裏伏図 1/200





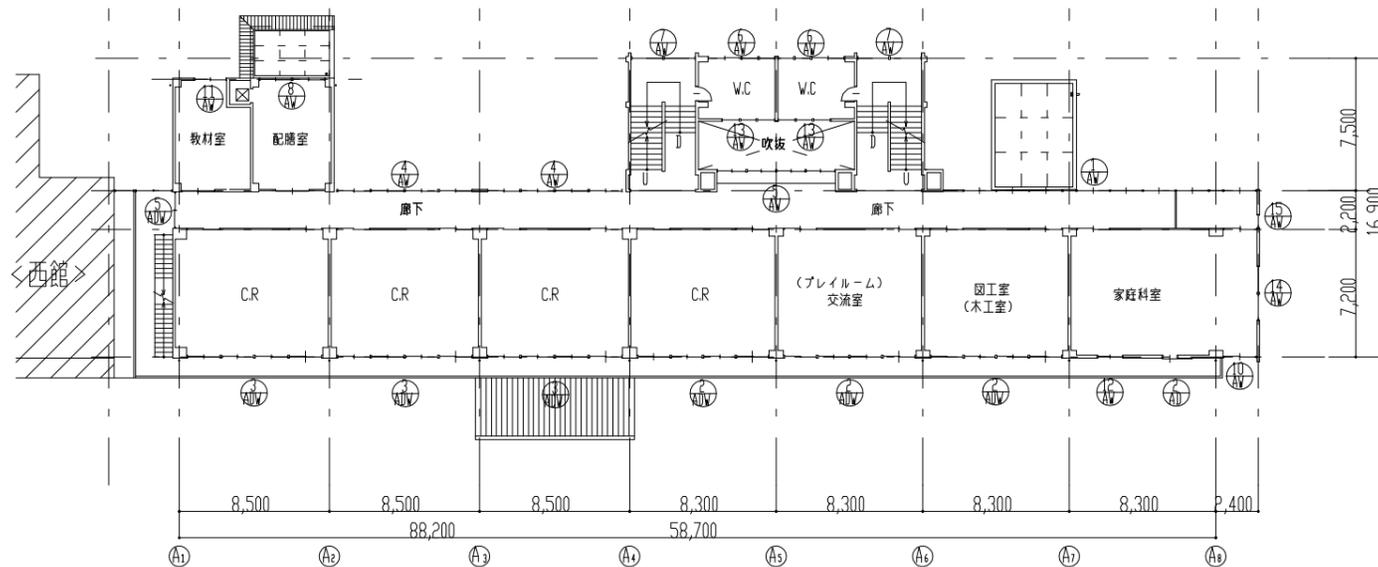
2階軒裏伏図 1/200



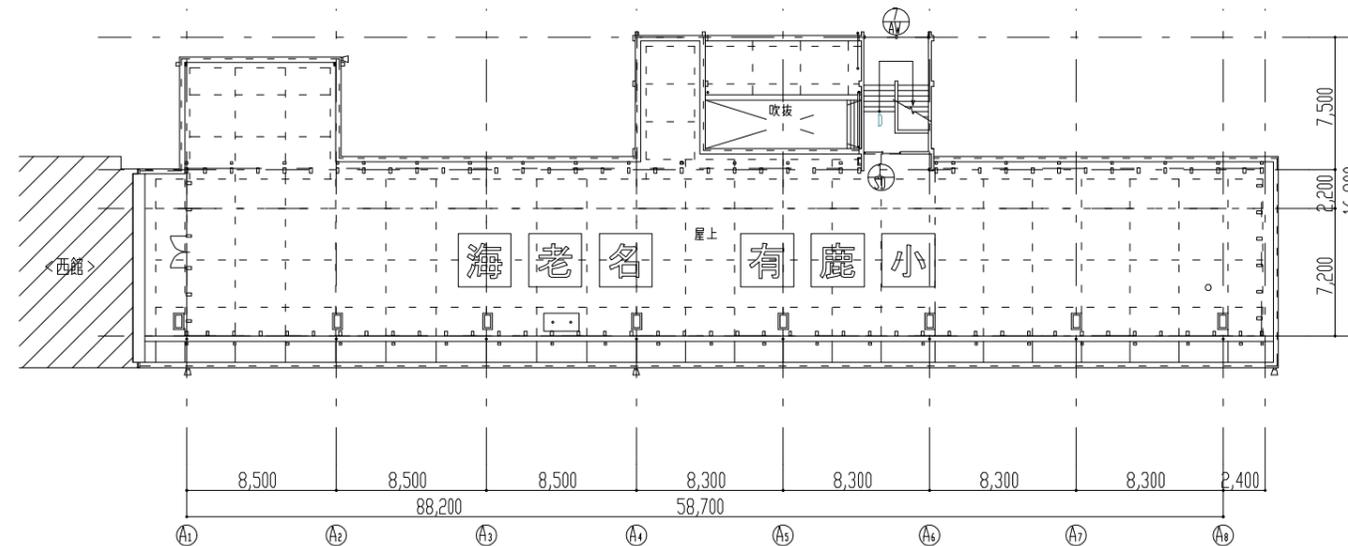


3階軒裏伏図 1/200

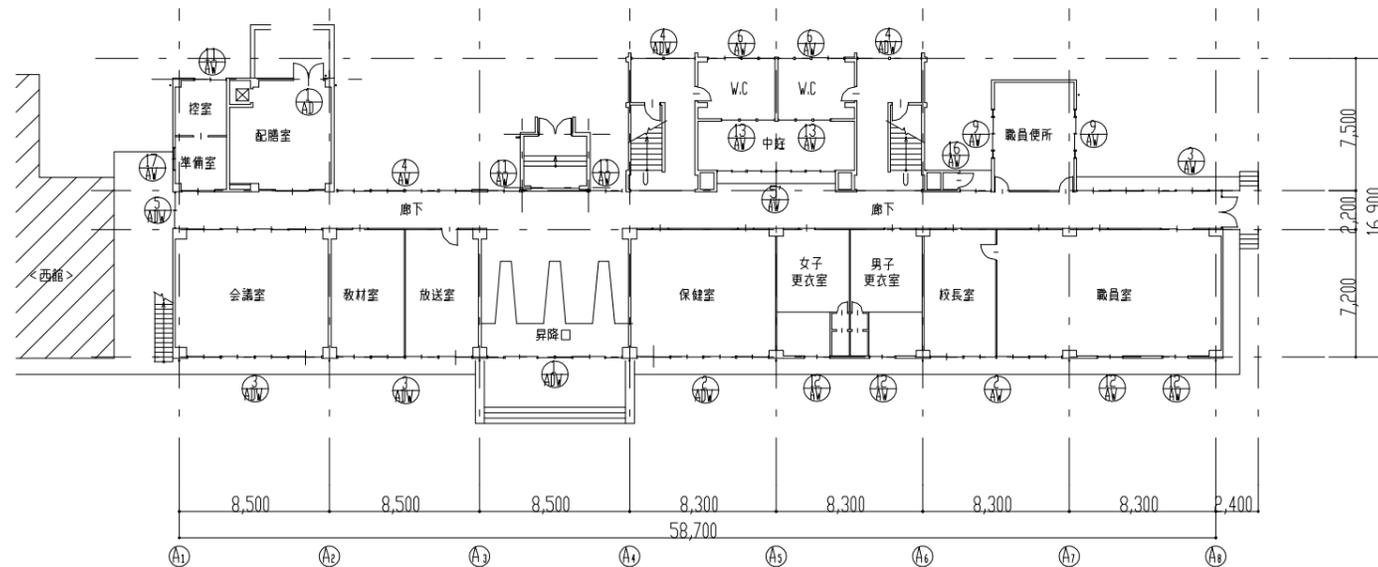




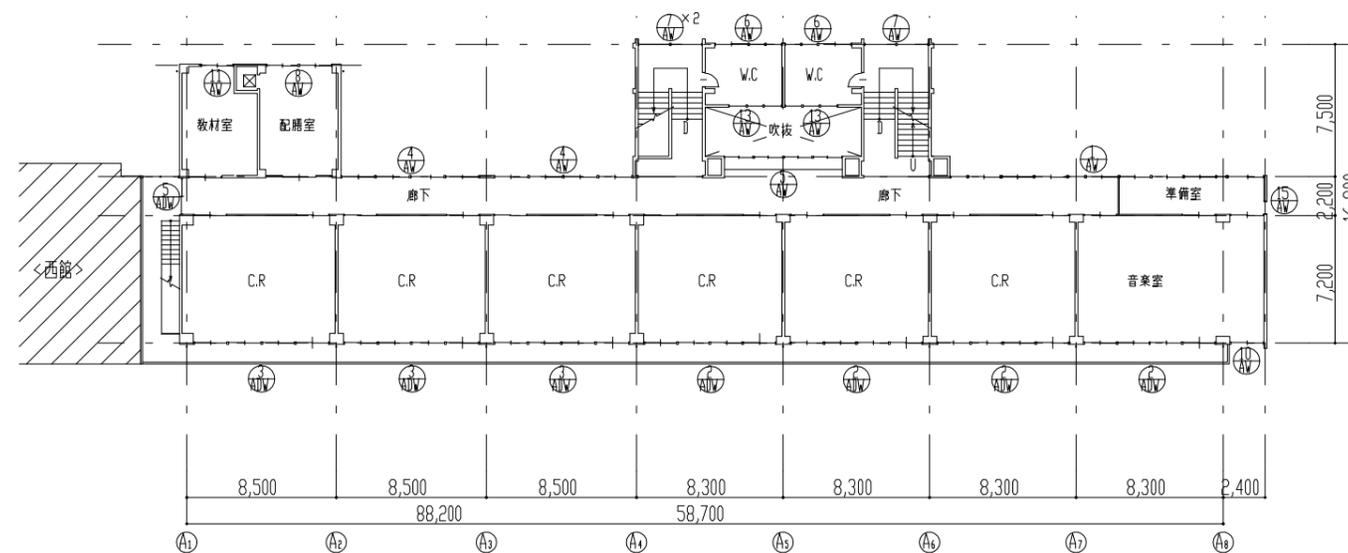
2階建具+アラ S=1/400



3階建具+アラ S=1/400



1階建具+アラ S=1/400



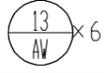
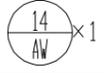
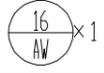
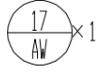
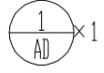
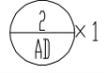
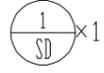
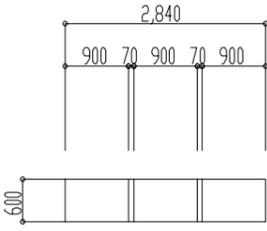
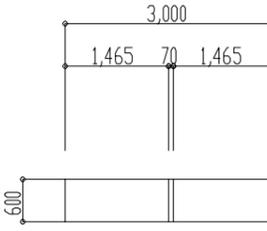
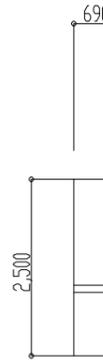
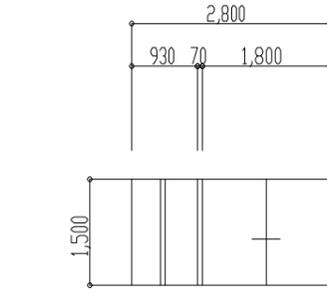
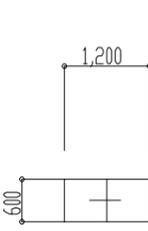
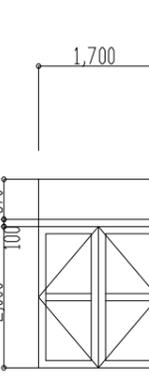
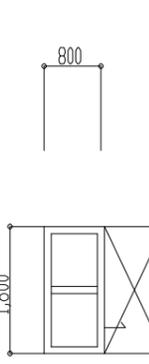
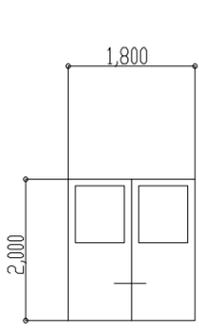
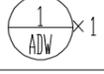
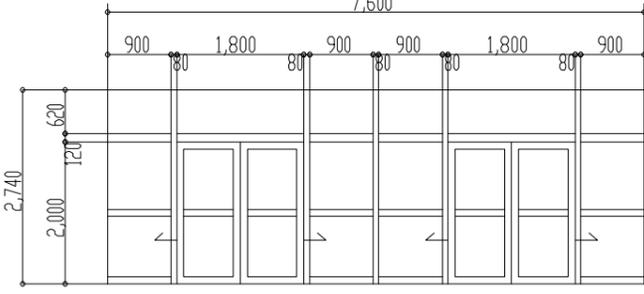
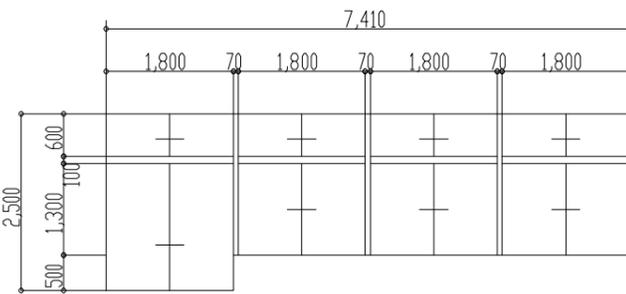
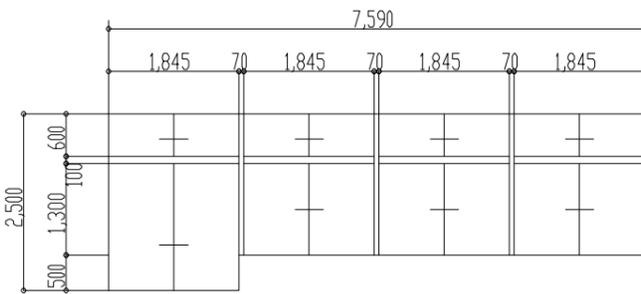
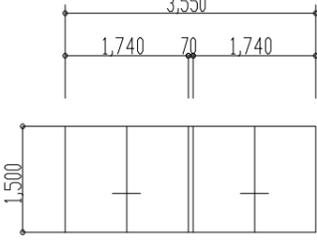
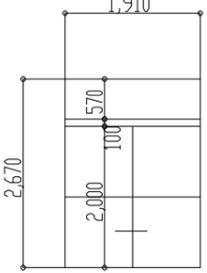
4階建具+アラ S=1/400



符号×数量	① AW ×2				② AW ×1		
姿 図							
符号×数量	③ AW ×1	④ AW ×5	⑤ AW ×2		⑤' AW ×1		
姿 図							
符号×数量	⑥ AW ×6	⑦ AW ×6	⑧ AW ×2	⑨ AW ×2	⑩ AW ×2	⑪ AW ×5	⑫ AW ×5
姿 図							

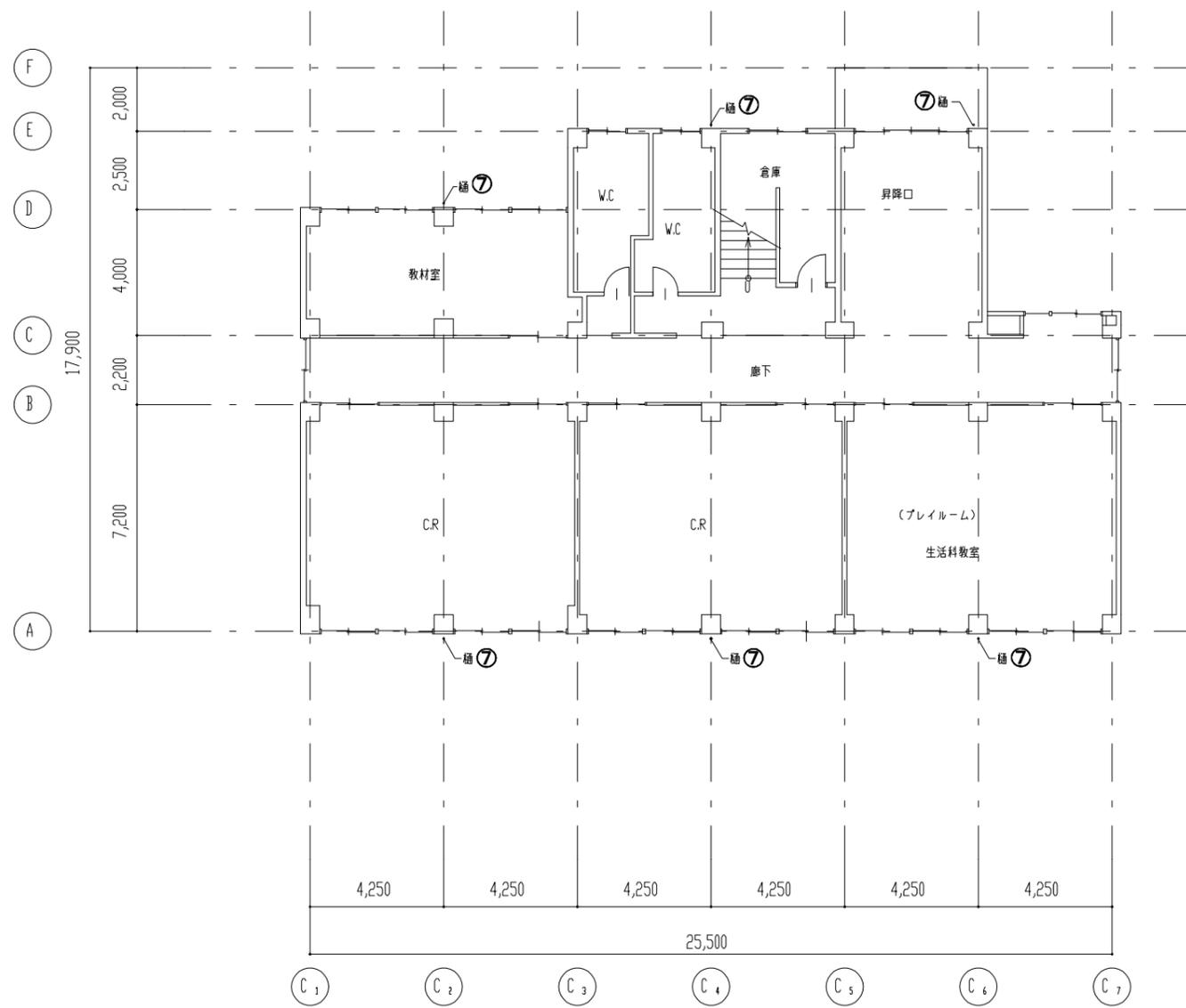
共通：建具廻りシーリング材打ち換え MS-2 (10×20) ガラス・サッシ内外清掃
 共通：建具調整
 共通：ガラスとめシーリング材打ち換え



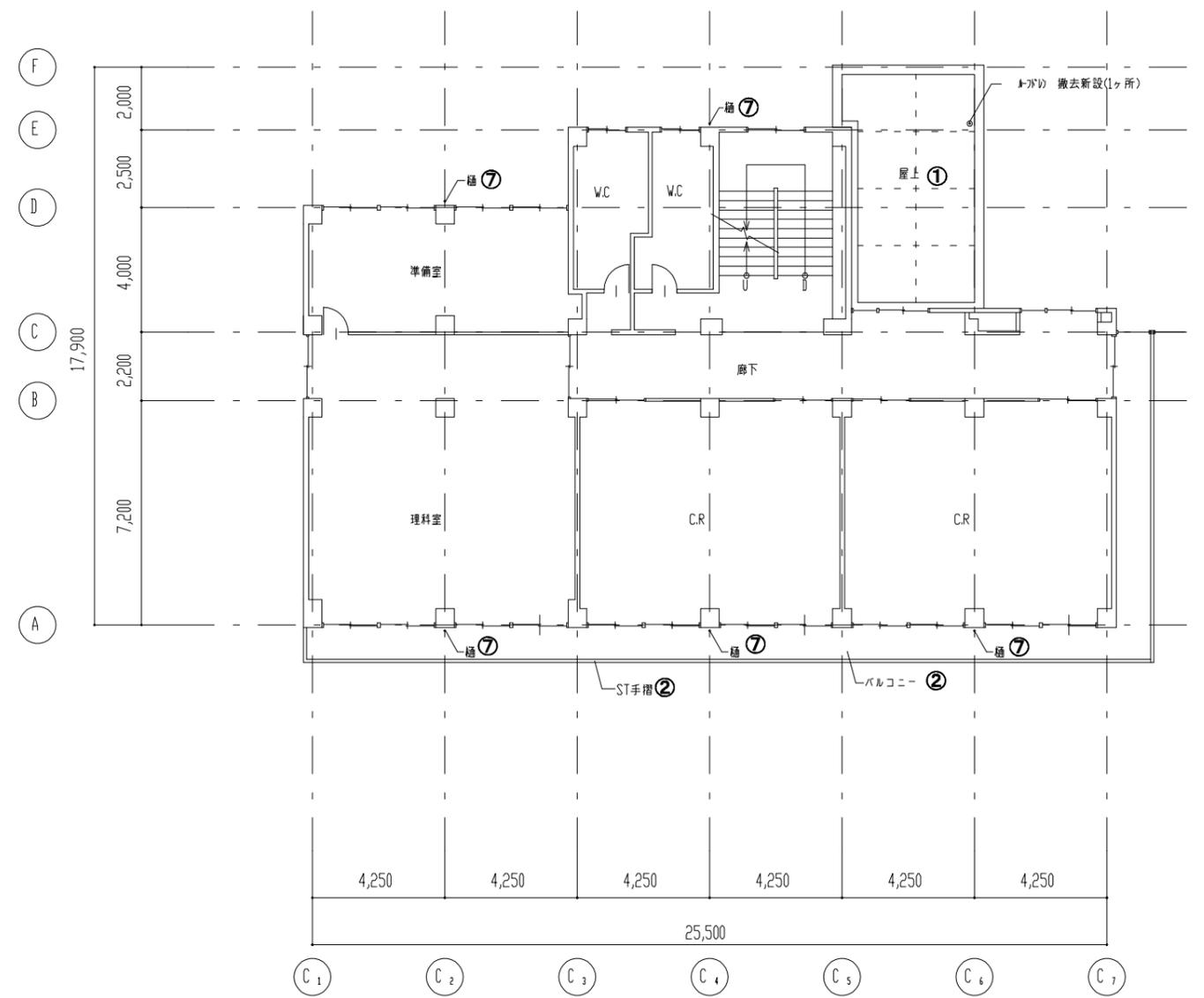
符号×数量								
姿 図								
符号×数量								
姿 図								
符号×数量								
姿 図								

共通：建具廻りシーリング材打ち換え MS-2 (10×20) 内外清掃
 共通：建具調整
 共通：ガラスとめシーリング材打ち換え



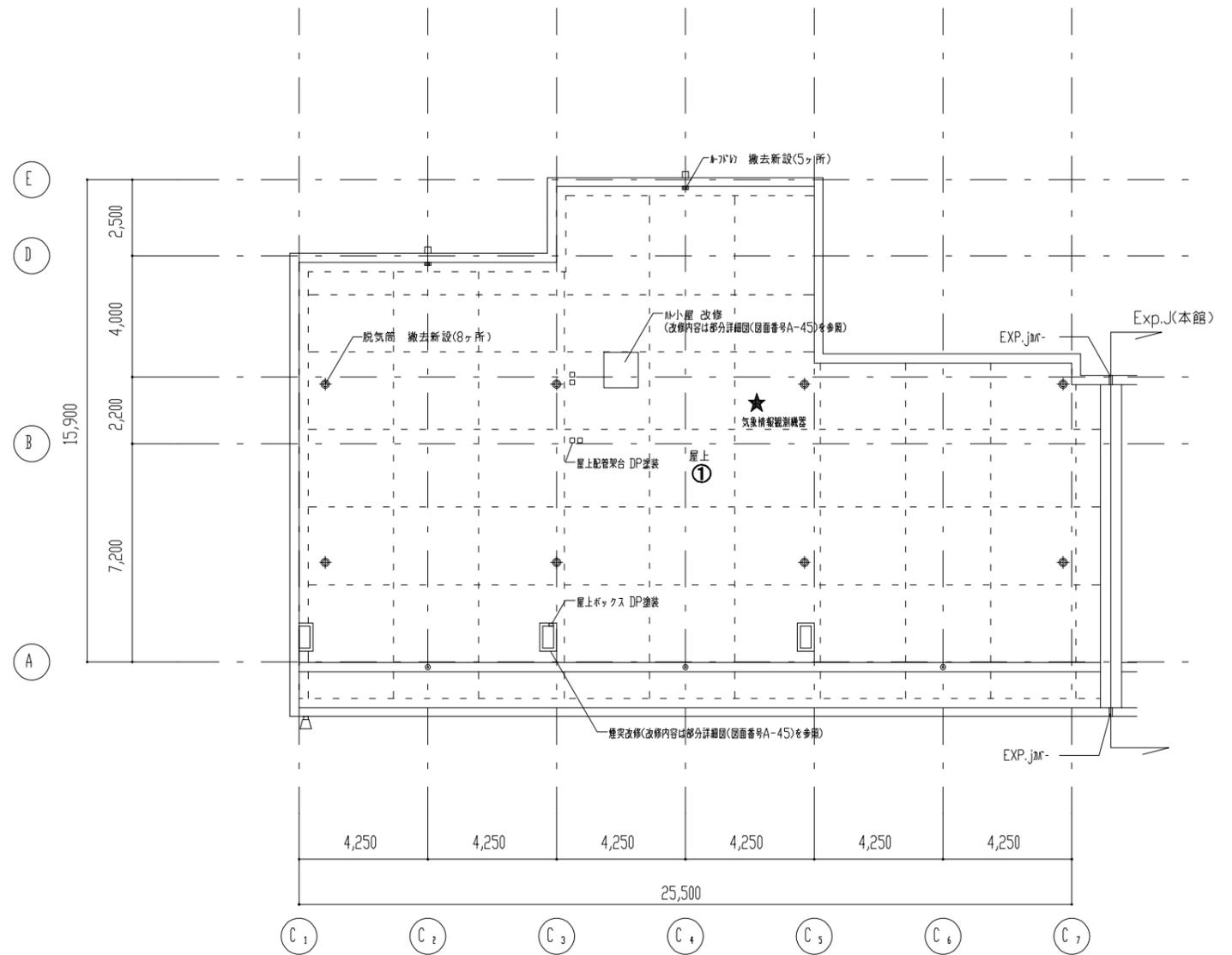
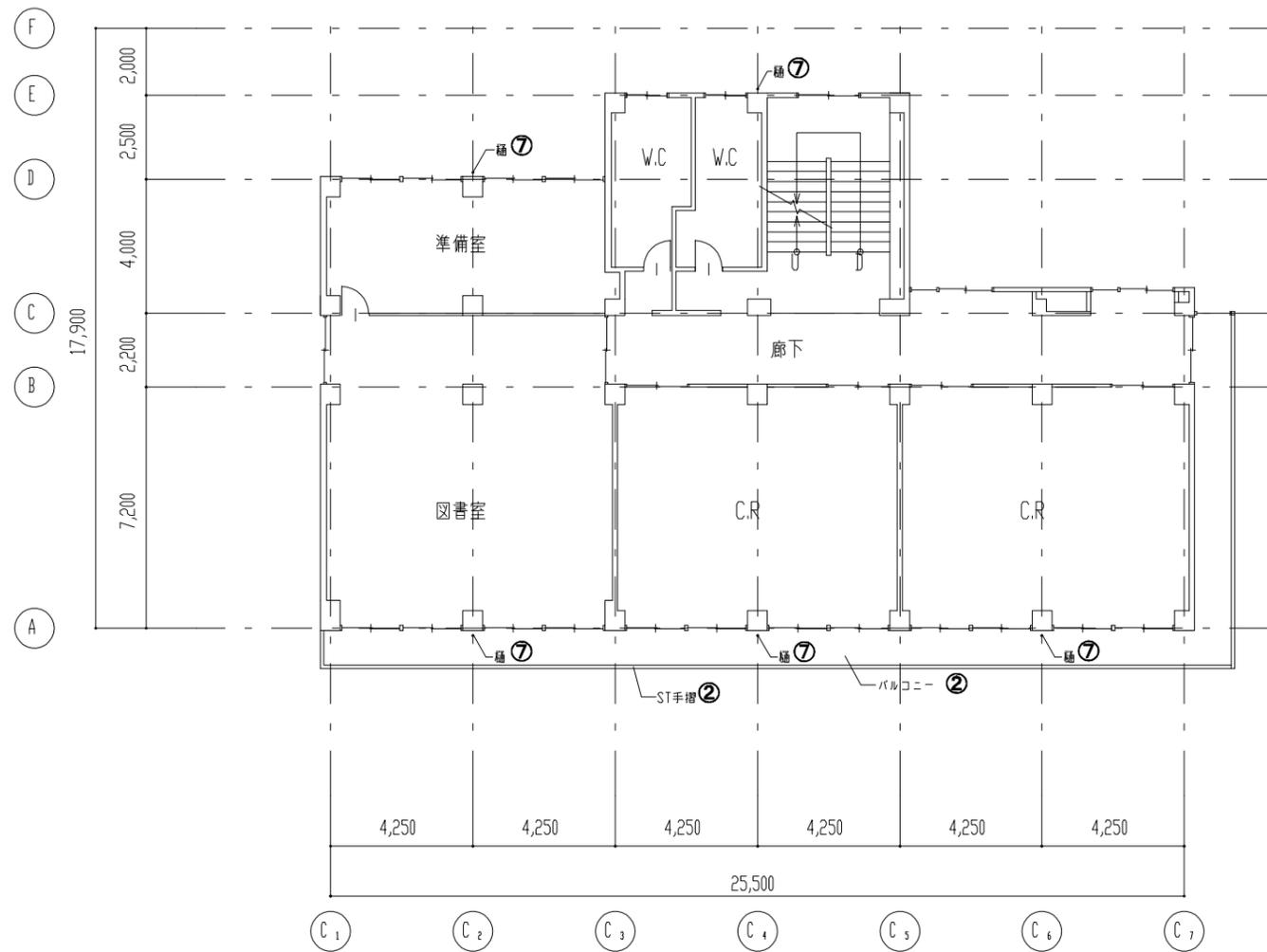


1階平面図 1/200



2階平面図 1/200



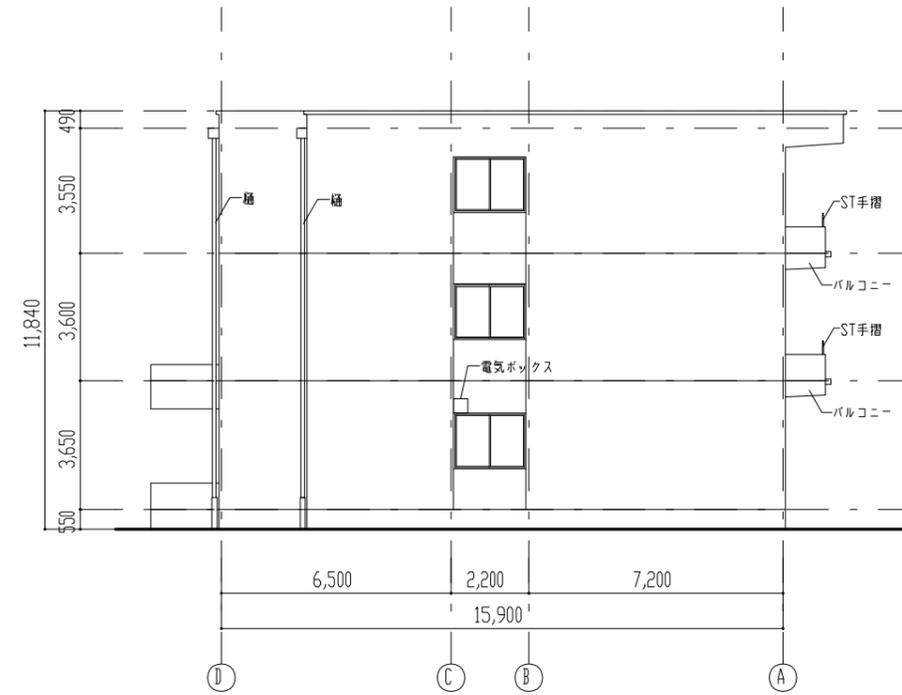


取外し再取付を行う設備機器
気象情報観測機器 (計1ヶ所)





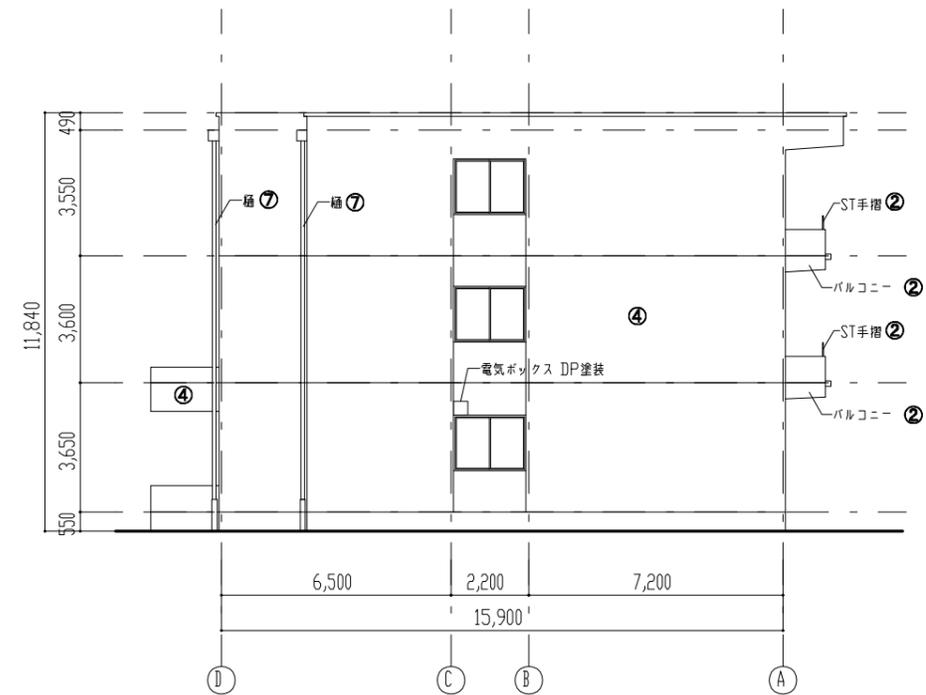
【改修前】西館 北側立面図 S=1/200



【改修前】西館 西側立面図 S=1/200

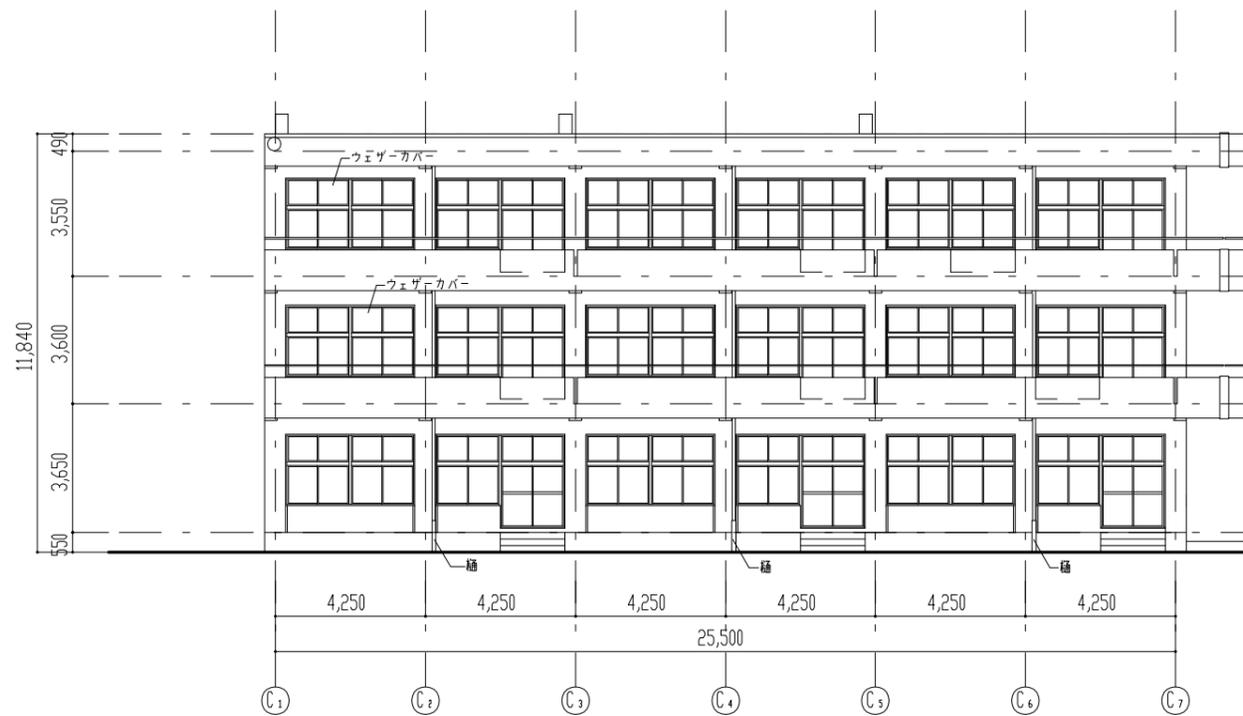


【改修後】西館 北側立面図 S=1/200

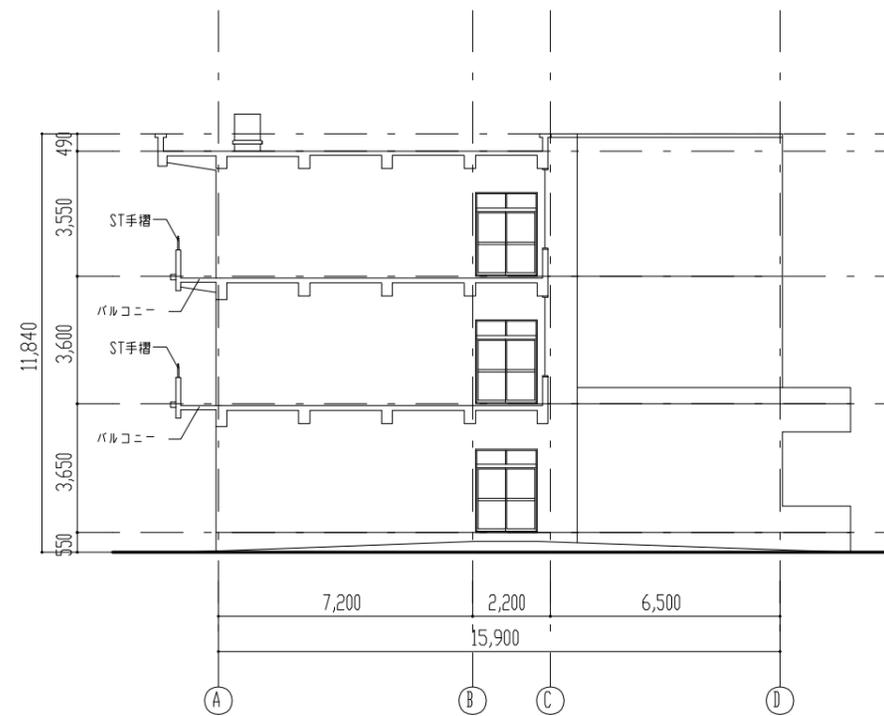


【改修後】西館 西側立面図 S=1/200

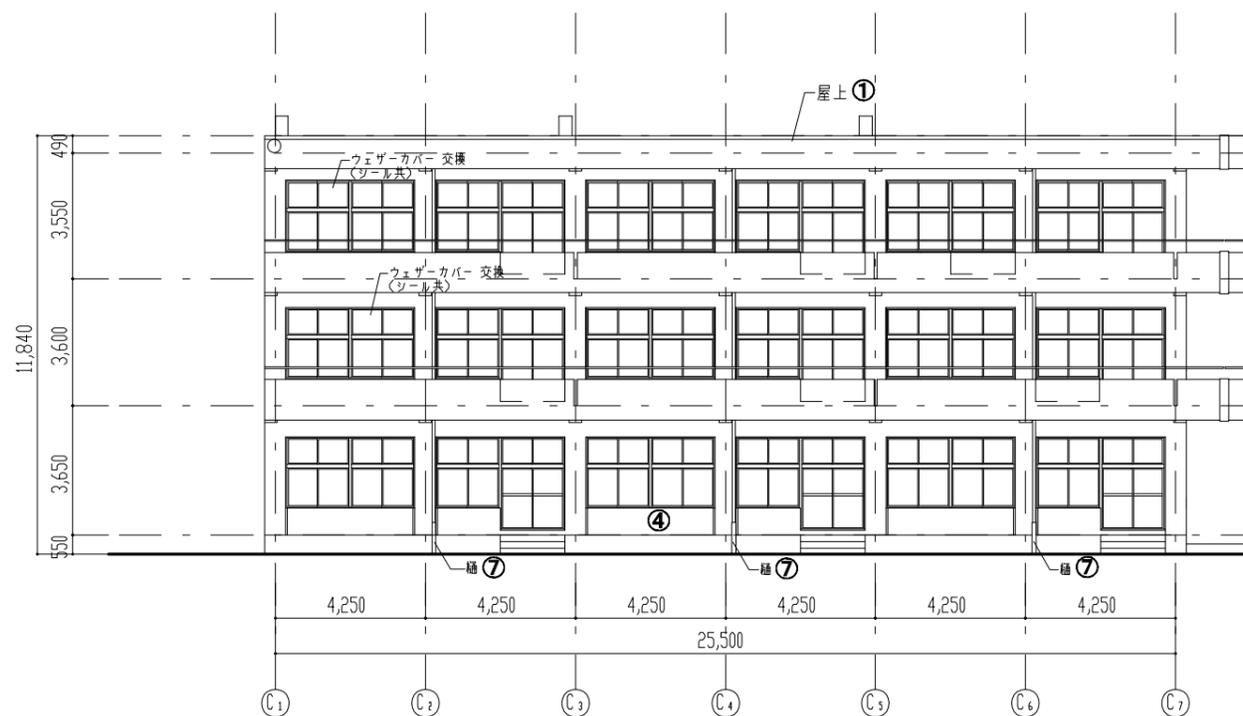




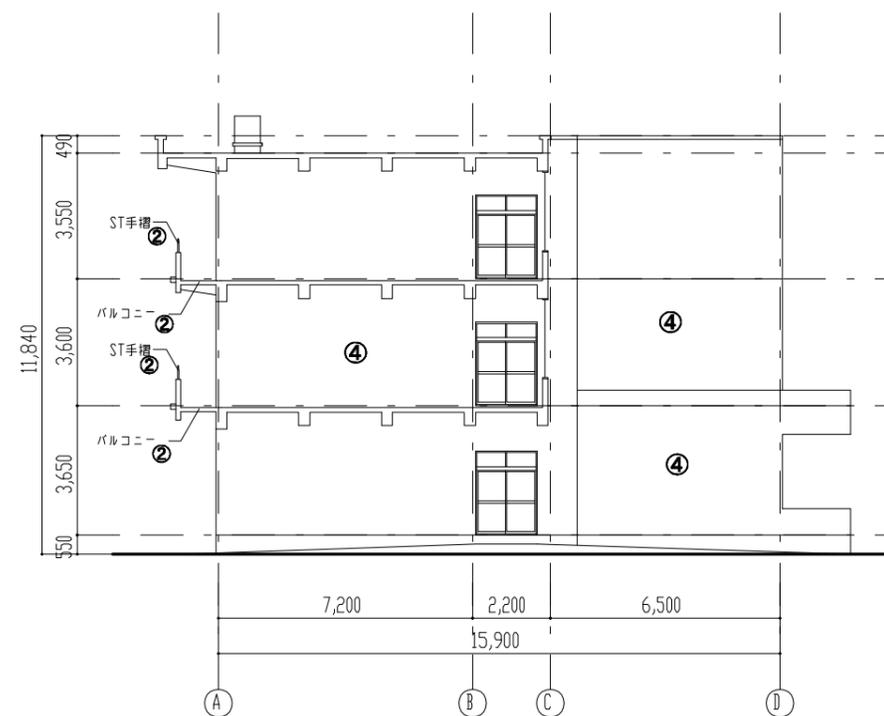
【改修前】西館 南側立面図 S=1/200



【改修前】西館 東側立面図 S=1/200

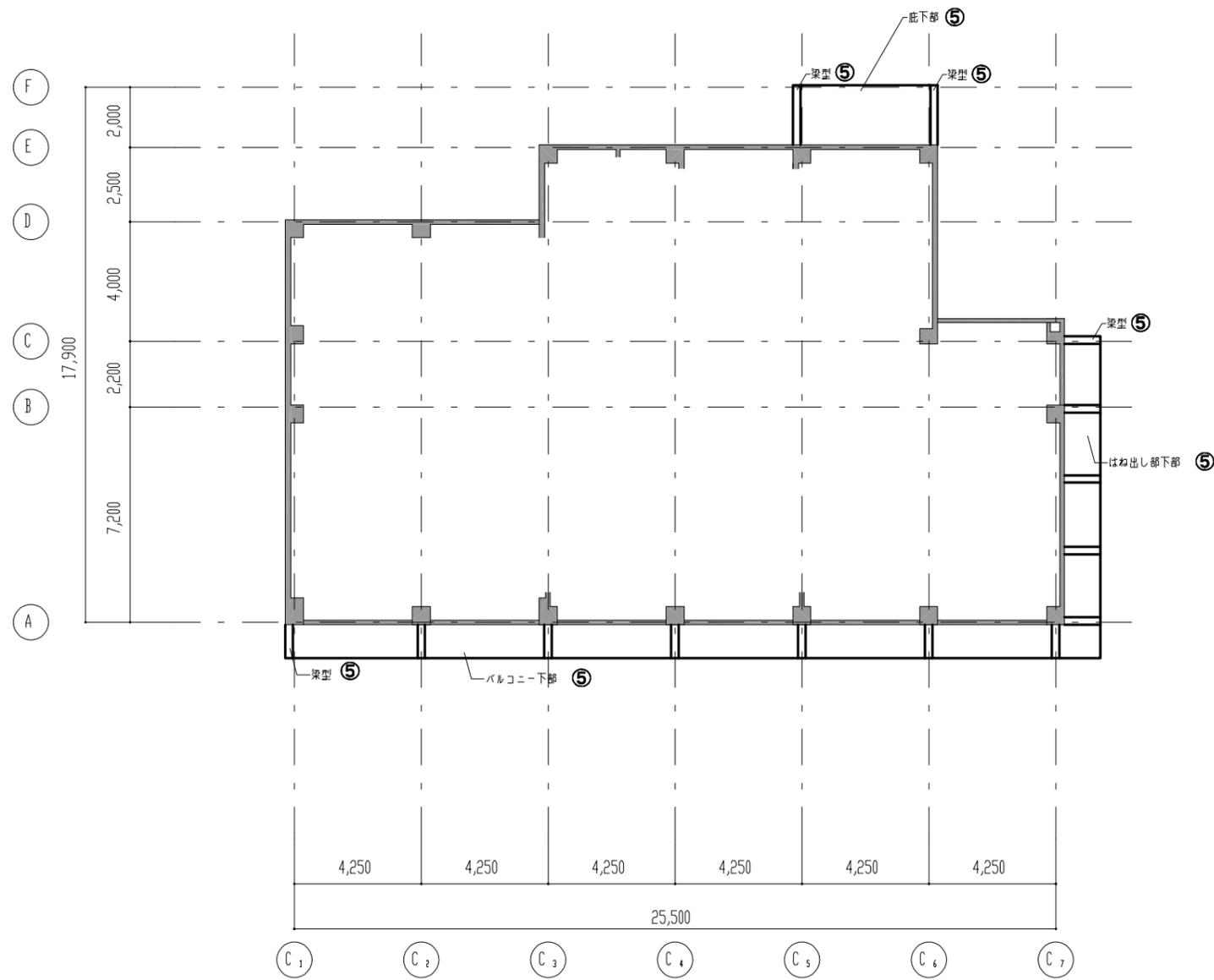


【改修後】西館 南側立面図 S=1/200

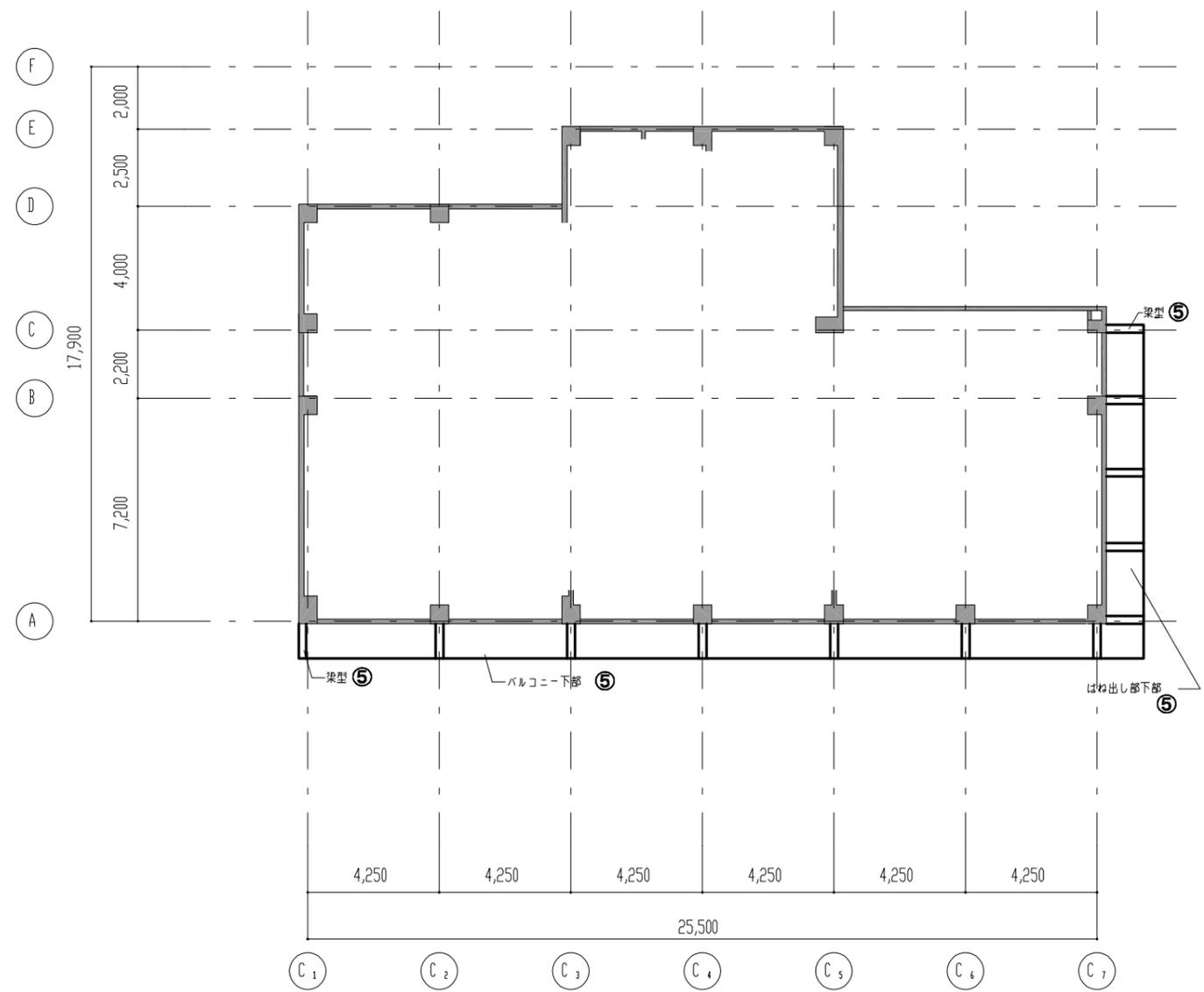


【改修後】西館 東側立面図 S=1/200



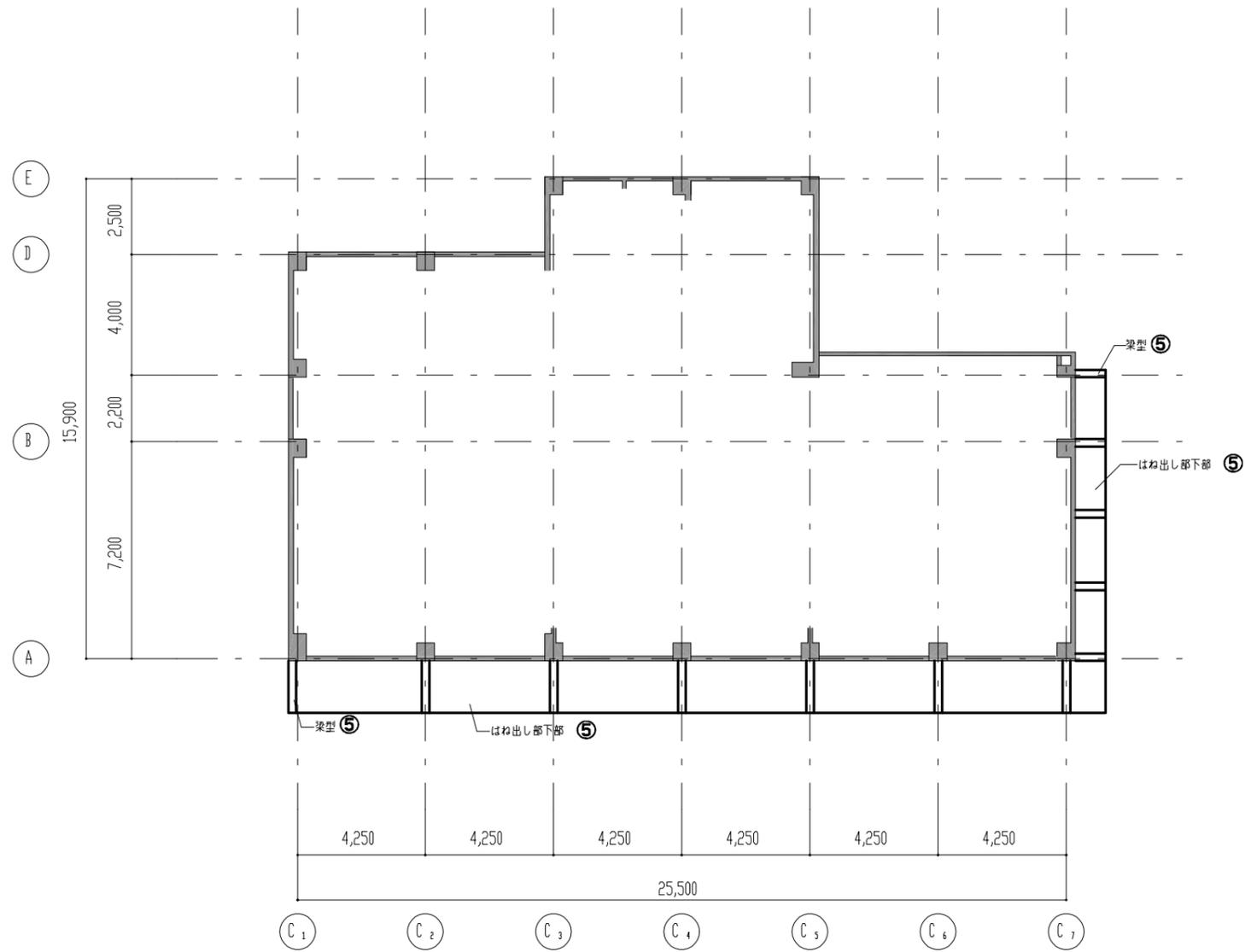


1階軒天伏図 1/200



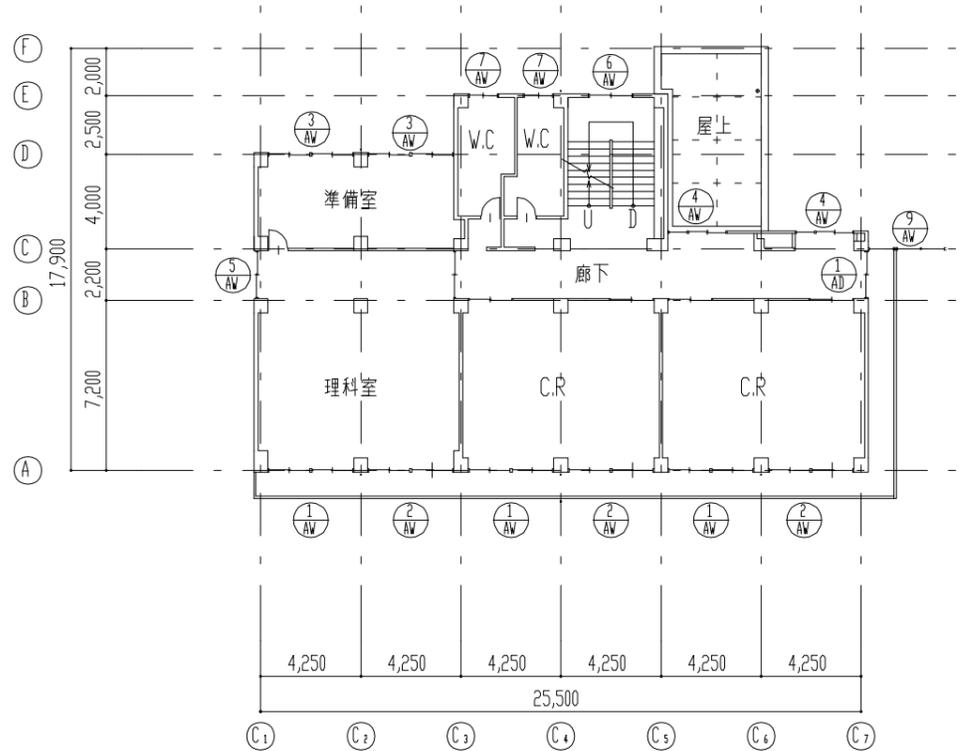
2階軒天伏図 1/200



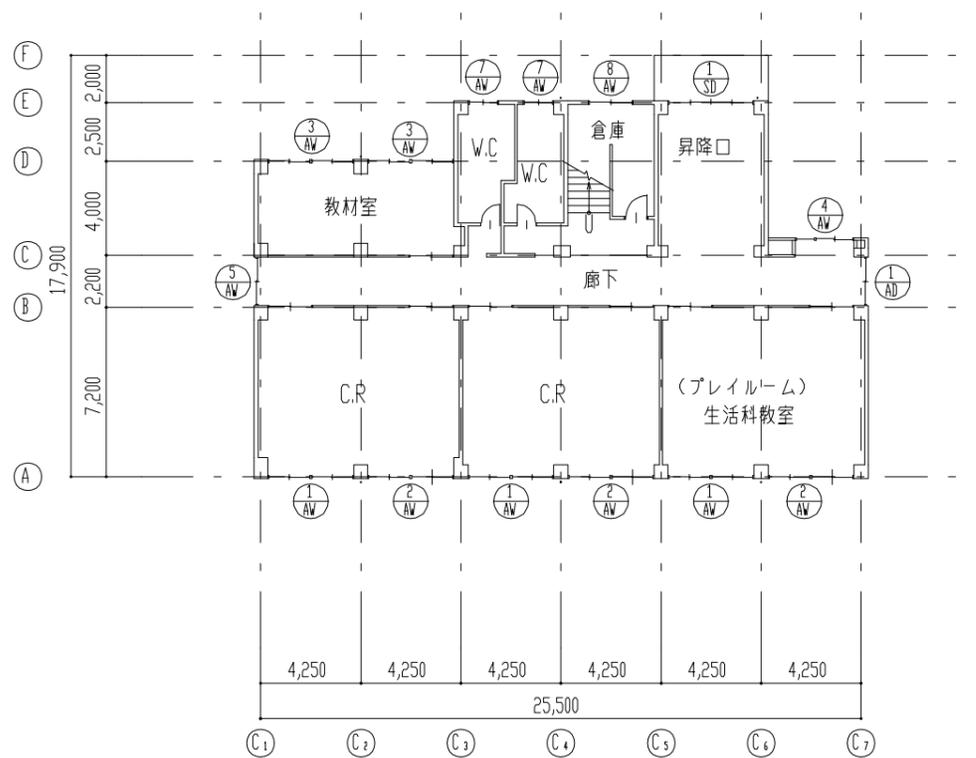


3階軒天伏図 1/200

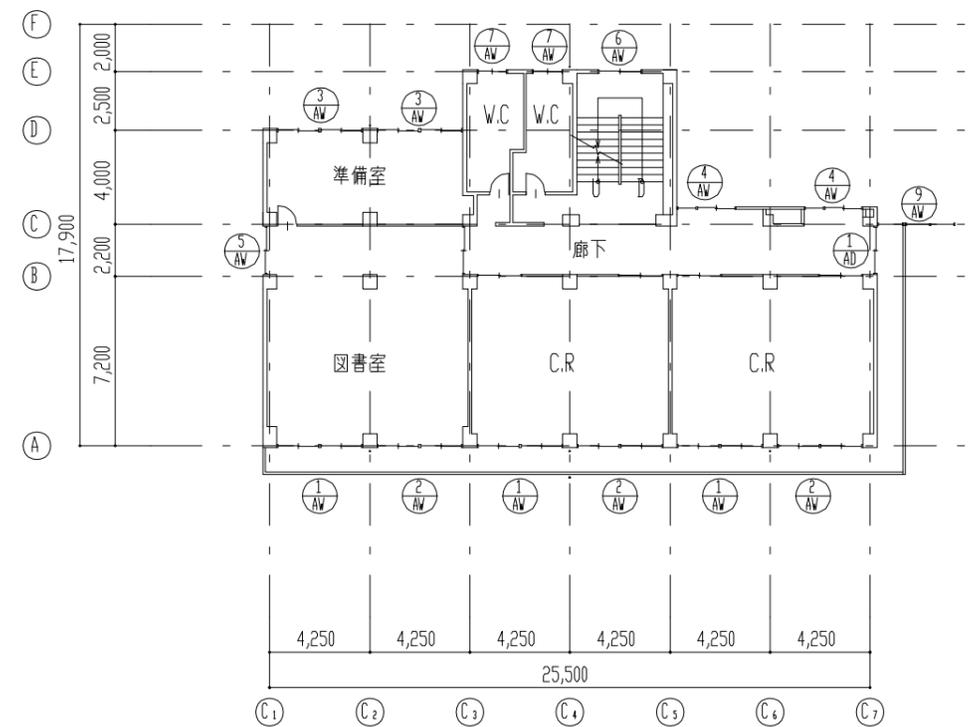




2階建具表+アソシ 1/300



1階建具表+アソシ 1/300



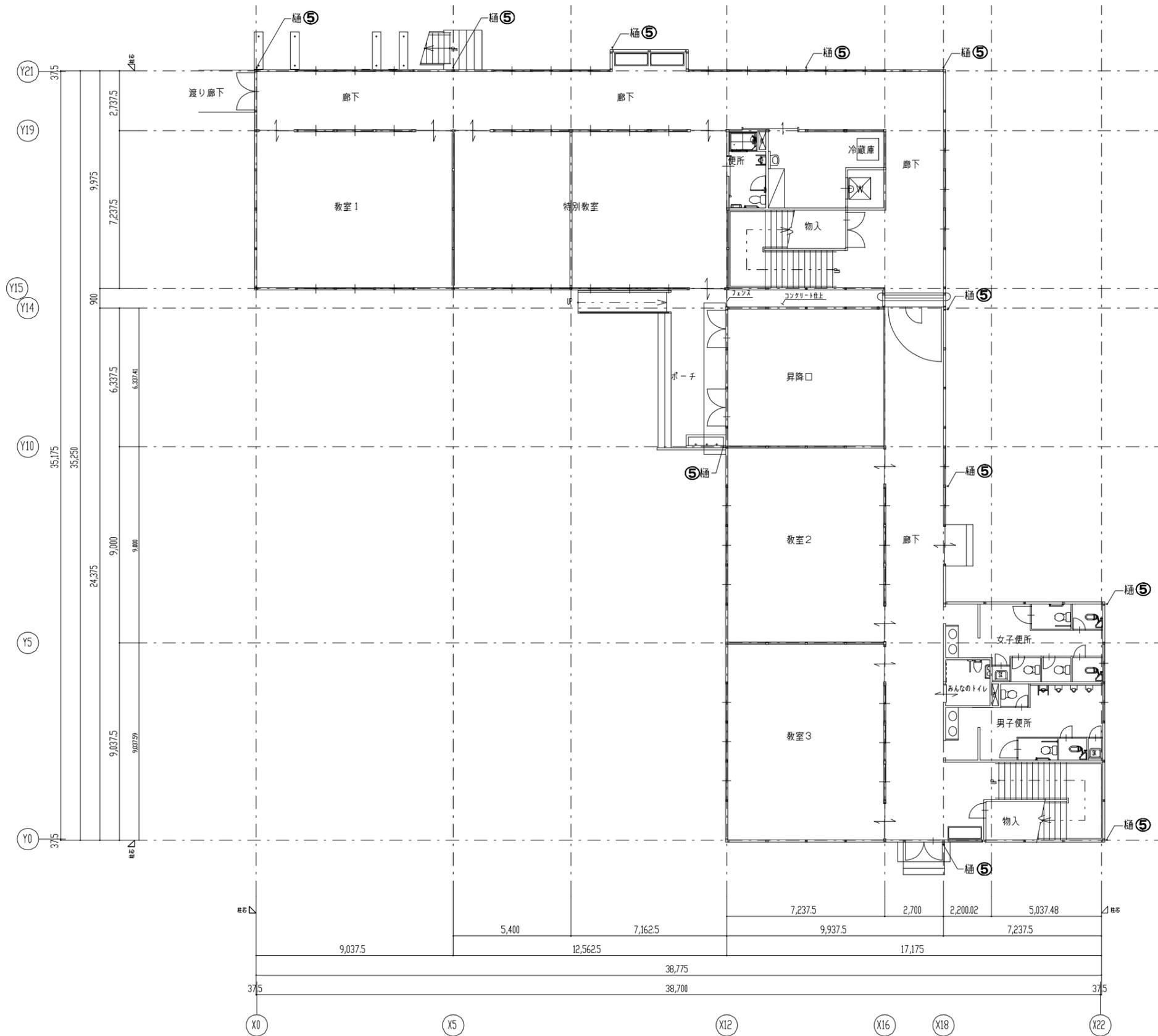
3階建具表+アソシ 1/300



符号×数量	$\textcircled{\frac{1}{AW}} \times 9$	$\textcircled{\frac{2}{AW}} \times 9$	$\textcircled{\frac{3}{AW}} \times 6$	$\textcircled{\frac{4}{AW}} \times 5$	$\textcircled{\frac{5}{AW}} \times 3$	$\textcircled{\frac{6}{AW}} \times 2$	$\textcircled{\frac{7}{AW}} \times 6$
姿 図							
符号×数量	$\textcircled{\frac{8}{AW}} \times 1$	$\textcircled{\frac{1}{AD}} \times 3$	$\textcircled{\frac{9}{AW}} \times 2$	$\textcircled{\frac{1}{SD}} \times 1$			
姿 図							

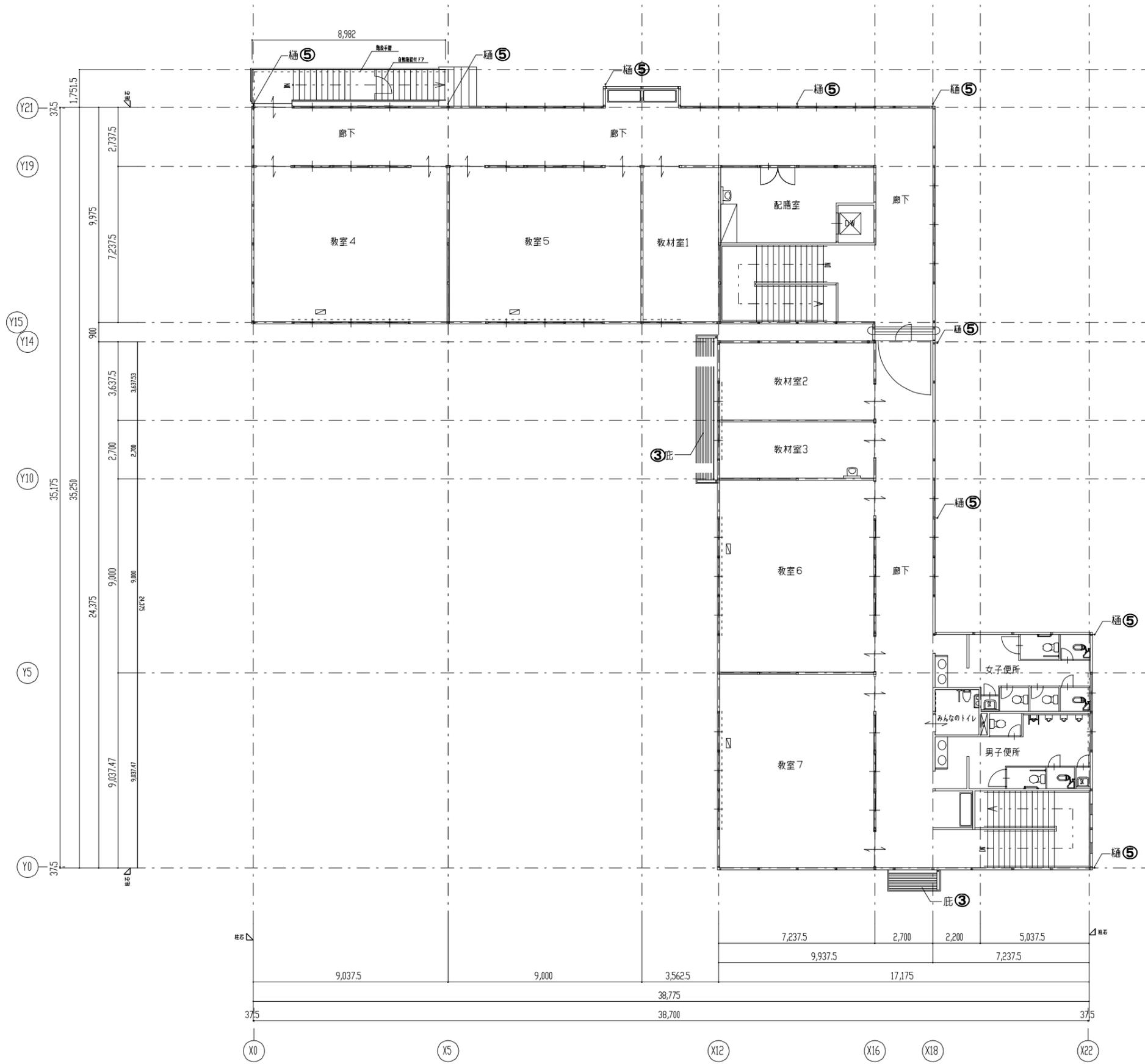
共通：建具廻りシーリング材打ち換え MS-2 (10×20) ガラス・サッシ内外清掃
 共通：建具調整
 共通：ガラスとめシーリング材打ち換え



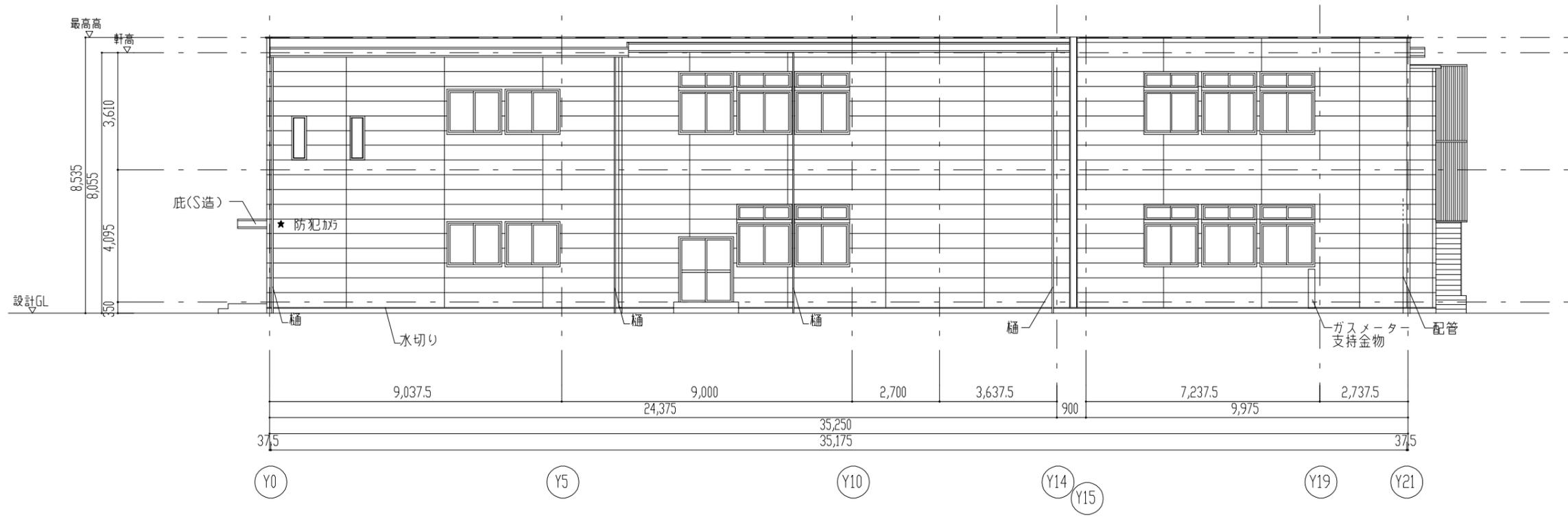


1階平面図 S = 1/100

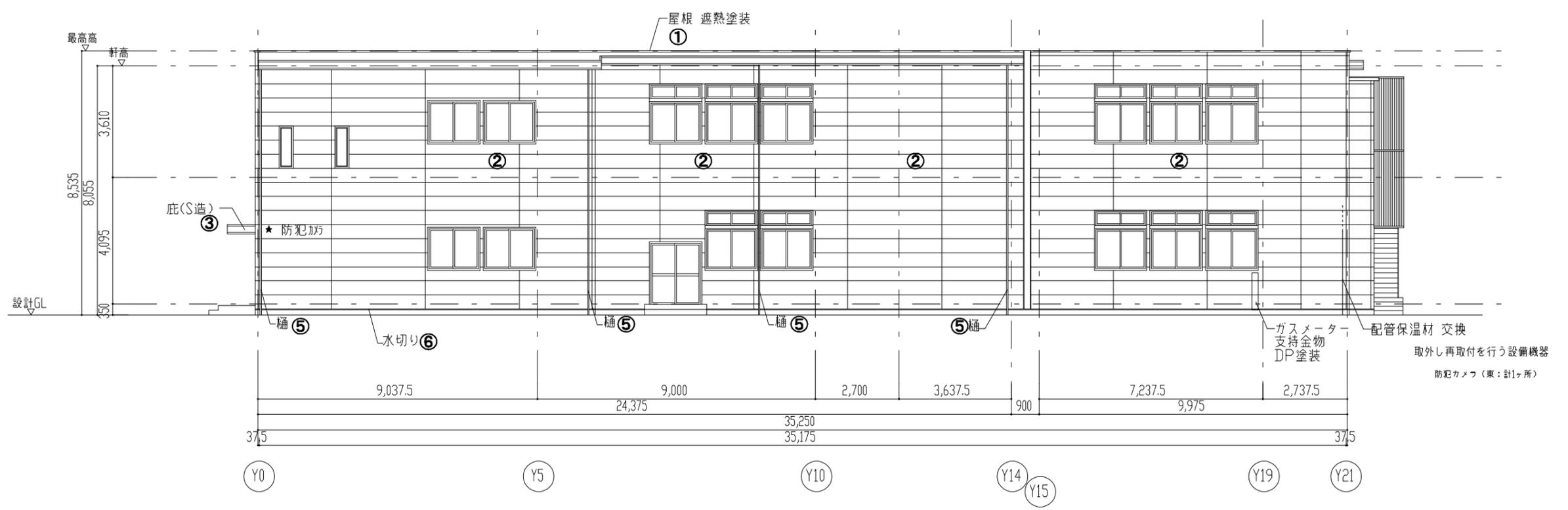




2階平面図 S = 1/100



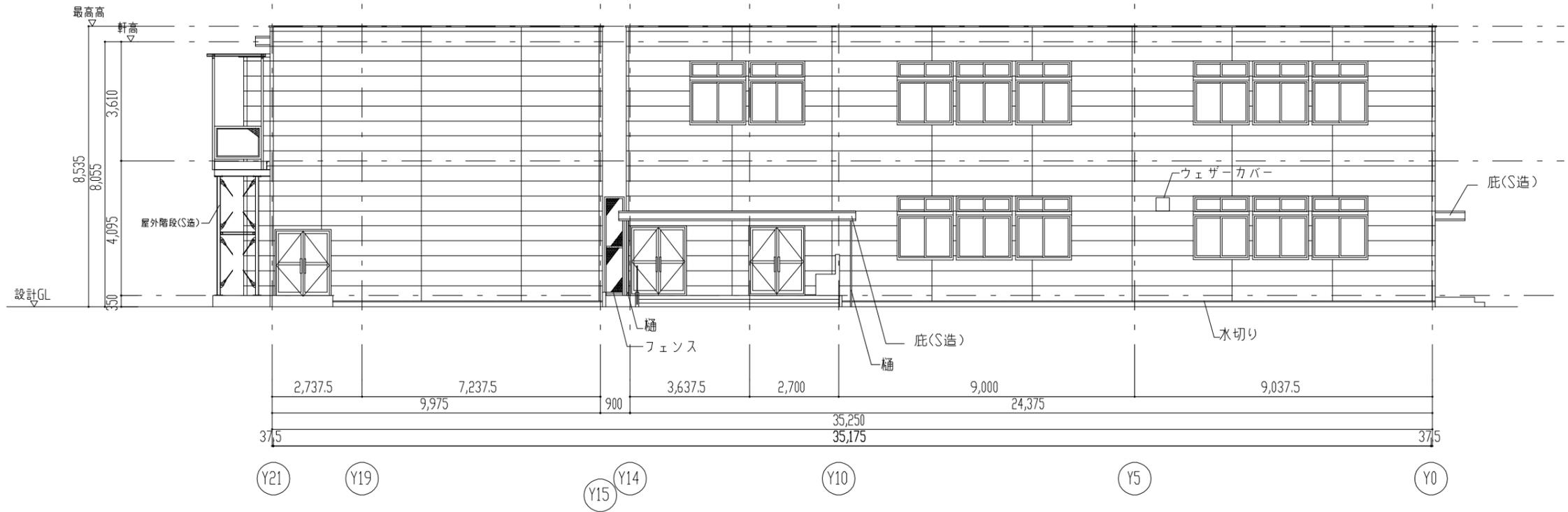
【改修前】東館 東側立面図 S=1/150



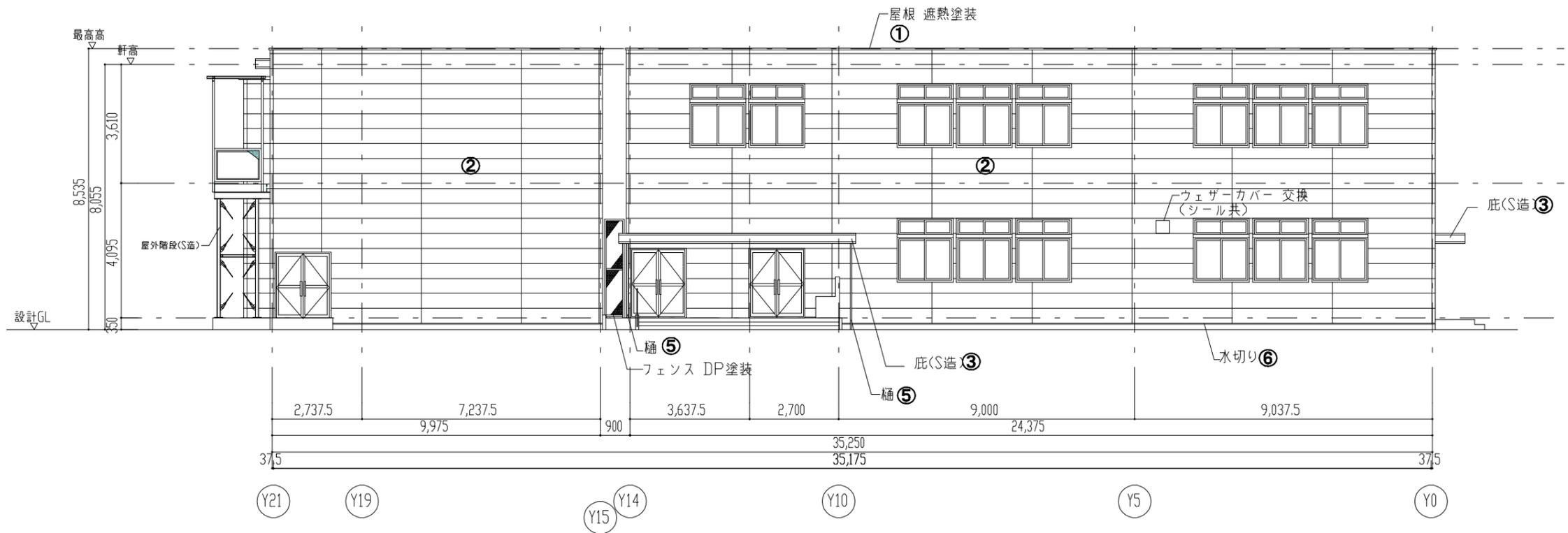
【改修後】東館 東側立面図 S=1/150



図面名称	東館東側立面図	図面番号	A-32
縮尺	A1:1/150 A3:1/300		
件名	海老名市立有鹿小学校校舎外装改修工事		

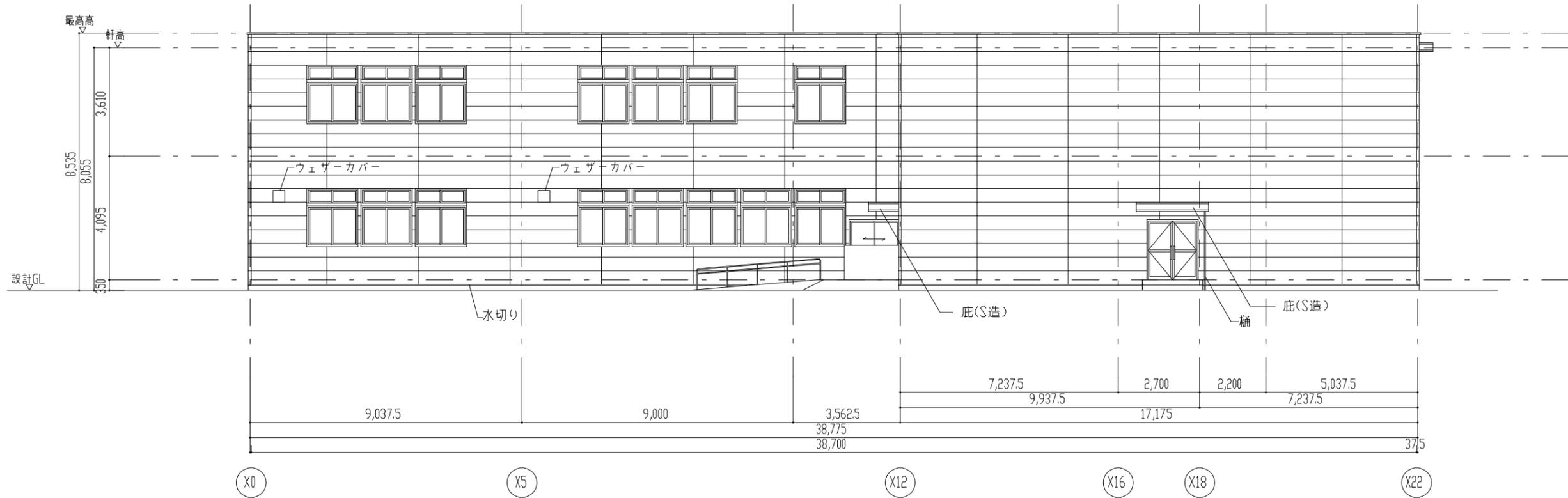


【改修前】東館 西側立面図 S=1/150

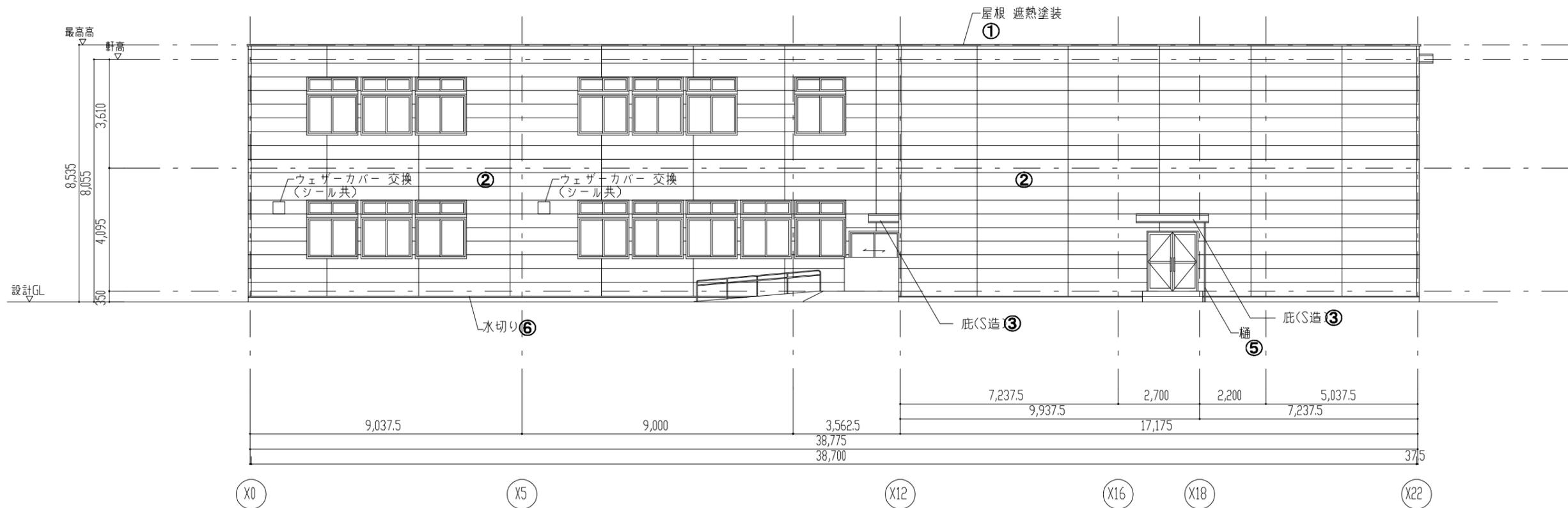


【改修後】東館 西側立面図 S=1/150



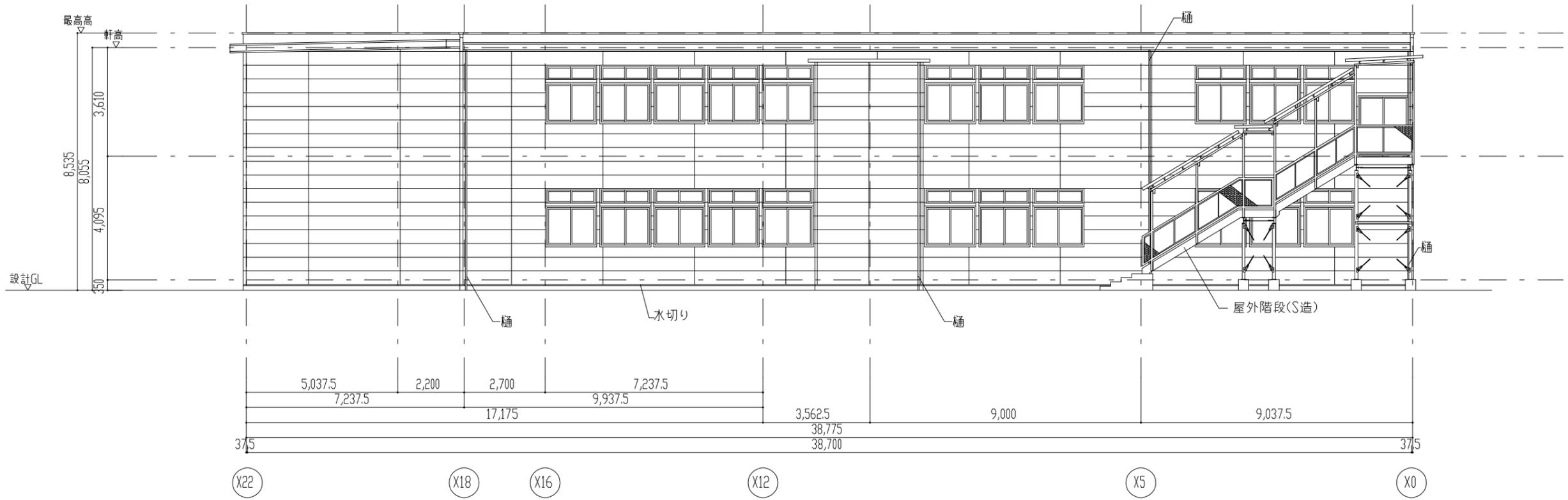


【改修前】東館 南側立面図 S=1/150

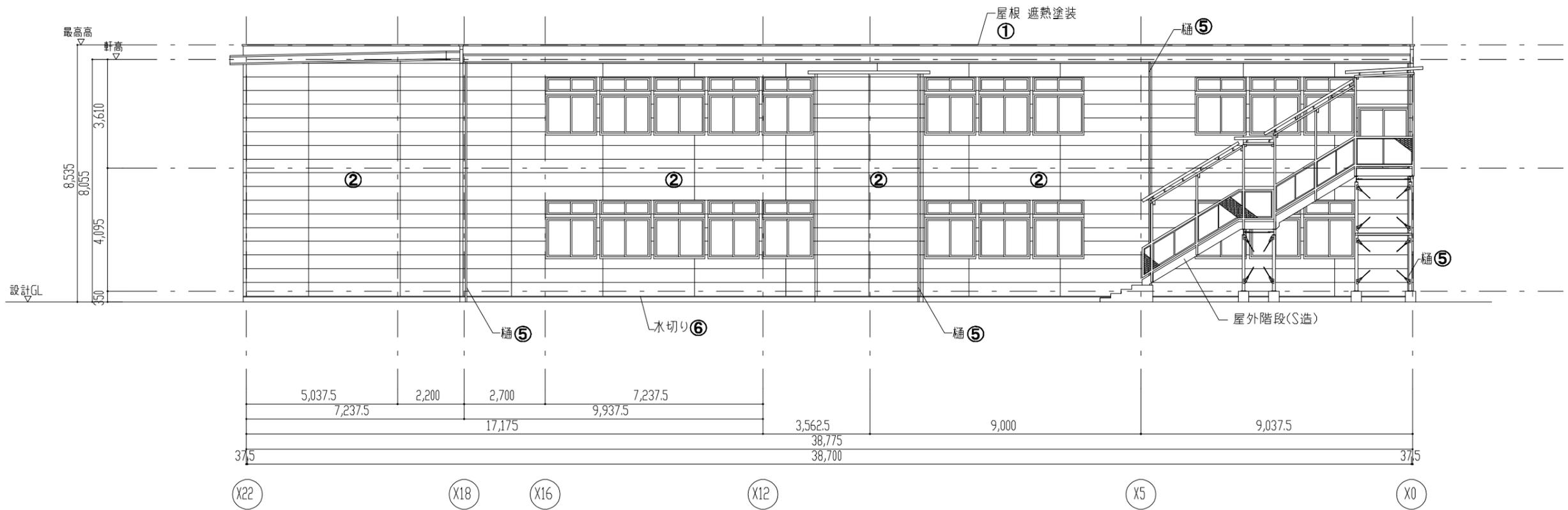


【改修前】東館 南側立面図 S=1/150



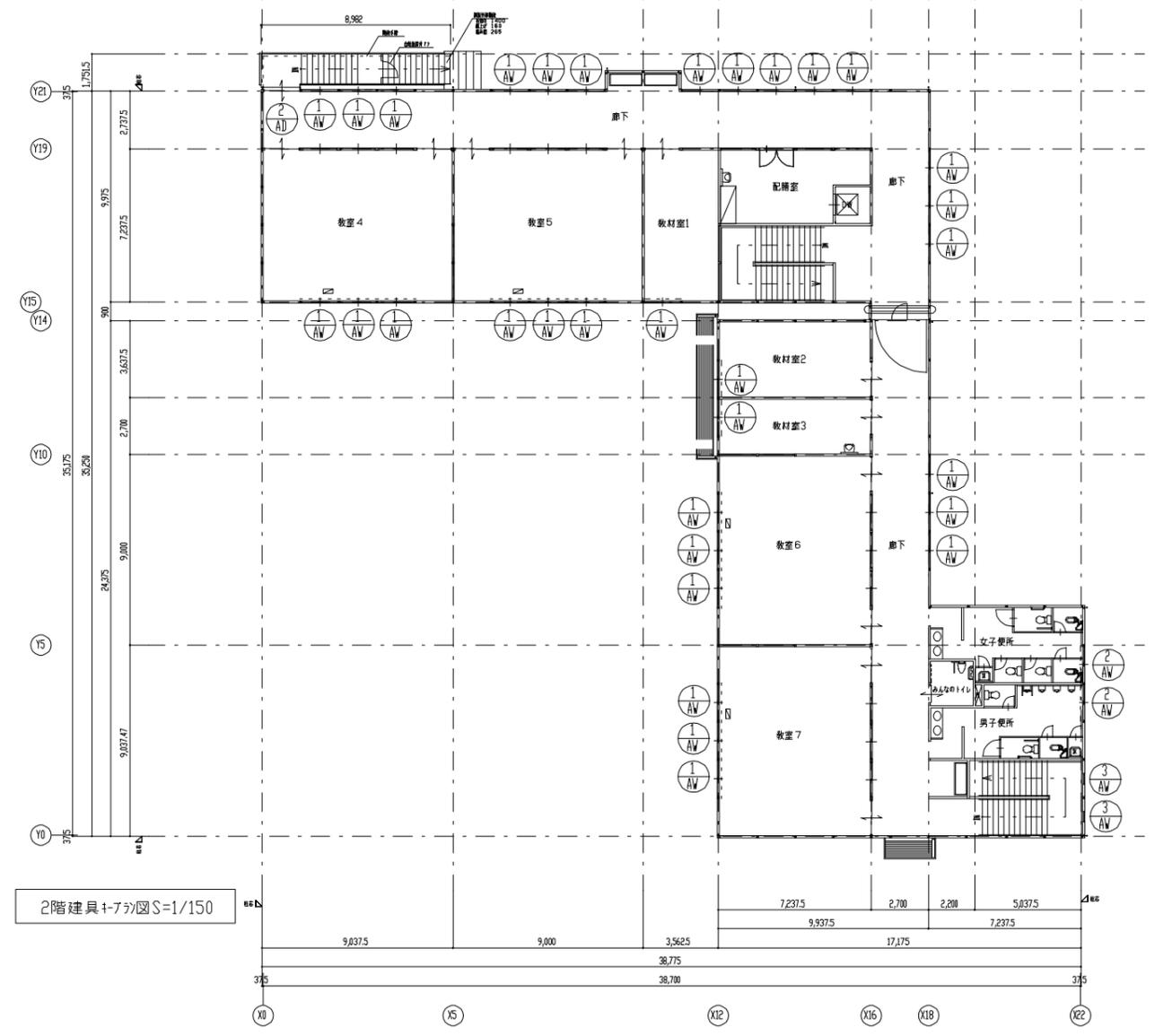
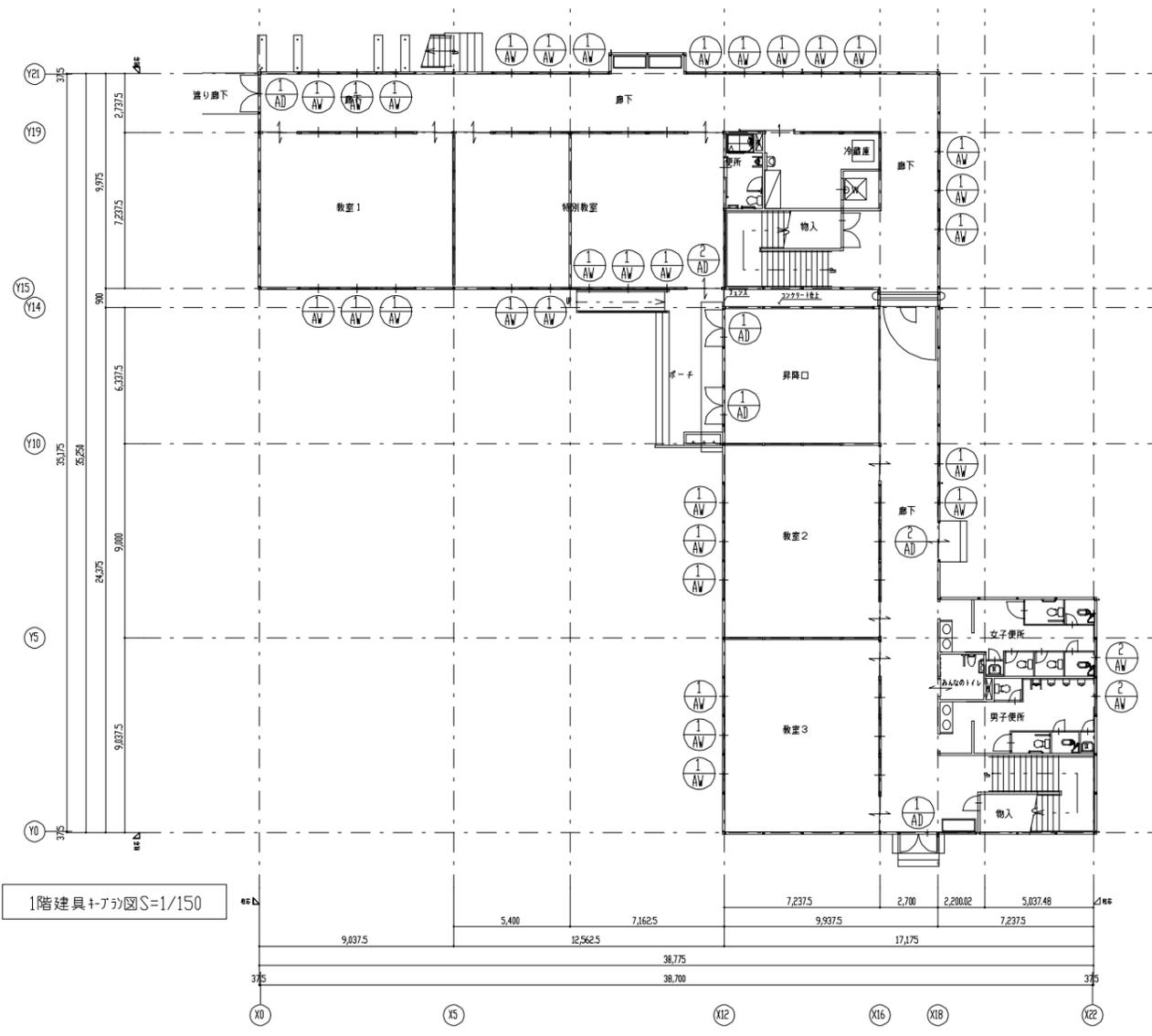


【改修前】東館 北側立面図 S=1/150



【改修前】東館 北側立面図 S=1/150

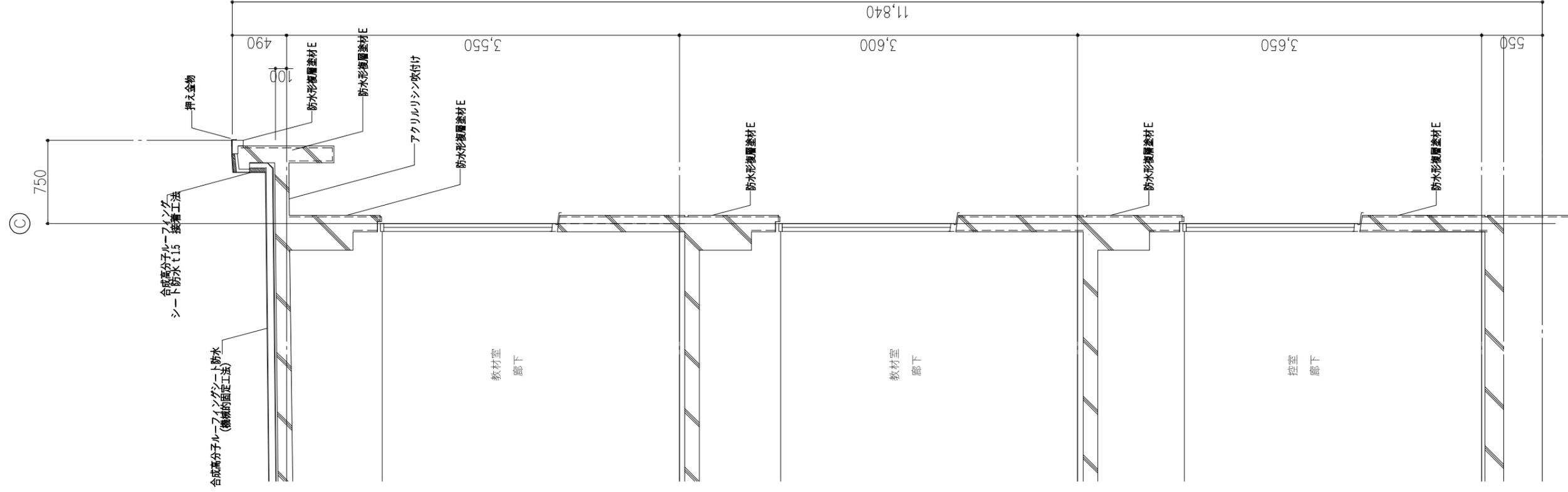




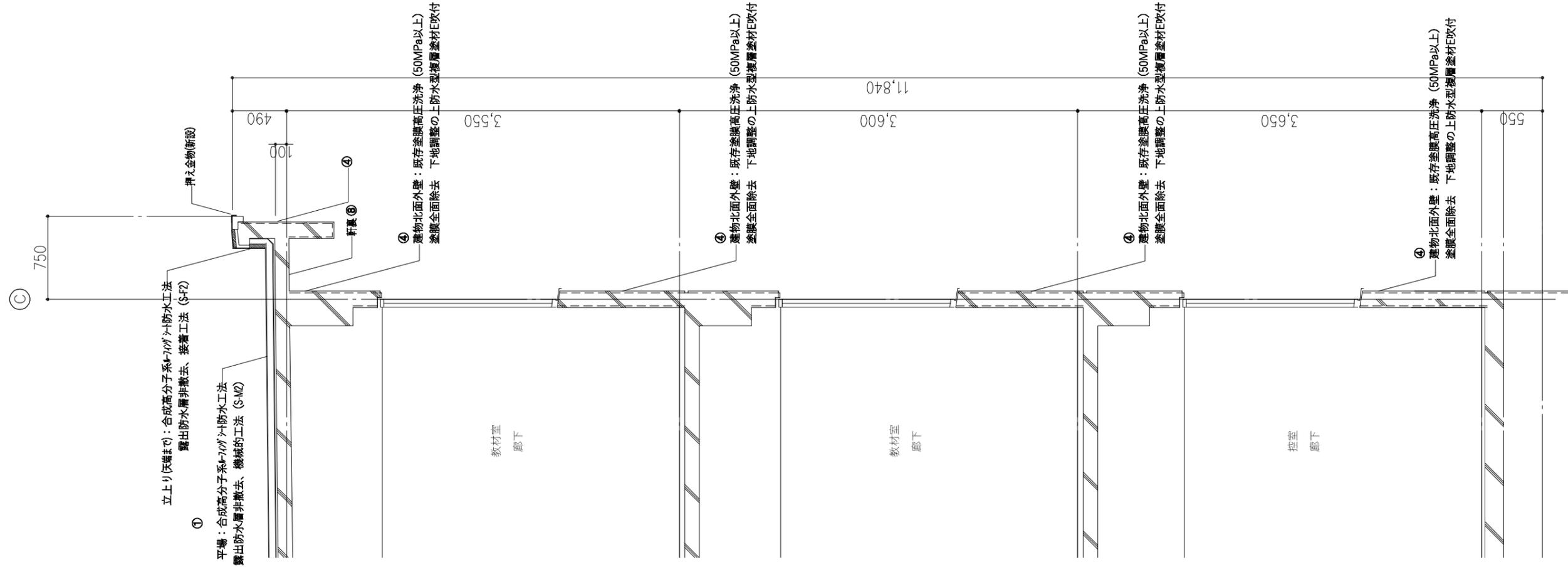
建具表

符号 × 数量	$\frac{1}{AW} \times 62$	$\frac{2}{AW} \times 4$	$\frac{3}{AW} \times 2$	$\frac{1}{AD} \times 4$	$\frac{2}{AD} \times 3$
窓					

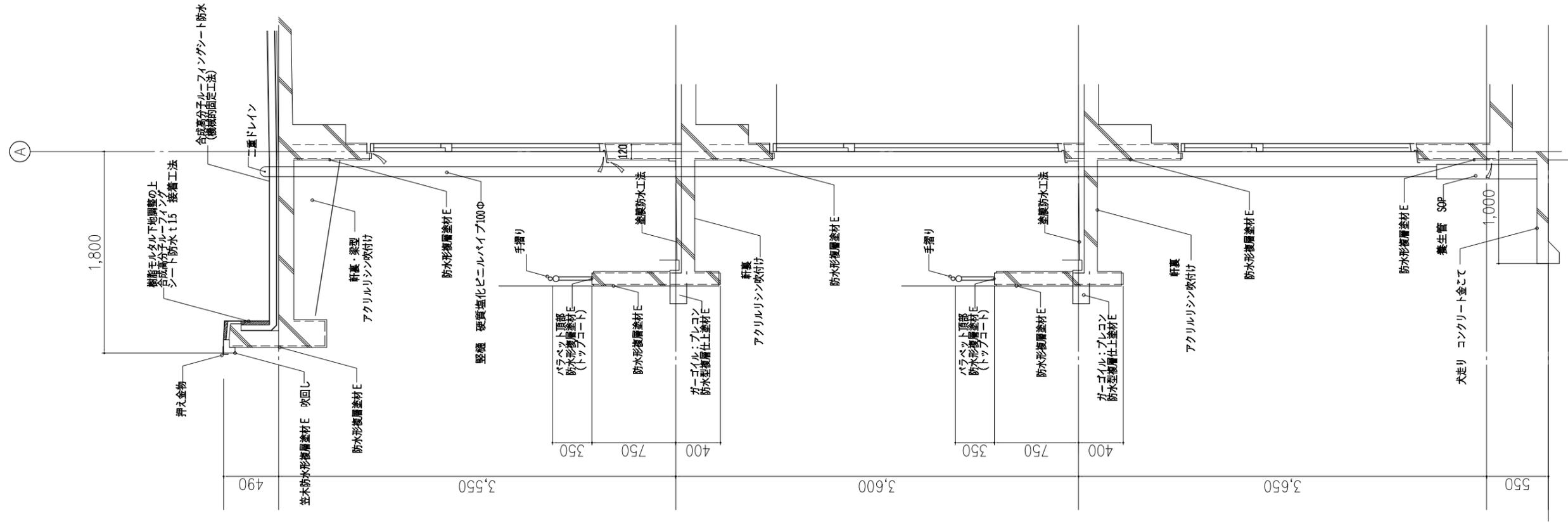
共通：建具廻りシーリング材打ち換え MS-2 (10×20) ガラス・サッシ内外清掃
 共通：建具調整
 共通：ガラスとめシーリング材打ち換え



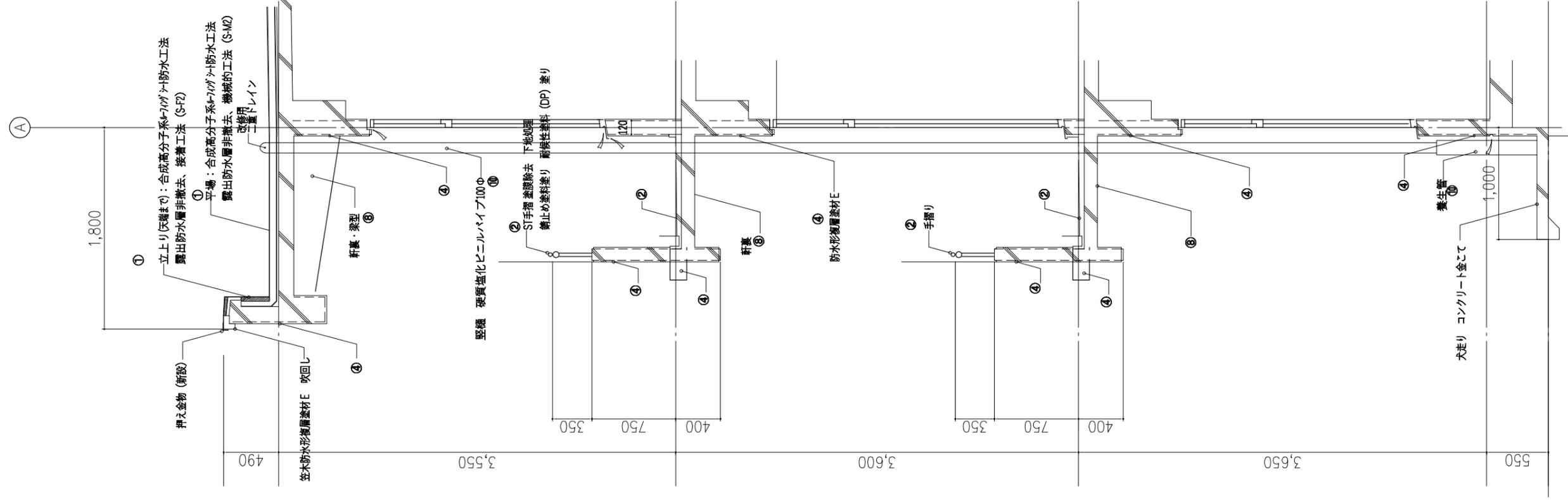
【既存】本館矩計図 S=1:40



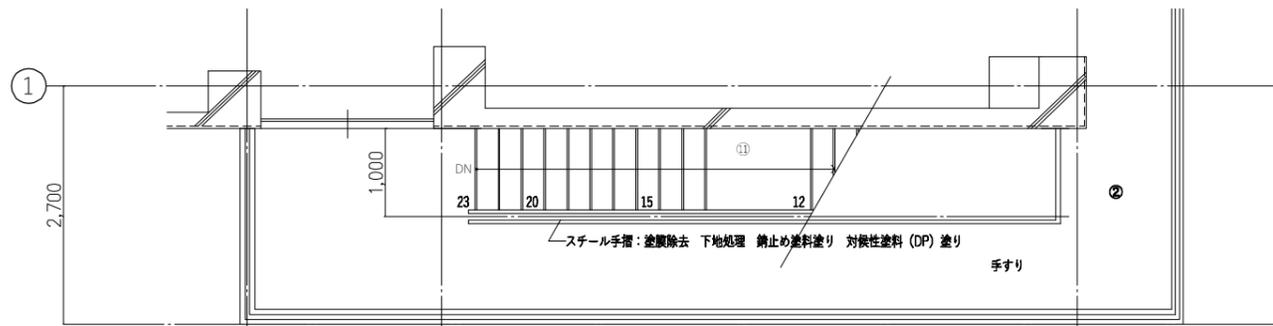
【改修】本館矩計図 S=1:40



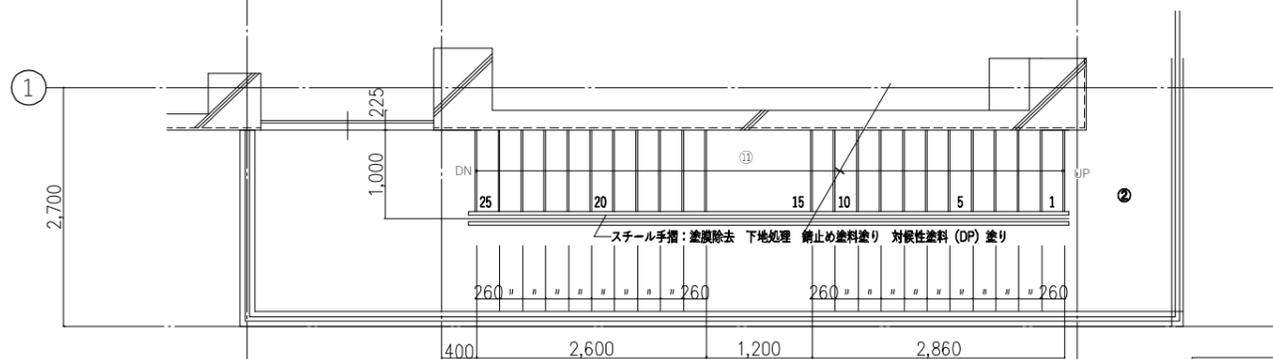
【既存】本館・西館矩計図 S = 1 : 40



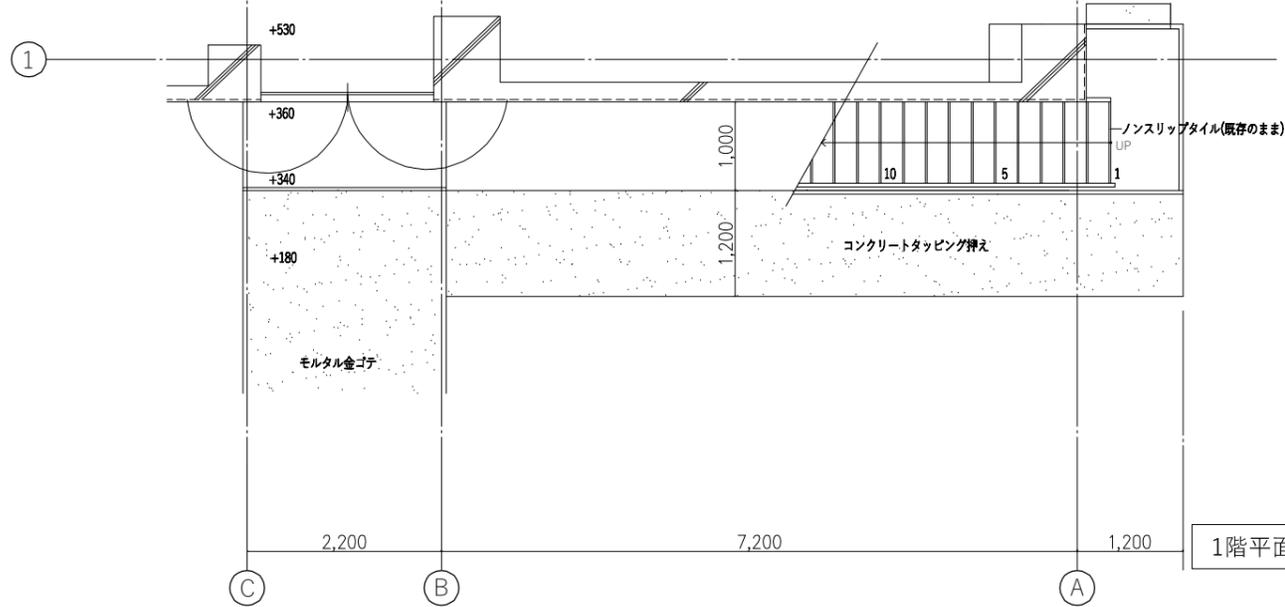
【改修】本館・西館矩計図 S = 1 : 40



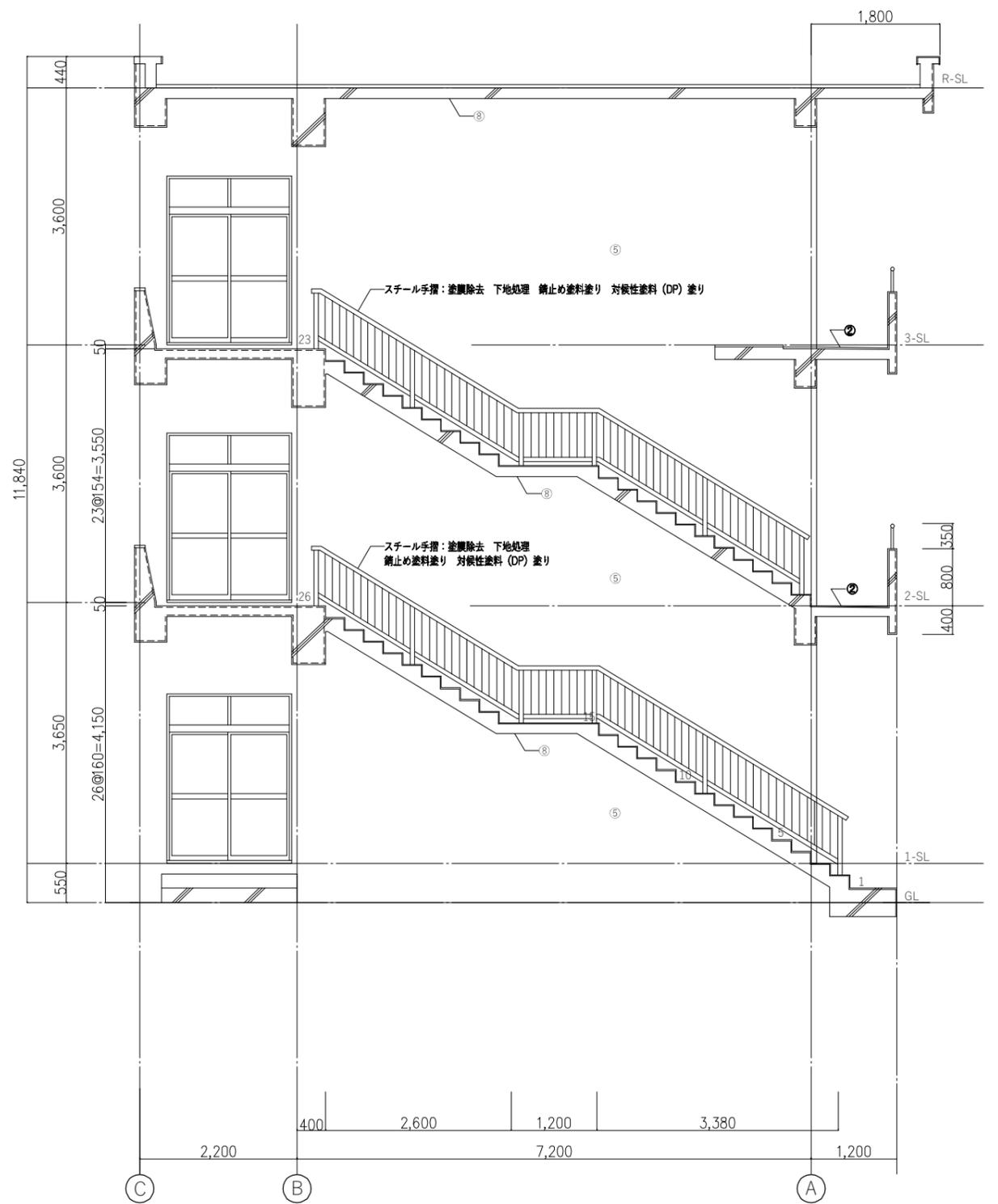
3階平面図 1:80



3階平面図 1:80

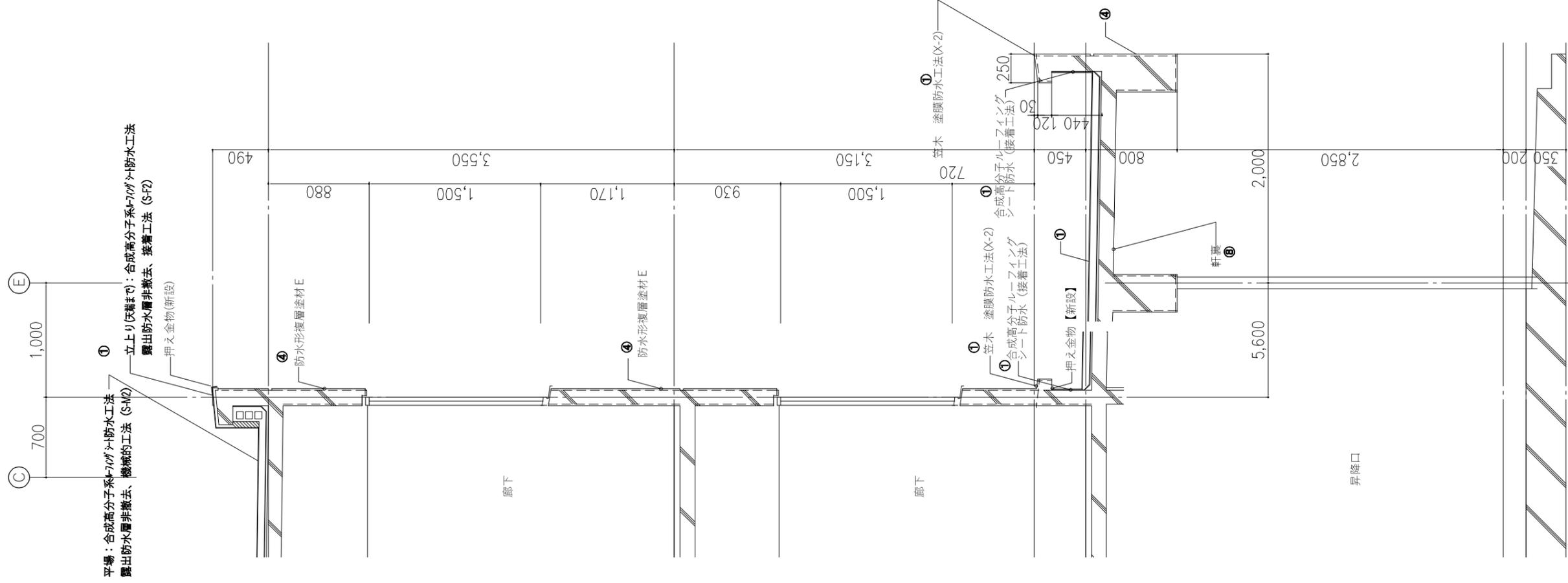
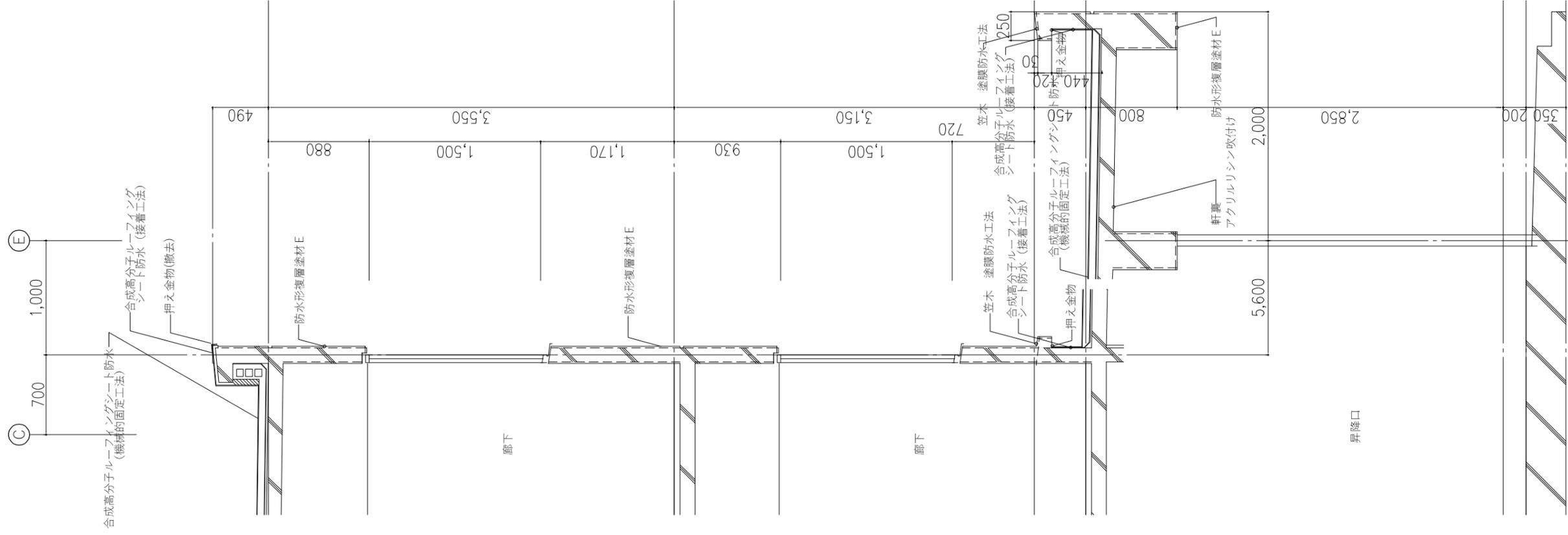


1階平面図 1:80



断面図 1:80

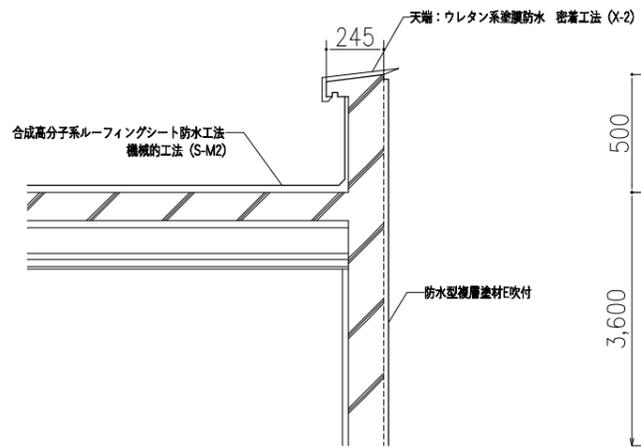




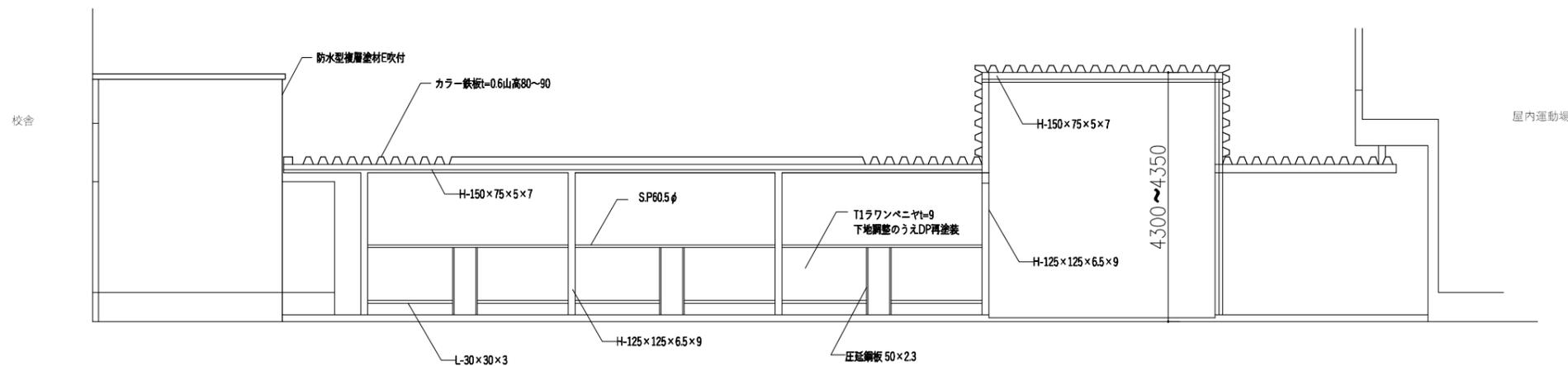
【既存】西館矩計図 S=1:40

【改修】西館矩計図 S=1:40

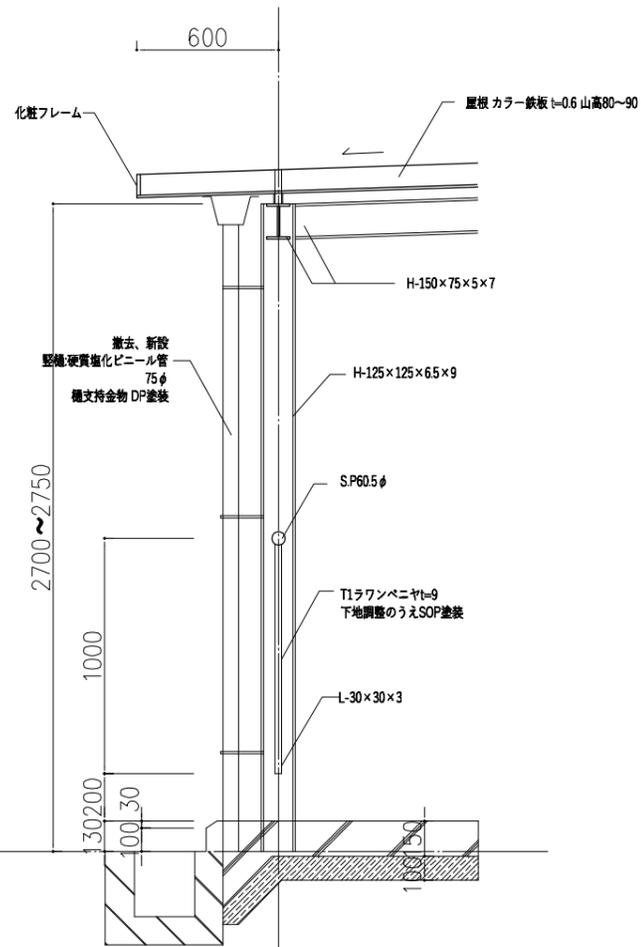




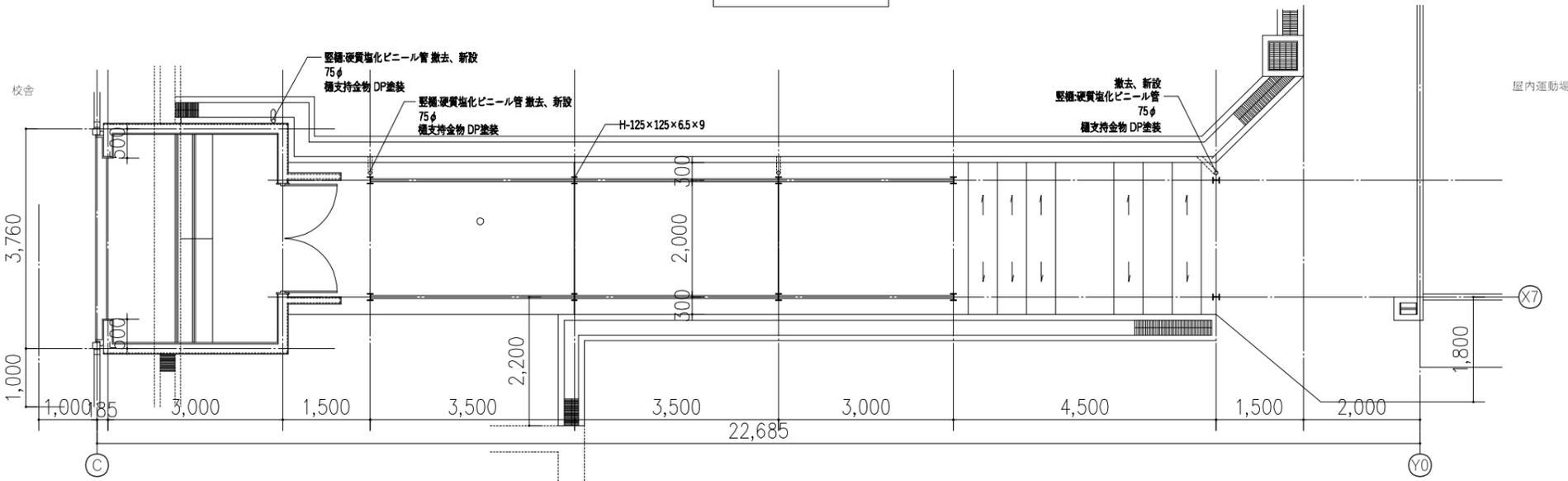
陸屋根部詳細図 1:60



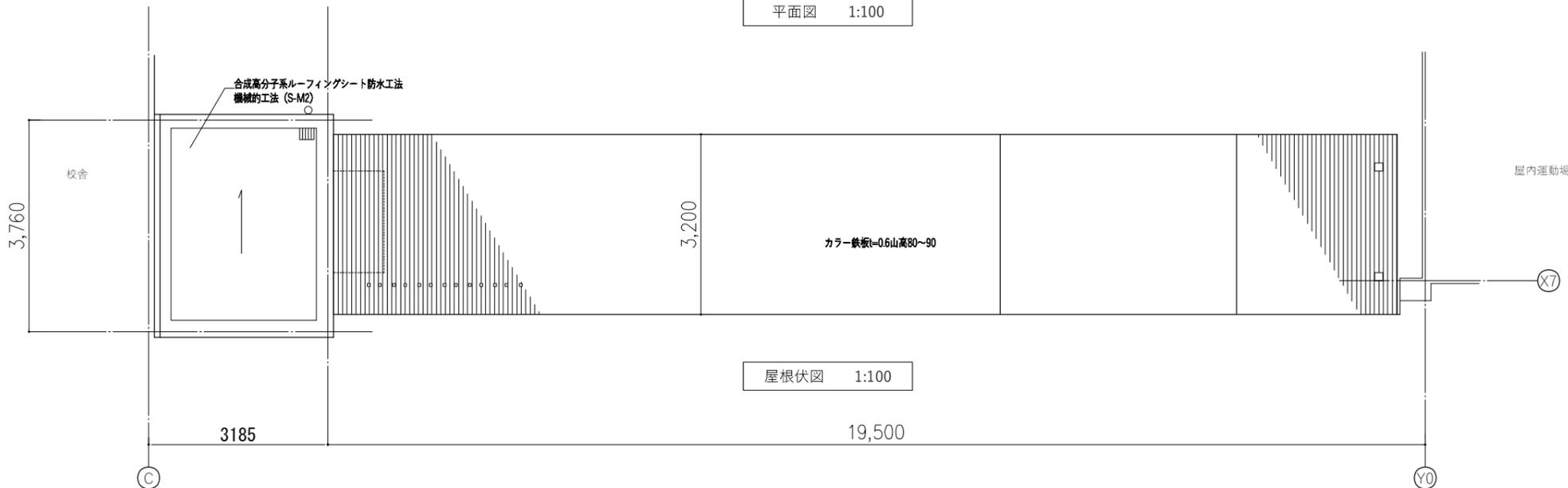
立面図 1:100



断面詳細図 1:60

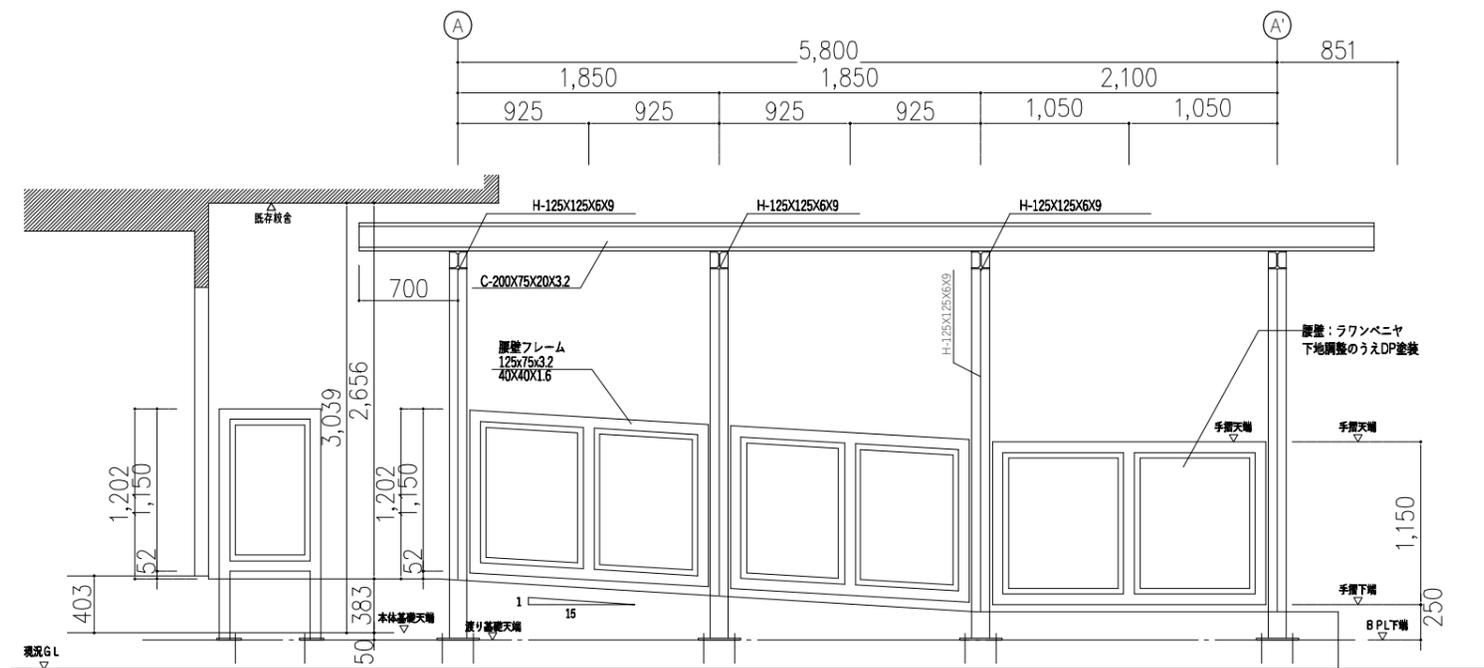


平面図 1:100

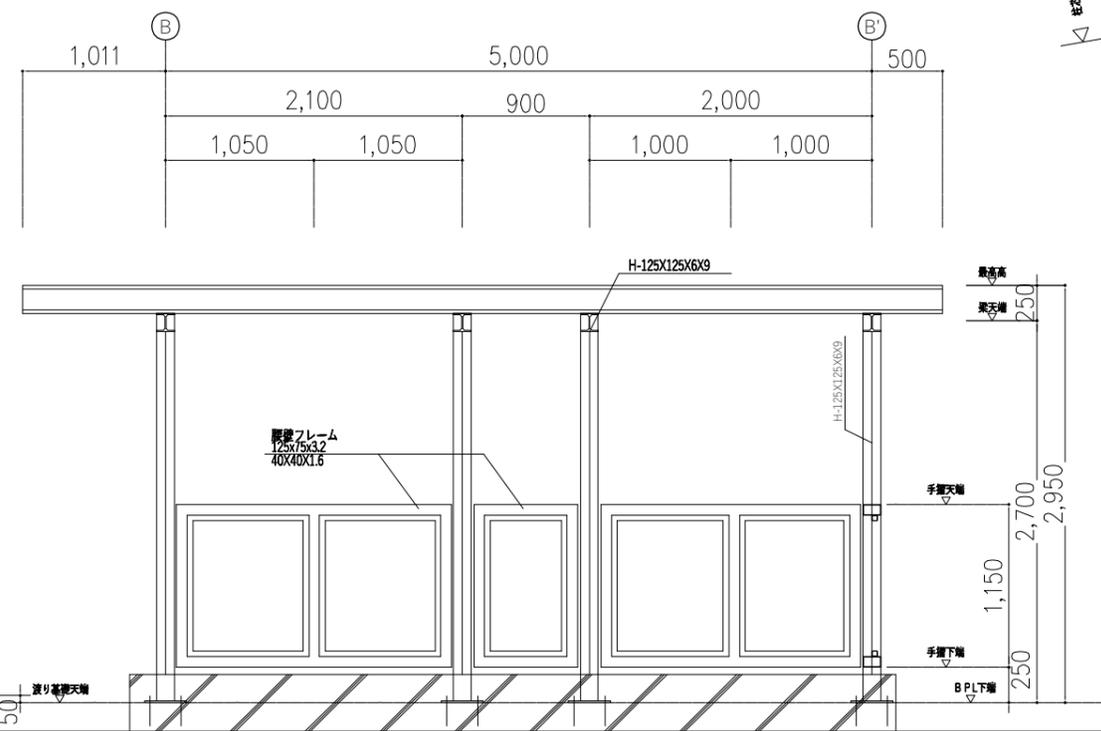


屋根伏図 1:100

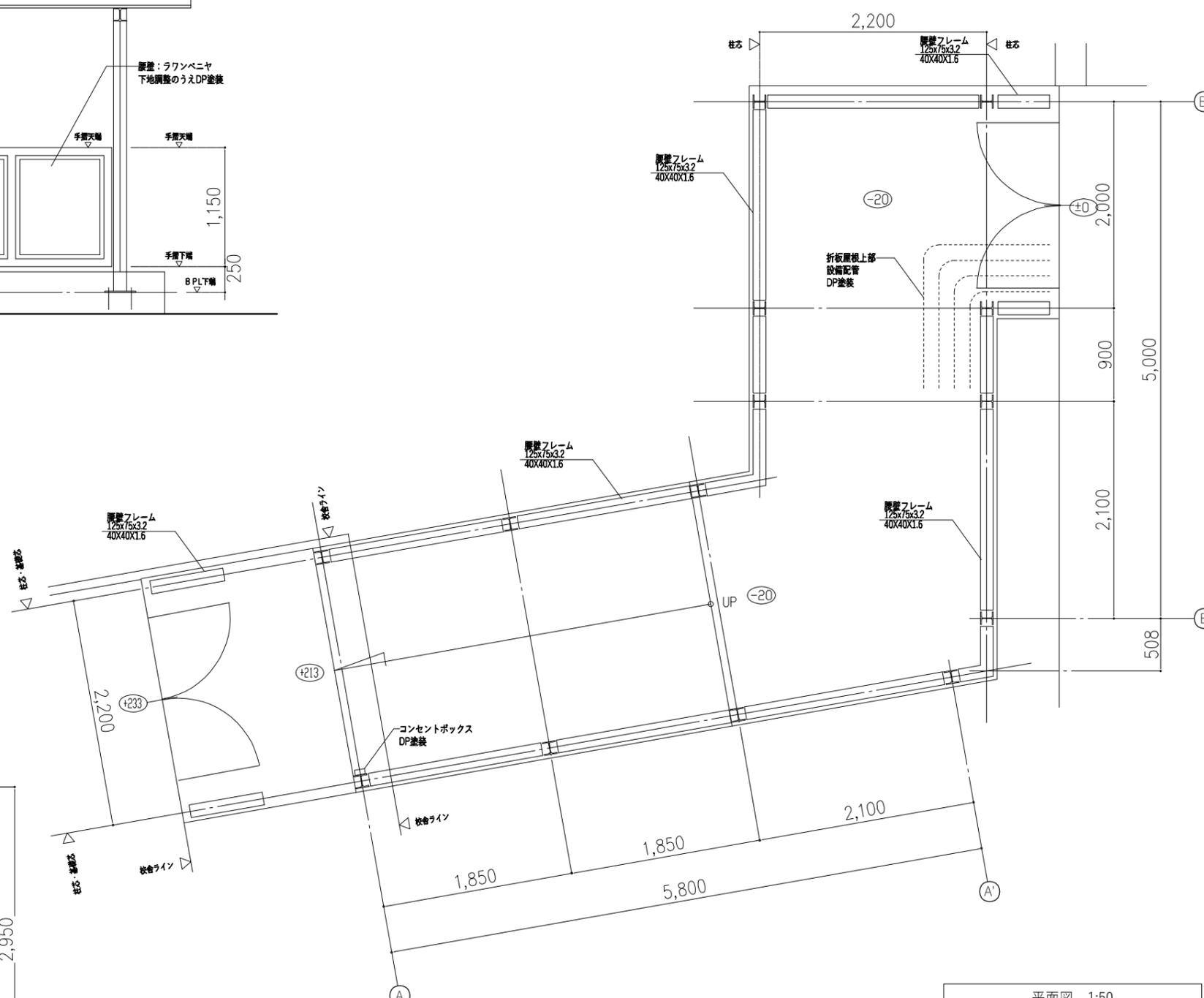
【改修】鉄部：下地調整のうえ耐候性塗料（DP）塗装



A-A'立面図 1:50



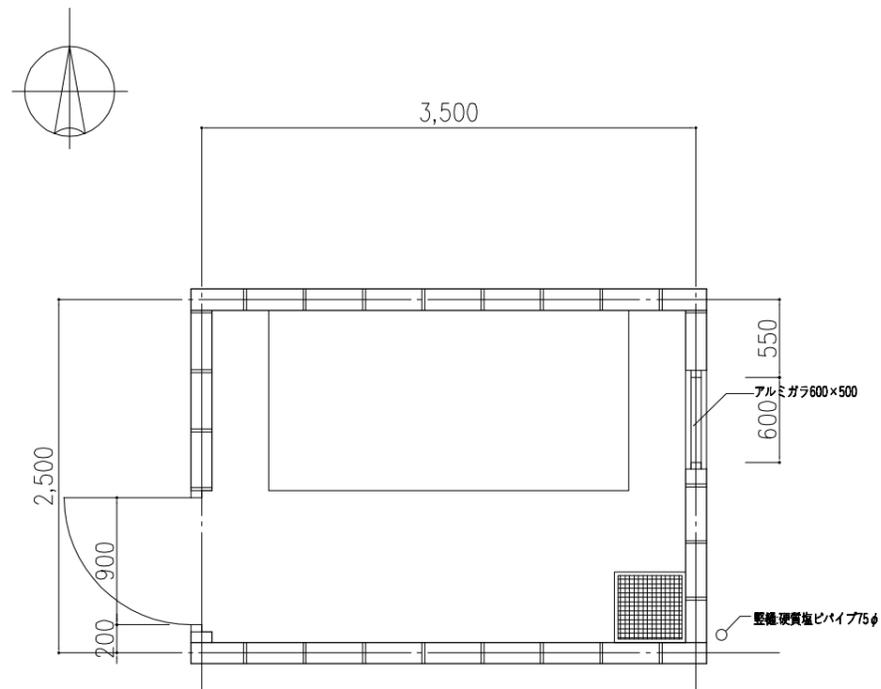
B-B'立面図 1:50



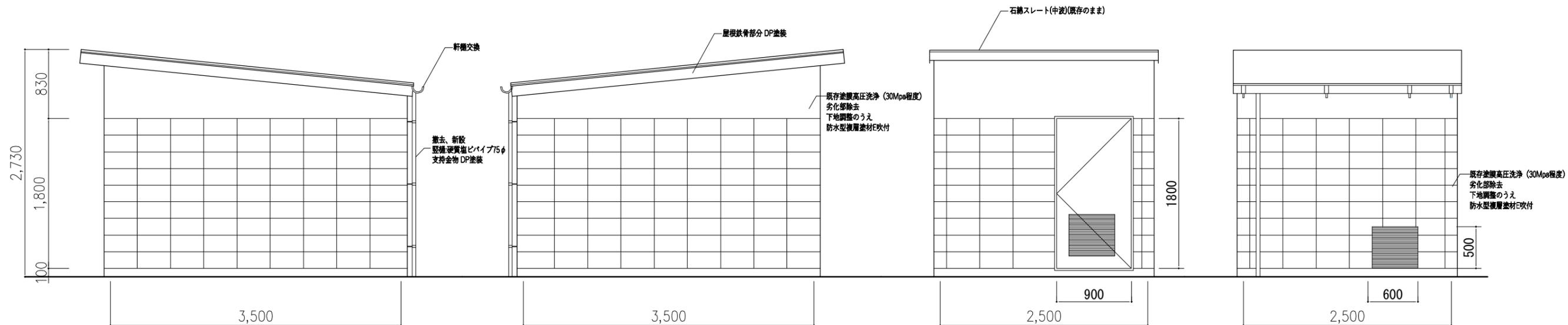
平面図 1:50

【改修】鉄部：下地調整のうえ耐候性塗料（DP）塗装





ポンプ室 平面図 1/50



ポンプ室 南立面図 1/50

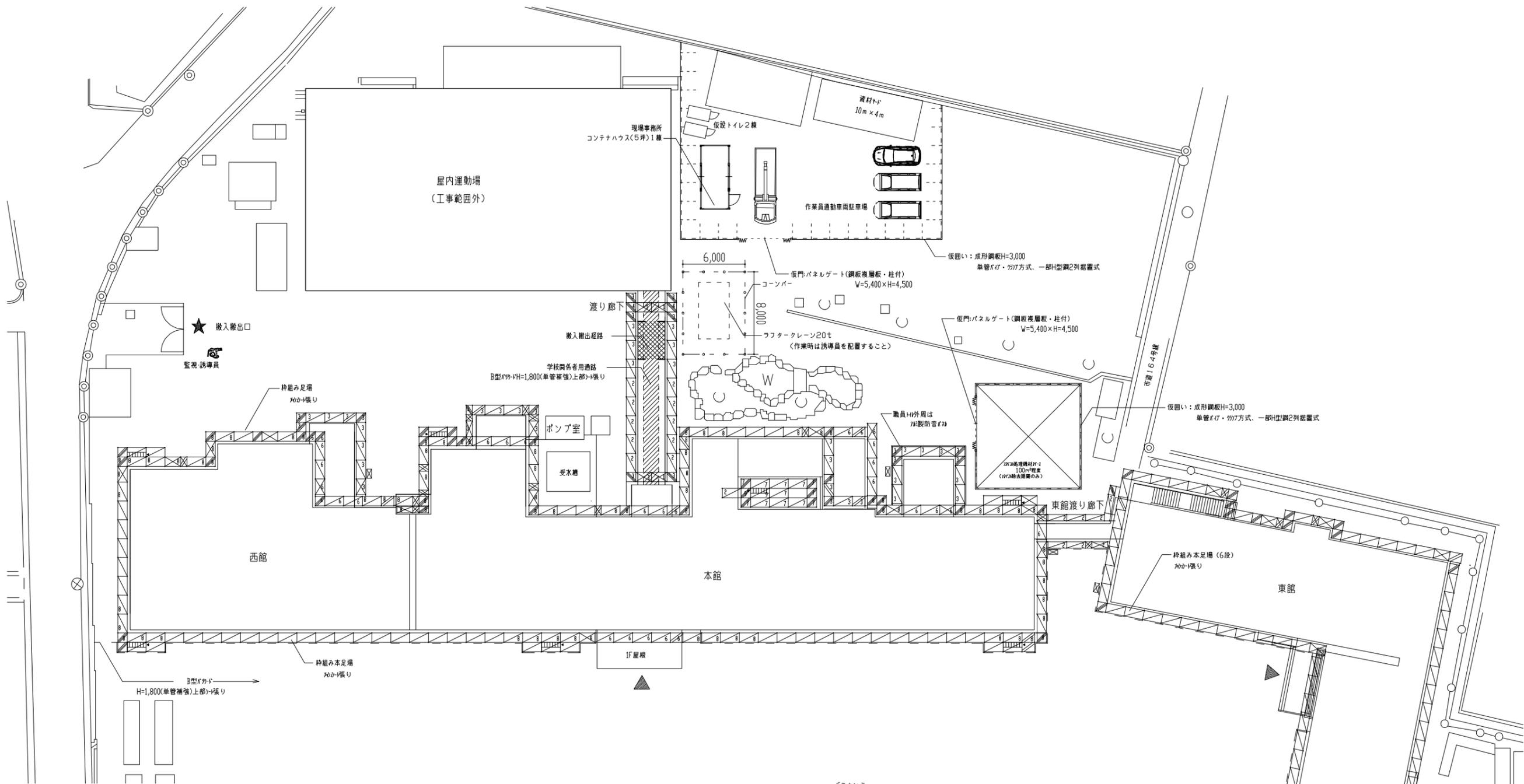
ポンプ室 北立面図 1/50

ポンプ室 西立面図 1/50

ポンプ室 東立面図 1/50

【改修】鉄部：下地調整のうえ耐候性塗料（DP）塗装





【枠組み足場寸法】 手摺先行方式

	1829	1524	1219	914	610
914巾	☒	☒	☒	☒	☒
610巾	☒	☒	☒	☒	☒
梁枠範囲	☒	☒	☒	☒	☒
階段	☒	☒	☒	☒	☒

※図中の数字は段数を示す

積載荷重 (スパン)

	同一層連続 スパン載荷	同時積載層数他
914幅	370kg	2
610幅	250kg	2

	外路側	内路側
労働者の 墜落防止措置	先行手摺+巾木	筋違+巾木
物体落下 墜落防止措置	7A製防音R付 ネット	層間R(2段床)

仮設計画参考図 S=1/200

☒ 別発注予定の「空調改修工事」にて室外機を設置予定のため、詳細について
関連工事受注者と確認および調整の上、足場架設を行うこと。

